

CDE92UW

CDE105UW

商業用ディスプレイ
ユーザーガイド

ViewSonic® をお選びいただき、 ありがとうございます

ViewSonic® は、ビジュアルソリューションの世界有数のプロバイダとして、技術の進化、革新、シンプルさに対する世界の期待を超えることに専心しています。ViewSonic® では、当社の製品は世界中でプラスの影響を与えることができると考えており、お客様が選択された ViewSonic® 製品がお客様に役立つと確信しています。

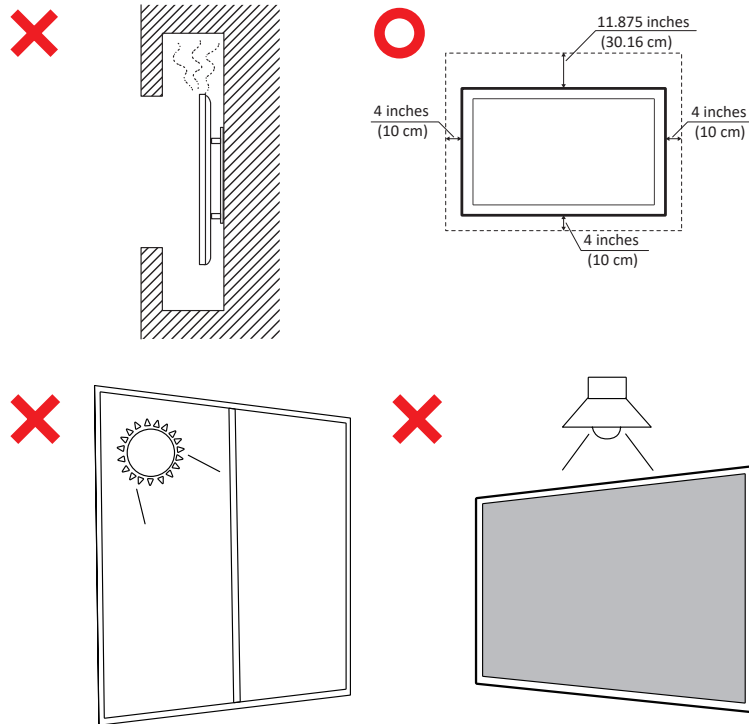
繰り返しになりますが、ViewSonic® をお選びいただき、
誠にありがとうございます。

安全上のご注意

この製品をお使いになる前に、以下の**安全上のご注意**をよくお読みください。

- 本ユーザーガイドは、安全な場所に保管してください。
- 全ての注意事項を読み、全ての仕様説明に従ってください。
- 発火や感電の危険を減らすため、水気、湿気がある場所での使用は避けてください。
- 背面カバーを絶対に取り外さないでください。このディスプレイには高電圧部品が含まれています。触ると重傷を負う可能性があります。
- ディ스플레이は直射日光の当たる場所に置かないでください。
- また、エアコンやストーブ、その他発熱する機器などの近くには設置しないでください。
- 本体の清掃は、やわらかい乾いた布などで行ってください。詳細については、「メンテナンス」をご覧ください。
- 本体を移動させる際は、落としたり、何かにぶついたりしないように十分にご注意ください。
- 本体を傾斜や凹凸のある場所、不安定な場所に置かないでください。本体が転倒・落下してけがや故障の原因となります。
- また、ディスプレイや接続ケーブルの上には重いものを置かないでください。
- 万一、煙、異音、異臭などが発生した場合は、直ちに本体の電源を切り、販売店または ViewSonic® にご連絡ください。そのままご使用を続けることは大変危険です。
- このデバイスは、一般的なオフィスでの使用を目的とした LED バックライト付きのモニターです。
- 分極プラグや接地プラグの安全規定を妨げないようにしてください。分極プラグは2つのブレードがあり、一方がやや幅広になっています。アースタイプのプラグには、2本のブレードと1本のアース用突起があります。幅の広いブレードとアース用突起は、安全のために用意されています。プラグがコンセントに合わない場合は、形状が一致する変換アダプタをご使用ください。
- プラグをコンセントに接続するときは、アース端子を絶対に取り外さないでください。
- プラグや電源コードが、何か物に踏まれたり、挟まれたりしないようにしてください。本体から突出した電源コード部分は、特に注意してください。電源プラグはコンセントの近くに設置し、容易に抜き差し可能な状態でご使用ください。
- 付属品 / アクセサリはメーカーが指定する物のみをご使用ください。

- 移動台車を使用して製品を移動する際には、転倒によって怪我をしないようご注意ください。
- 長期間使用しない場合には、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- ディスプレイは風通しの良い場所に置いてください。また、ディスプレイの内部に熱がこもらないように通風孔周辺には物を置かないでください。また、直接照明を避けてください。



重要

ディスプレイの最適なパフォーマンスと寿命を確保するには、推奨される取り扱い、取り付け、および保管の手順に従うことが不可欠です。ディスプレイを水平に配置すると、次のようなさまざまな問題が発生する可能性があります。

- ディ스플레이の構造部品に過度のストレスがかかり、端に沿ってひび割れや歪みが生じます。
- 重量の分散が不均一になると、時間の経過とともに画面が歪んだり、内部に損傷が生じたり、ひび割れが生じたりする可能性があります。
- 熱関連の損傷。内部コンポーネントが意図したとおりに熱を放散できず、潜在的な故障や永久的な損傷につながる可能性があります。

さらに、ディスプレイの形状を変更すると、敏感な LCD セルを含む内部コンポーネントの整合性が損なわれ、ディスプレイの品質が永久に低下する可能性があります。

このような問題を防ぎ、ディスプレイを最適な状態に保つには、常に垂直状態で取り付け、取り扱い、輸送、保管することをお勧めします。これを怠ると保証が無効になり、ディスプレイのパフォーマンスと寿命が損なわれる可能性があります。

注意事項： ディ스플레이の誤用または不適切な取り扱いによって生じた損傷は保証の対象外となります。

注意:

以下の状況になった場合は、ただちにデバイスを壁のコンセントから外し、認定されたサービス担当者に修理を依頼してください:

- 電源コードやプラグが破損した場合。
- 液体がこぼれたり、物がユニットに落下した場合。
- ユニット雨や湿気にさらしてしまった。
- ユニットが正常に操作できない。または落としてしまった。

デバイスを不安定な場所に置かないでください。デバイスが落下し、重傷または死亡の原因となる可能性があります。特にお子様の怪我の多くは、次のような簡単な予防策を講じることで回避することができます。

- デバイスのメーカーが推奨するキャビネットまたはスタンドを使用する。
- デバイスを安全に支えることができる家具のみを使用する。
- デバイスがサポート家具の端からはみ出していないことを確認する。
- 家具とデバイスの両方を適切なサポートに固定せずに、デバイスを背の高い家具(食器棚や本棚など)に置かない。
- 製品とサポート家具の間にある可能性のある布やその他の素材の上にデバイスを置かない。
- デバイスやそのコントロールに到達するために家具に登る危険性について、お子様に教育する。

既存のデバイスを保持して再配置する場合は、上記と同じ考慮事項を適用してください。

目次

安全上のご注意	3
はじめに	11
付属品.....	11
壁取り付け仕様 (VESA)	12
各部の名称.....	13
I/Oパネル.....	14
背面I/O	15
サイドI/O	16
OPSとWi-Fiスロット	18
リモコン.....	19
リモコン受信機の範囲.....	22
本体の接続	23
電源との接続.....	23
外部デバイスの接続とタッチ接続	24
USBタイプC接続.....	24
HDMI接続	24
DisplayPort接続	24
RS-232接続	25
USB接続	26
USBタイプA.....	26
USBタイプC.....	26
ネットワーク接続.....	27
メディアプレーヤー接続.....	28
オーディオ接続.....	29
音声入力.....	29
音声出力.....	29
SPDIF 接続.....	29
ビデオ出力接続 (HDMI Out).....	30
オプション接続	31
UMB202 カメラプレートの取り付け	31

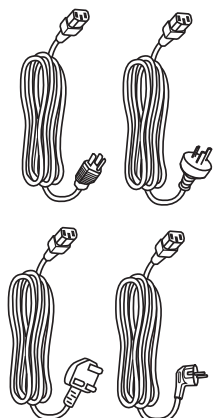
ディスプレイの使用	32
ディスプレイの電源のオン/オフ	32
初期起動セットアップ	33
Home Screen（ホーム画面）	35
General Settings（一般設定）	36
Network（ネットワーク）	37
デバイス.....	40
System (システム).....	47
一般設定メニューツリー	49
オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー	51
リモコンを使用して OSD メニューを操作する.....	51
オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューツリー	52
写真.....	57
低ブルーライトフィルターとアイヘルス	58
PIP	60
アプリケーションでPBP（分割画面モード）を使用する	61
オーディオ	63
時間.....	64
高度な.....	65
について.....	67

組み込みアプリケーションと設定	68
myViewBoard Display	68
myViewBoard Manager	69
vCast	70
ディスプレイグループ設定	72
Synchronized Group Screen All the Time (グループ画面を常時同期)	74
ディスプレイグループに画面を共有する (1対多のキャスト)	74
進行役モード	75
ブロードキャスト	76
複数画面共有	76
プレビュー画面	76
タッチ	76
Windows、MacBook、Chromeデバイスからのキャスト	77
Androidデバイスからのキャスト	79
Apple iOSデバイスからのキャスト	83
モバイルデバイスからViewBoardへの接続	86
Chromecastでキャストする	87
Miracastでキャストする	89
その他のデフォルトアプリケーション	91
Chromium	91
フォルダ	92
OfficeMobile	94
vSweeper	95
RS-232プロトコル	96
詳細	96
RS-232ハードウェア仕様	96
LANハードウェア仕様	97
RS232通信設定	97
LAN通信設定	97
コマンドメッセージリファレンス	97
プロトコル	98
Set-関数リスト	98
Get-関数リスト	106
リモコンパススルーモード	114

付録	117
USBメディアサポートフォーマット.....	117
写真.....	117
ビデオ.....	117
オーディオ.....	121
字幕.....	127
タイミング表.....	128
HDMI PC.....	128
HDMI.....	129
Type C.....	130
ディスプレイモード.....	131
VGAモード.....	131
HDMI/DisplayPort/タイプCモード.....	131
トラブルシューティング.....	132
メンテナンス.....	135
お手入れの際の注意.....	135
画面のお手入れ.....	135
ケースのお手入れ.....	135
規制およびサービス情報	136
コンプライアンス情報.....	136
FCCコンプライアンス声明.....	136
カナダ産業省の声明.....	136
欧州諸国のCE適合.....	136
RoHS2コンプライアンス宣言.....	137
ENERGY STAR®に関する声明.....	138
インドの有害物質規制.....	139
製品ライフサイクル終了時の製品の廃棄.....	139
著作権情報.....	140
カスタマーサポート.....	141
限定保証.....	142

はじめに

付属品

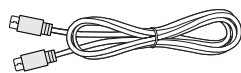


地域別

電源ケーブル
(3m / 9.84フィート)



HDMIケーブル
(3m / 9.84フィート)



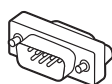
USB タイプC ケーブル
(1.8m / 5.9フィート)



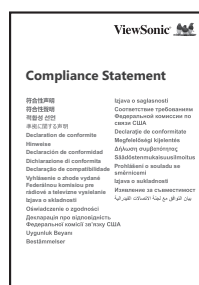
リモコン



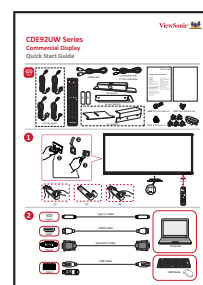
2 x 単四電池



RS-232アダプタ



コンプライアンス声明



クイックスタートガイド



4 x HM8 16 x 25 mm



4 x CM3 16 x 25 mm



M16 x 14 mm



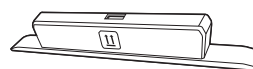
5 x クランプ



2 x カメラプレート
(UMB202用)



カメラプレート
(VB-CAM-201用)

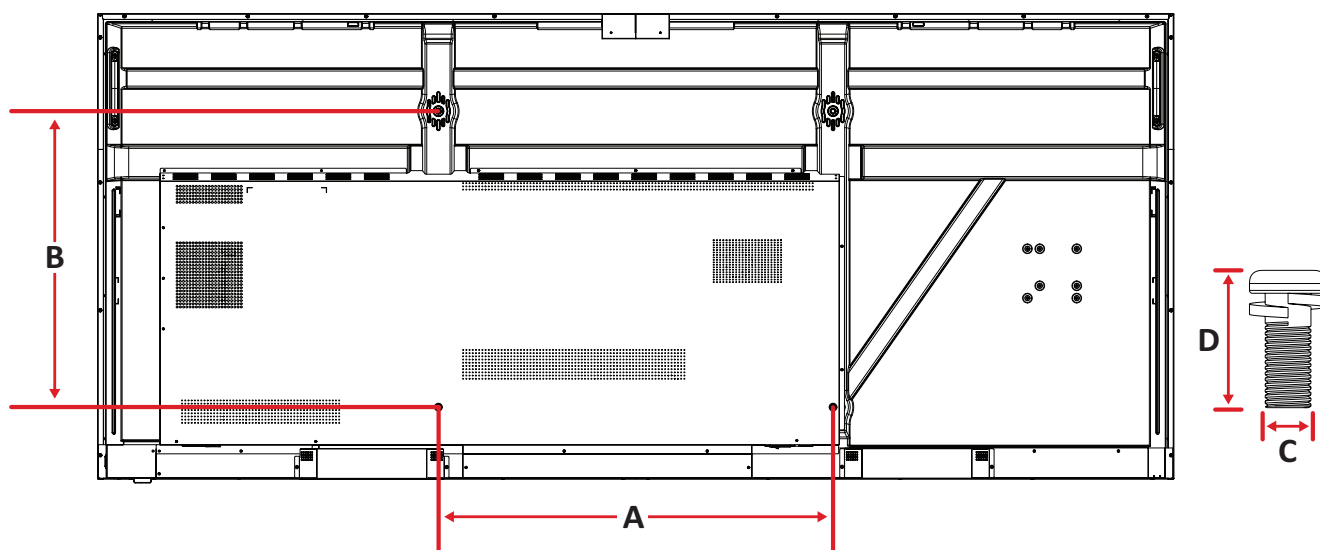


Wi-Fi Dongle
(VB-WIFI-004)
(オプション)

注意事項： 同梱されているケーブルは、お住まいの国や地域によって規格が異なる場合があります。

壁取り付け仕様 (VESA)

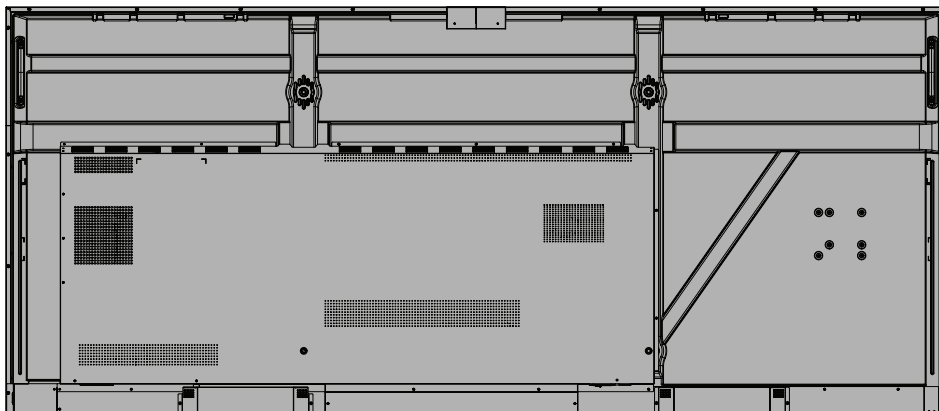
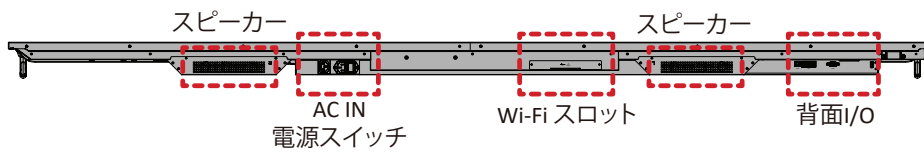
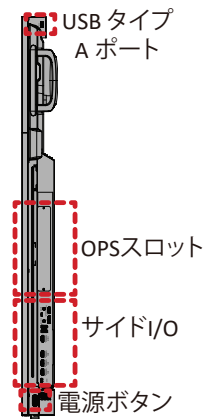
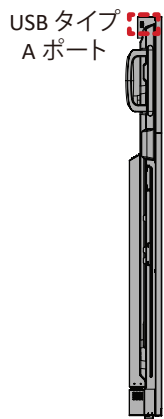
注意事項： 壁取り付けまたはモバイルマウントブラケットを取り付ける場合は、壁取り付けガイドの指示に従ってください。他の建築材料に取り付ける場合は、最寄りの販売店にお問い合わせください。



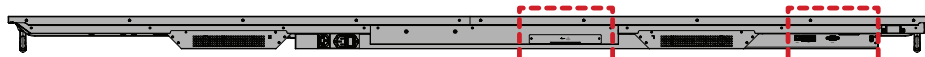
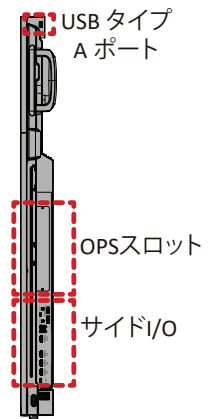
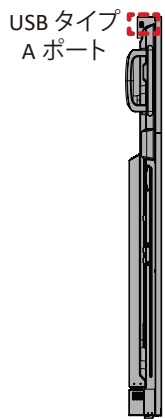
モデル	VESA仕様 (A x B)	標準ネジ (C x D)	数量
CDE92UW	800 x 600 mm	M8 x 25 mm	4
CDE105UW	1000 x 600 mm	M8 x 25 mm	4

注意事項： ディスプレイの内部に損傷を与える可能性があるため、標準寸法より長いネジは使用しないでください。

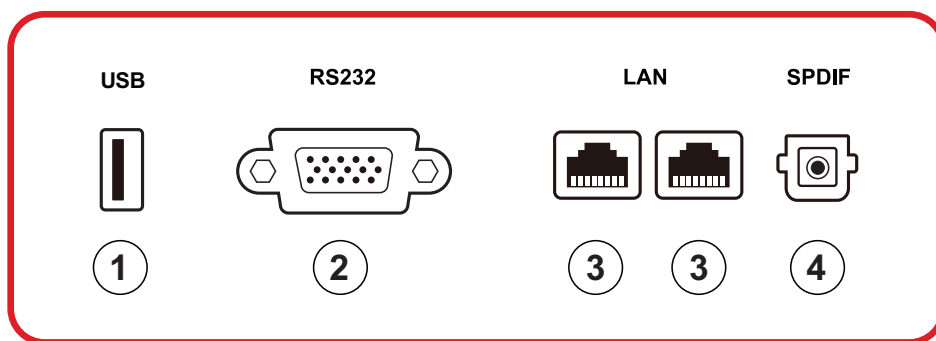
各部の名称



I/O パネル

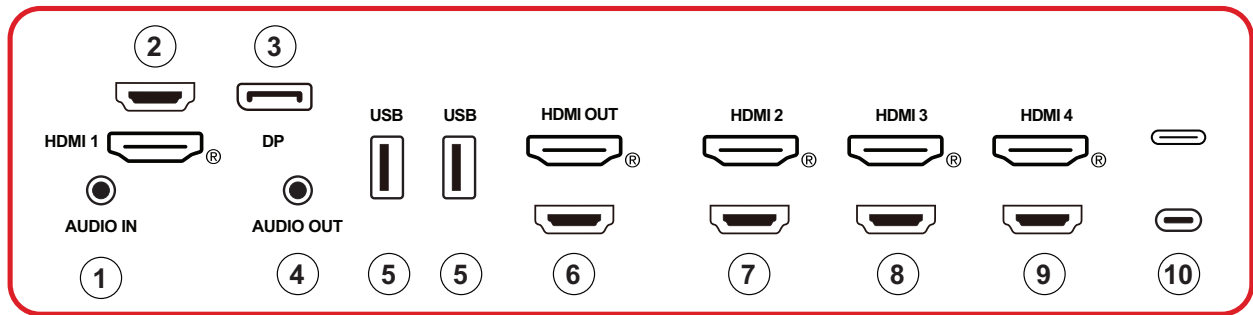


背面I/O



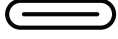
数	項目	詳細
1	USB	<ul style="list-style-type: none"> • USB タイプA 入力。 • USB 2.0 規格。 • ハードディスク、キーボード、マウスなどのUSB デバイスを接続します。 • サポート対象：5V/0.5A。
2	RS-232	シリアルインターフェイス、デバイス間のデータの相互転送に使用されます。
3	LAN	標準RJ45 (10M/100M/1000M) インターネット接続インターフェイス。ネットワーク共有のためのハブサポートを備えています。
4	SPDIF	光信号を介したマルチチャンネルサウンド。

サイドI/O

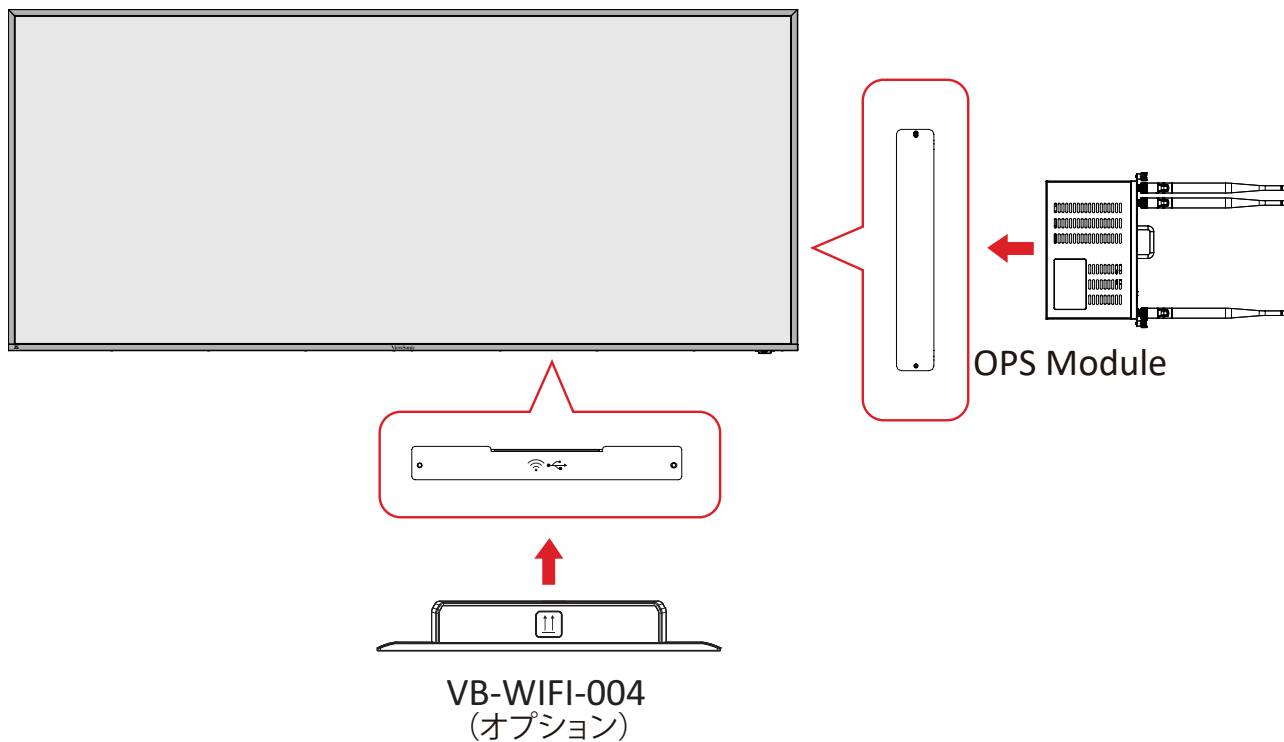


数	項目	詳細
1	AUDIO IN	外部デバイスのオーディオ入力。
2	HDMI 1	<ul style="list-style-type: none"> • HDMI入力。 • HDMI 出力、セットトップ ボックス、またはその他のビデオ デバイスを備えたコンピューターに接続します。 • 5K¹ ディスプレイ、HDMI v 2.1; CEC; ARC をサポートします。
3	DP	<ul style="list-style-type: none"> • DisplayPort 入力。 • サポート対象 5K¹@60Hz; DP 1.4; HDCP 2.3.
4	AUDIO OUT	Audio output to an external speaker or headset.
5	USB	<ul style="list-style-type: none"> • USB タイプA 入力。 • USB 3.0 規格。 • ハードディスク、キーボード、マウスなどのUSB デバイスを接続します。 • サポート対象:5V/0.9A。
6	HDMI OUT	
7	HDMI 2	<ul style="list-style-type: none"> • HDMI入力。 • HDMI 出力、セットトップ ボックス、またはその他のビデオ デバイスを備えたコンピューターに接続します。 • 4K ディスプレイ、HDMI v 2.0; CEC をサポートします。
8	HDMI 3	<ul style="list-style-type: none"> • HDMI入力。 • HDMI 出力、セットトップ ボックス、またはその他のビデオ デバイスを備えたコンピューターに接続します。 • 4K ディスプレイ、HDMI v 2.0; CEC をサポートします。

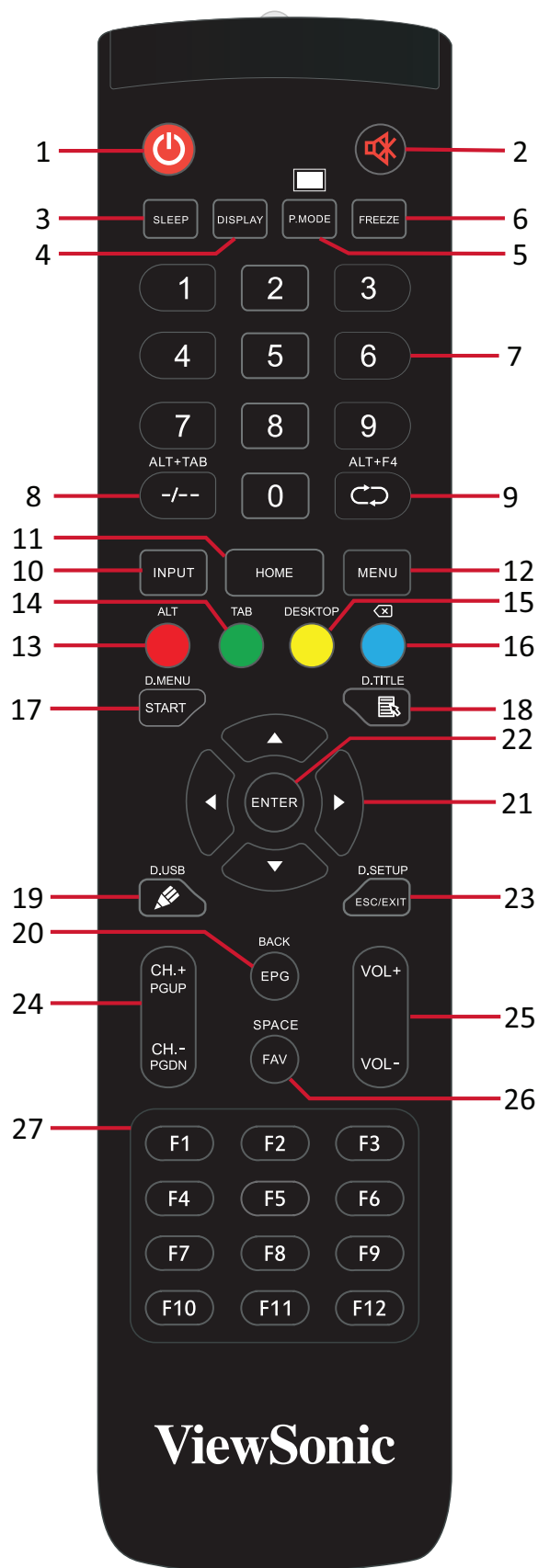
1- 5K ディスプレイの品質はケーブルと信号の安定性に依存します。

数	項目	詳細
9	HDMI 4	<ul style="list-style-type: none"> • HDMI入力。 • HDMI 出力、セットトップ ボックス、またはその他のビデオ デバイスを備えたコンピューターに接続します。 • 4K ディスプレイ、HDMI v 2.0; CEC をサポートします。
10	 (タイプ C)	<ul style="list-style-type: none"> • USB タイプC 入力。 • USB 3.0 規格。 • DP v をサポートします。1.2 オーディオとビデオ付き。 • 100MのLANをサポートします。 • OPSなしで最大100Wの電力充電をサポートします。以下もサポートします:5V/3A, 9V/3A, 12V/3A, 15V/3A, 20V/3.25A, 20V/5A.

OPSとWi-Fiスロット



リモコン



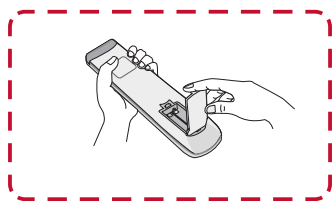
数	項目	詳細
1	⏻	電源オン / オフ
2	🔇	ミュート / ミュート解除
3	スリープ	スリープモード
4	ディスプレイ	非 Android ソースの場合、現在の入力ソースの情報を表示 します
5	P.MODE	ブランク画面
6	フリーズ	画面のフリーズ
7		数字入力ボタン
8	ALT+TAB -/-	スロットイン PC、スペースバー、Alt+Tab
9	ALT+F4 ↺	スロットイン PC、プログラムウィンドウを閉じる
10	インプット	入力ソースの選択
11	HOME	スロットイン PC のメインインターフェイスに戻る
12	メニュー	Android の場合は、設定を表示し、その他のソースの場合 は、タッチメニュー設定を表示する
13	赤色 /ALT	画面キャプチャ
14	緑色 /TAB	PC ² の [Tab] ボタン
15	黄色 /DESKTOP	スロットイン PC のデスクトップに切り替える
16	青色 / ⌫	PC ² の [Backspace] ボタン
17	START/D.MENU	PC ² の [Windows] ボタン
18	☰ / D.TITLE	PC ² の [Menu] ボタン
19	🔧 / D.USB	ソフトウェア設定を保存する
20	EPG/BACK	戻るボタン
21	▲ / ▼ / ◀ / ▶	上、下、左、右にスクロールする
22	入力	選択 / 状態を確認する
23	ESC/EXIT/ D.SETUP	ダイアログボックスを終了するためにショートカットボタン
24	CH.+ / PGUP / CH.- / PGDN	CH+ : PC の前のページ CH- : PC の次のページ
25	VOL+ / VOL-	音量を上げる / 下げる
26	FAV / SPACE	PC ² の [Space] ボタン
27	F1-F12	スロットイン PC の F1 ~ F12 のファンクションボタン

2- すべてのPC関連のファンクションキーは、スロットインPC無しでは利用できません。

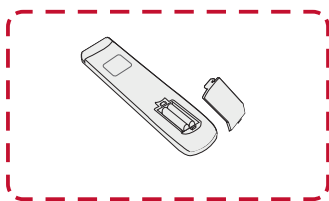
リモコン電池の挿入

電池をリモコンに挿入するには：

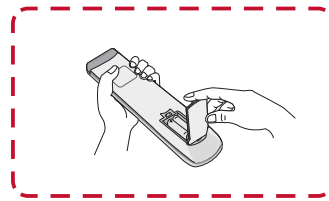
1. リモコンの背面にあるカバーを取り外します。
2. 2つの「単四」電池を挿入し、電池の「+」記号が電池ポストの「+」と一致することを確認します。
3. カバーをリモコンのスロットに合わせ、ラッチをスナップして閉じて、カバーを元に戻します。



(1)



(2)



(3)

警告： 電池を間違ったタイプに交換すると、爆発の危険があります。

注意事項：

- 電池の種類を混在させないことをお勧めします。
- 古い電池は常に環境に優しい方法で廃棄してください。電池を安全に廃棄する方法の詳細については、地方自治体にお問い合わせください。

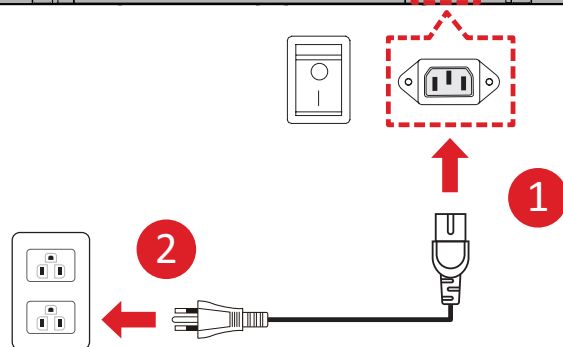
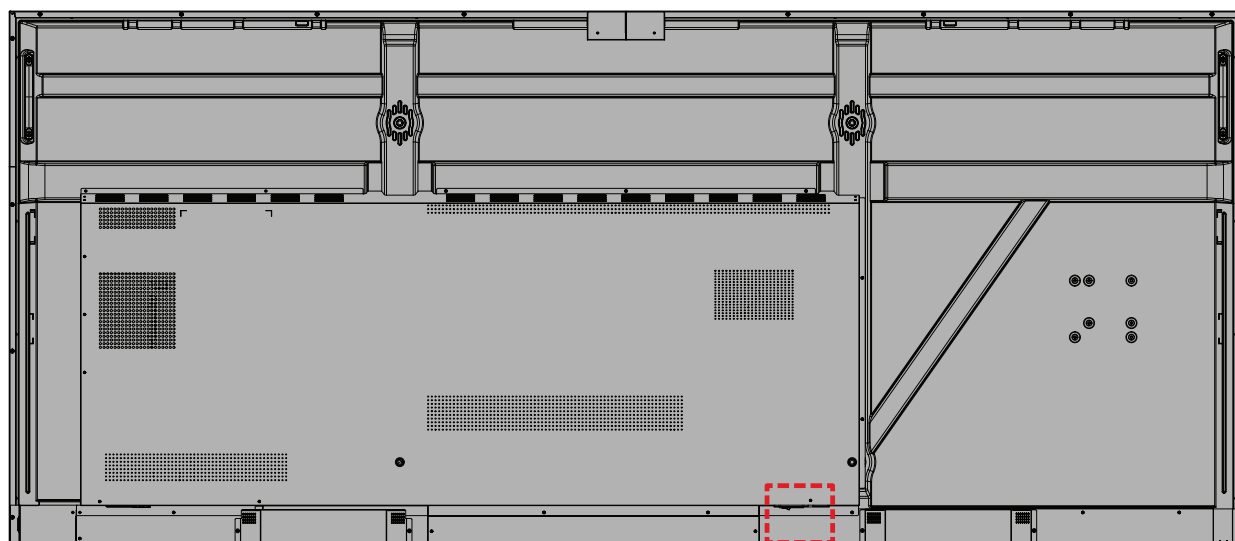
リモコン受信機の範囲

リモコンの動作範囲を以下に示します。有効範囲は6メートル、左右30度です。リモコンの受信機への信号を妨げるものがないことを確認してください。



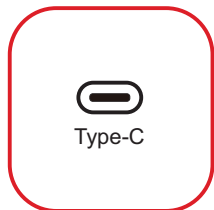
本体の接続

電源との接続



1. プロジェクターの側面にあるAC入力ジャックに電源アダプターを接続します。
2. 電源プラグをコンセントに挿し込みます。

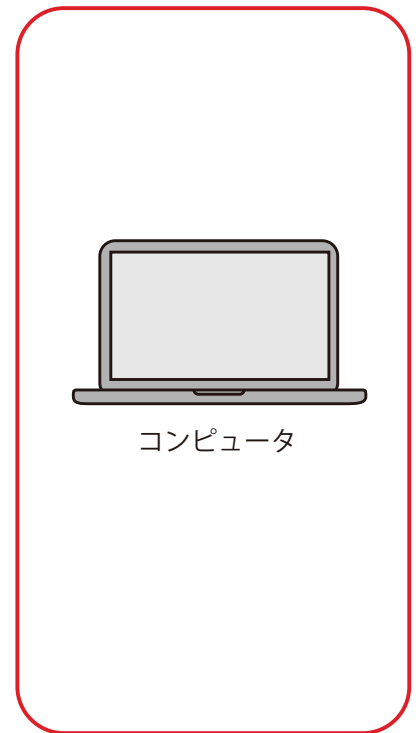
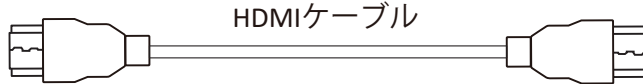
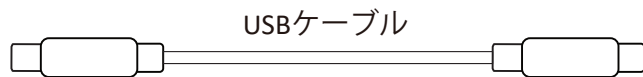
外部デバイスの接続とタッチ接続



または



または



外部デバイスは、次の構成のいずれかで接続できます。

USB タイプ C 接続

USB タイプ C ケーブルを外部デバイスからディスプレイの **Type-C (≡)** ポートに接続します。

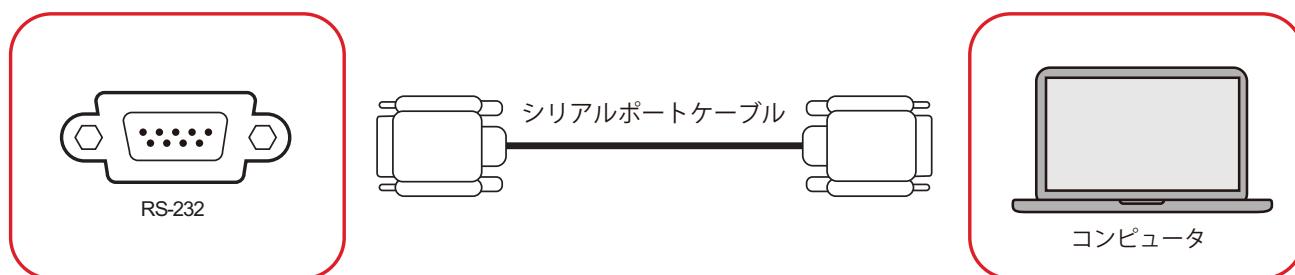
HDMI 接続

HDMI ケーブルを外部デバイスからディスプレイの **HDMI 1/2/3/4** ポートに接続します。

DisplayPort 接続

DisplayPort ケーブルを外部デバイスからディスプレイの **DP** ポートに接続します。

RS-232 接続

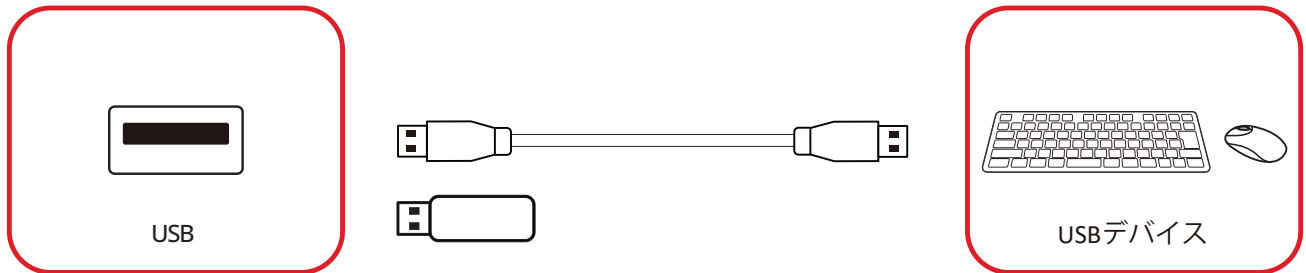


RS-232 シリアルポートケーブルを使用してディスプレイを外部コンピュータに接続すると、電源のオン/オフ、音量調整、入力選択、輝度など、特定の機能を PC からリモートで制御できます。

USB 接続

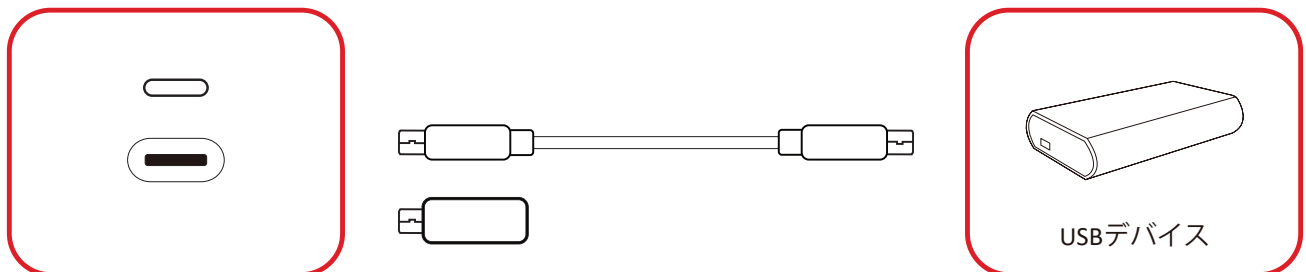
他の PC と同じように、さまざまな USB デバイスやその他の周辺機器をディスプレイに簡単に接続できます。

USBタイプA



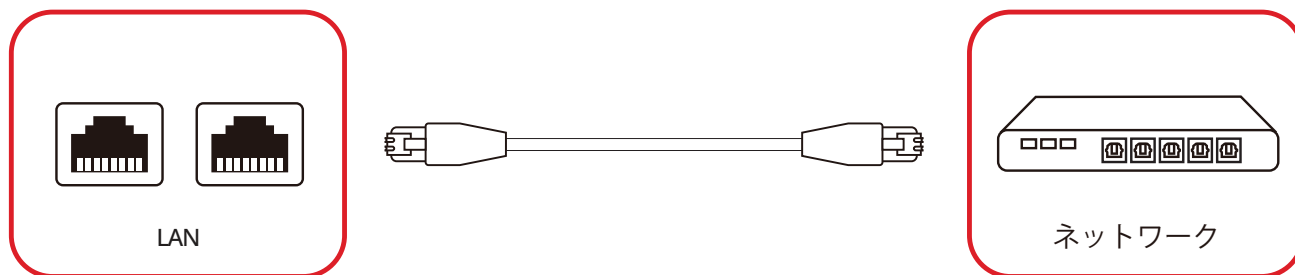
USB デバイスカーブルを USB タイプ A ポートに接続します。

USBタイプC



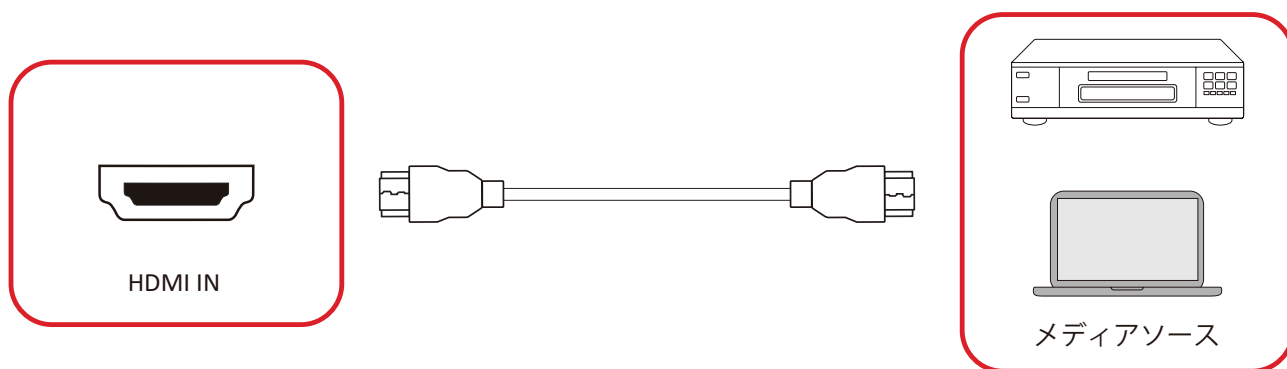
USB デバイスカーブルを USB タイプ C (≡) ポートに接続します。

ネットワーク接続



ローカル ネットワークに接続するには、イーサネット ケーブルをネットワークに接続し、もう一方の端をディスプレイの **LAN** ポートに接続します。

メディアプレーヤー接続



メディアプレーヤーに接続するには：

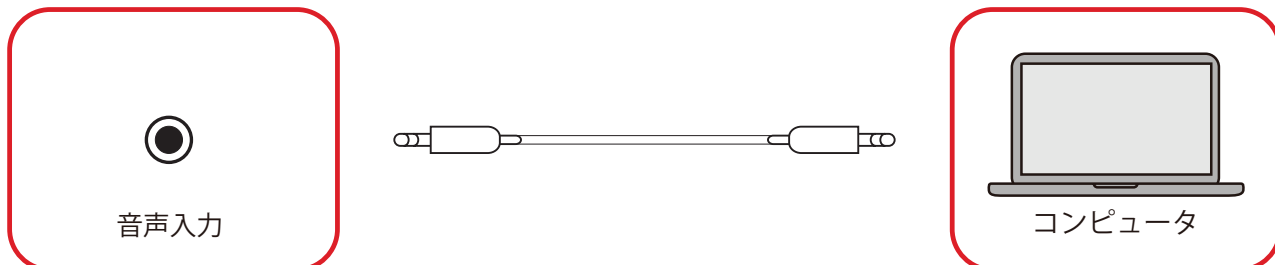
1. HDMI ケーブルをディスプレイおよび周辺機器の **HDMI** ポートに接続します。
2. リモコンの **INPUT** ボタンを押して、HDMI 入力ソースに切り替えます。

オーディオ接続

ディスプレイは音声入力と音声出力の両方をサポートしています。

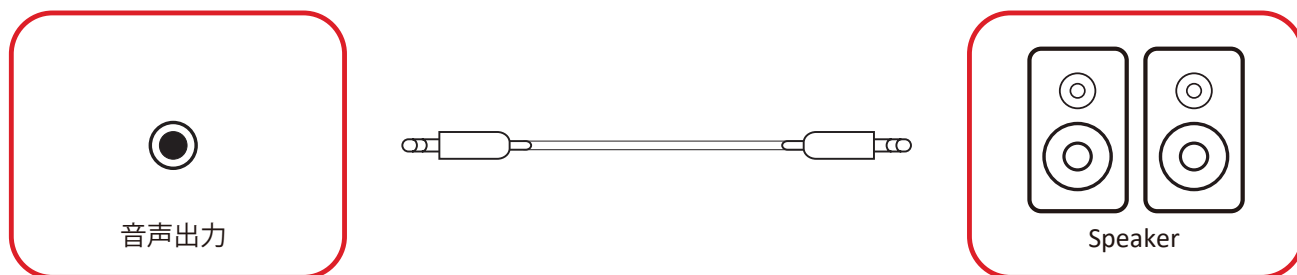
音声入力

外部デバイスからの音声をディスプレイのスピーカーで再生するには、音声ケーブルの一方の端を外部デバイスに接続し、もう一方の端をディスプレイの**音声入力**ポートに接続します。

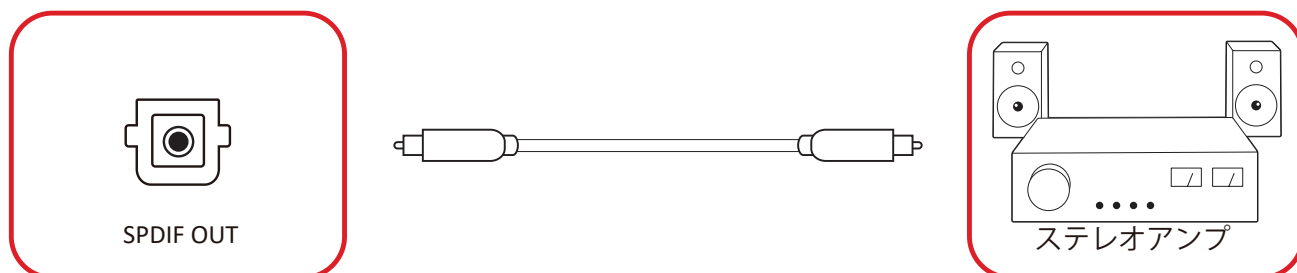


音声出力

ディスプレイから外部スピーカーを介して音声を再生するには、音声ケーブルの一方の端を外部スピーカーに接続し、もう一方の端をディスプレイの**音声出力**ポートに接続します。

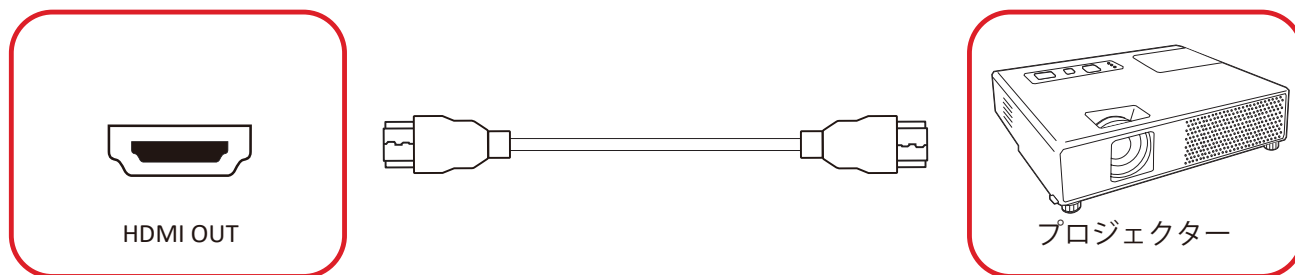


SPDIF 接続



外部サウンドシステムに接続するには、ディスプレイの **SPDIF** ポートからサウンドシステムの光コネクタに光ケーブルを接続します。

ビデオ出力接続 (HDMI Out)

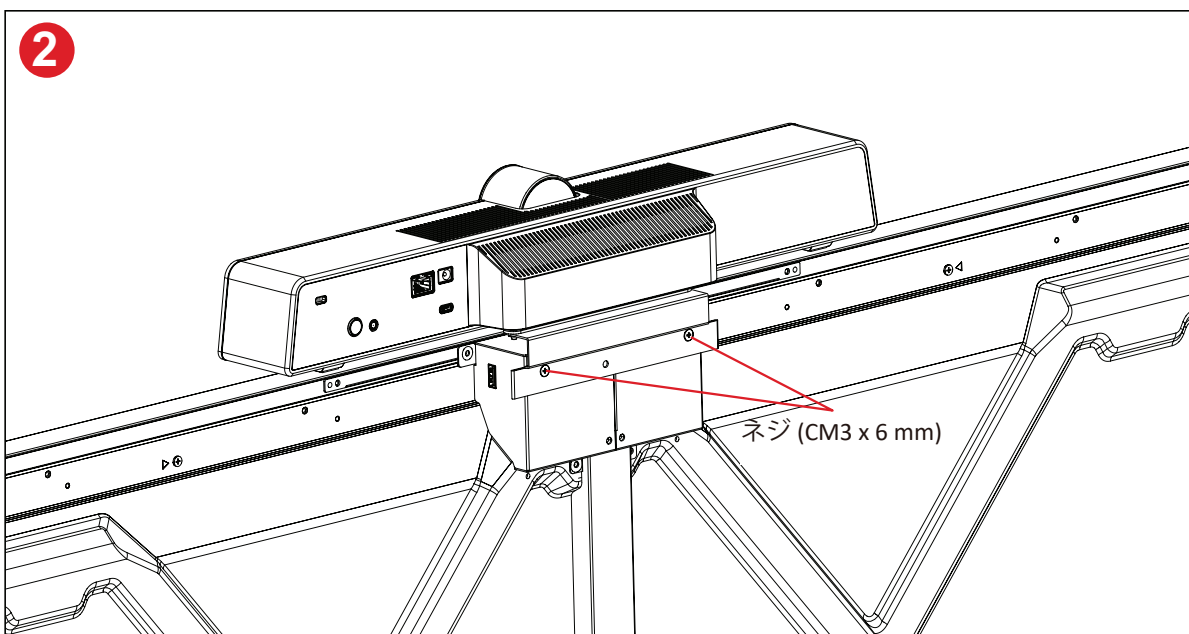
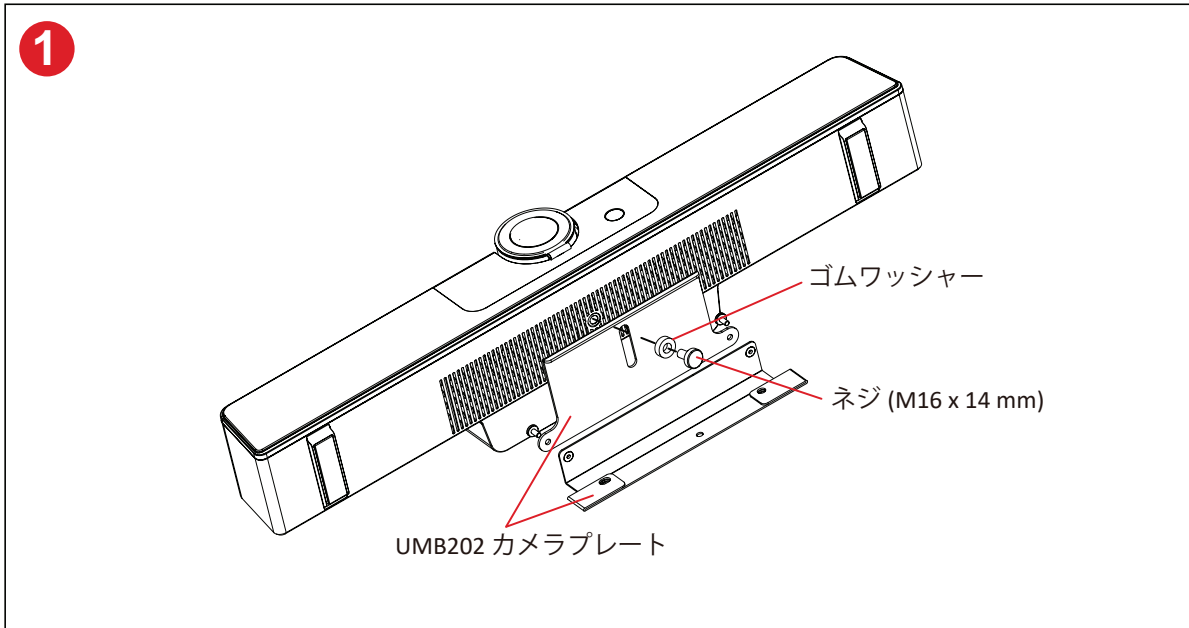


ディスプレイデバイスを介してビデオを出力するには：

1. HDMI ケーブルをディスプレイデバイスの **HDMI IN** ポートに接続し、もう一方の端をディスプレイの **HDMI OUT** ポートに接続します。
2. リモコンの **INPUT** ボタンを押して、HDMI IN入力ソースに切り替えます。

オプション接続

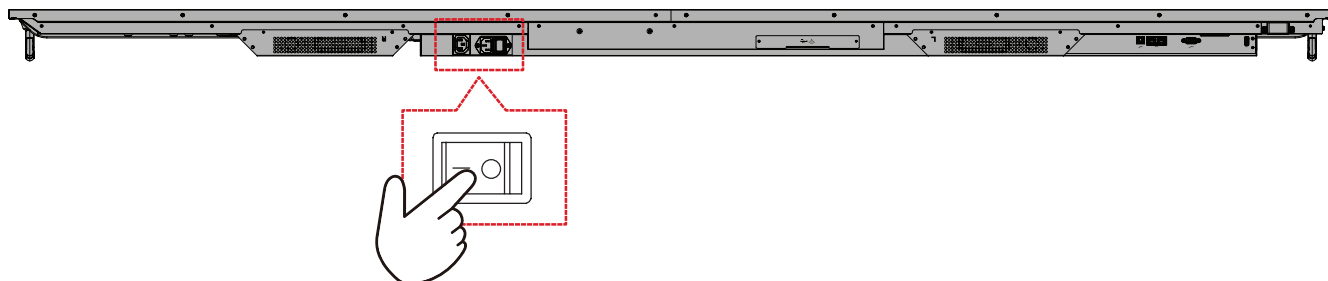
UMB202 カメラプレートの取り付け



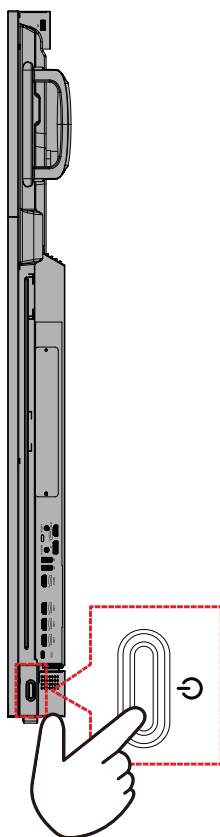
ディスプレイの使用

ディスプレイの電源のオン / オフ

1. 電源コードが接続され、電源コンセントに差し込まれ、電源スイッチが「オン」の位置にあることを確認します。



2. 電源ボタンを押して、ディスプレイをオンにします。

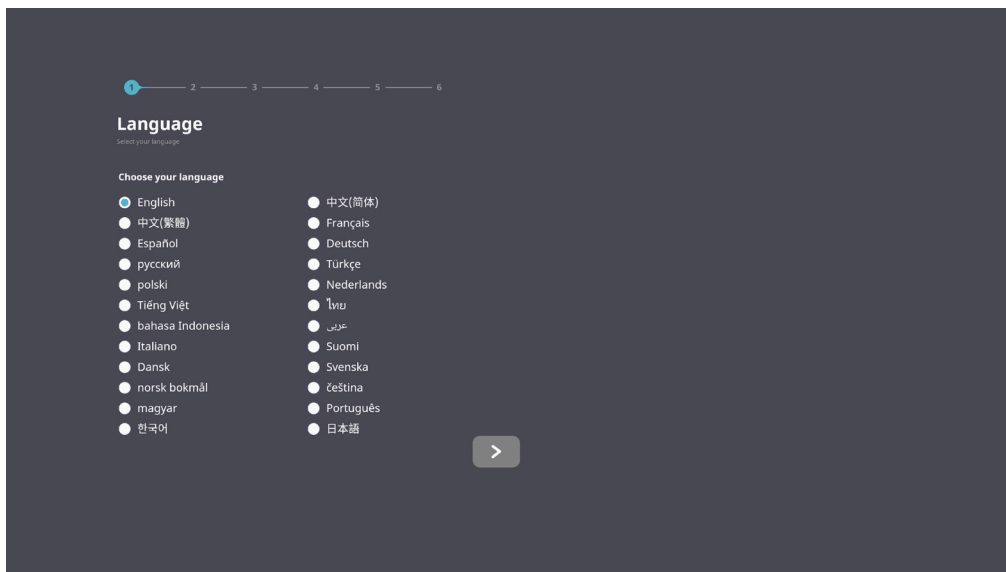


3. ディスプレイをオフにするには、電源ボタンを押し続けます。

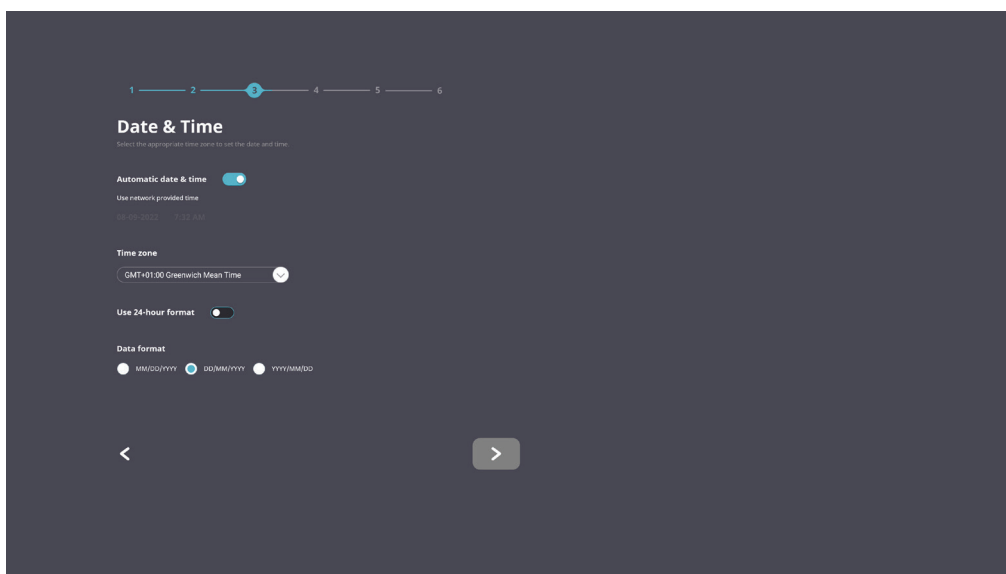
初期起動セットアップ

ディスプレイを最初にオンにすると、初期セットアップウィザードが起動します。

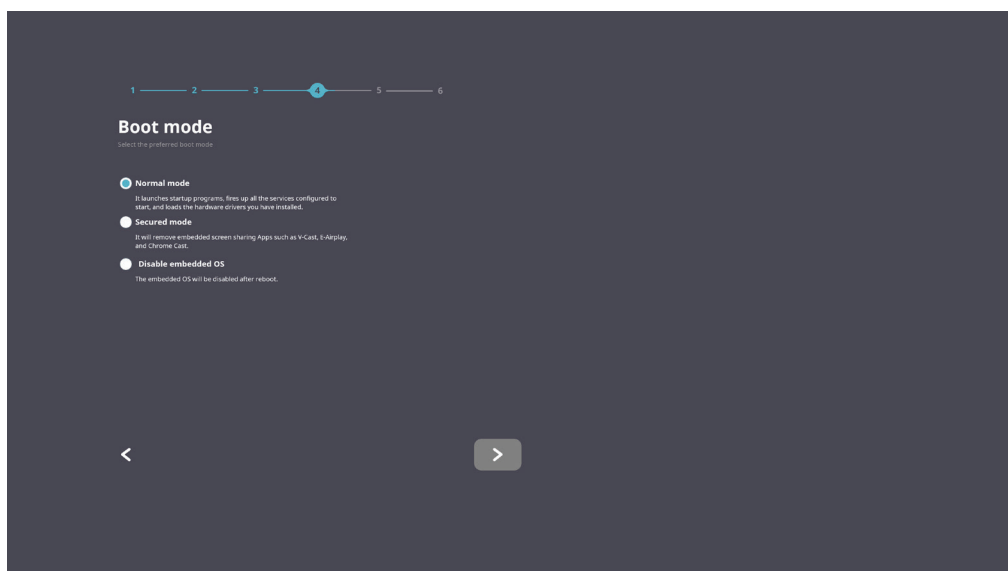
1. 言語の選択:



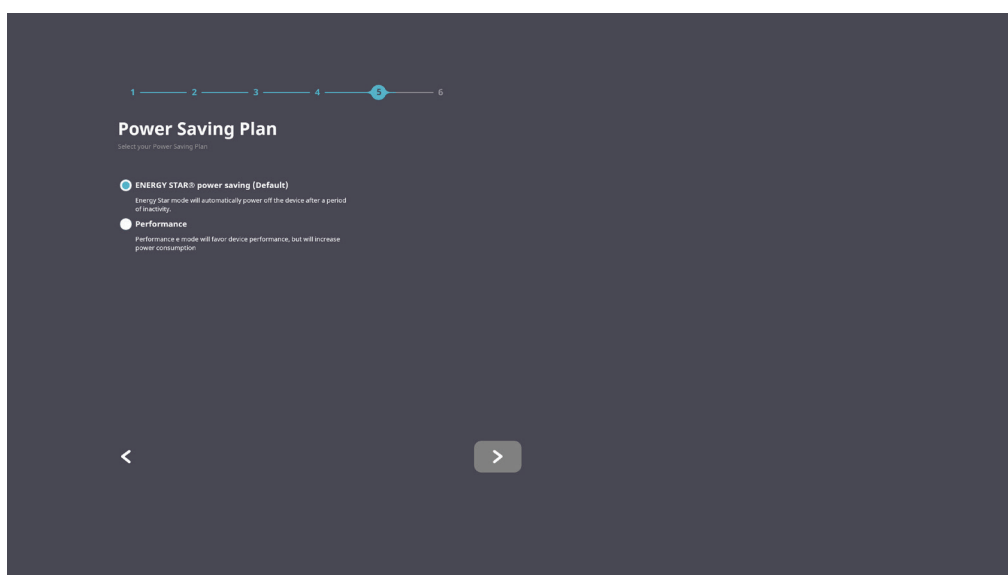
2. タイムゾーンを選択:



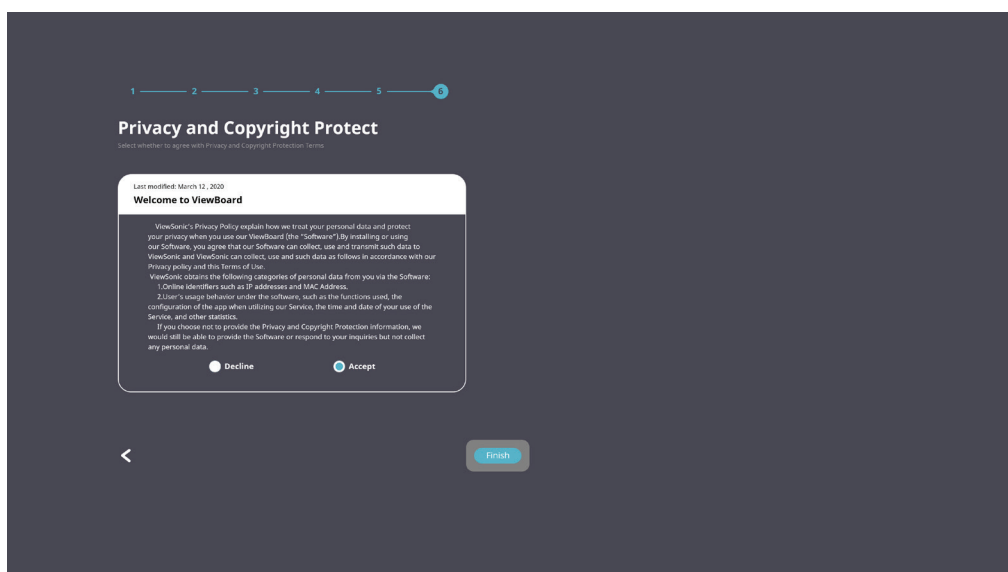
3. ご希望のシステムモードの選択:



4. 省電力プランの選択:

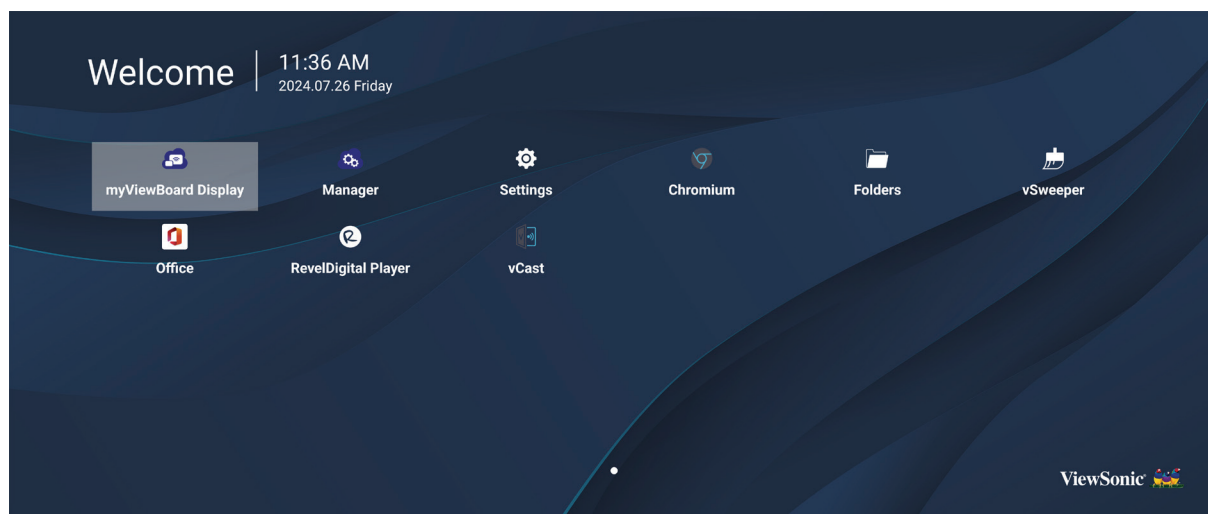


5. プライバシーと著作権保護の条件に同意するか拒否します。



Home Screen (ホーム画面)

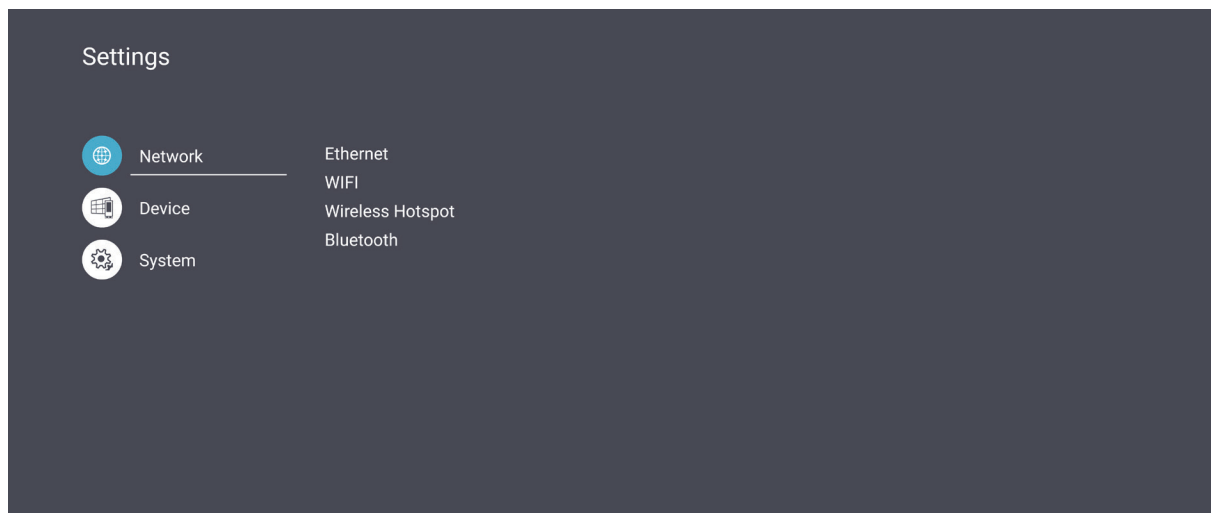
ホーム画面からはインストールされているすべてのアプリケーションにアクセスできます。



注意事項： リモコンの **ホーム** ボタンを押すと、いつでも **ホーム画面** に戻ることができます。

General Settings (一般設定)

基本的なネットワーク、デバイス、システム設定を構成します。

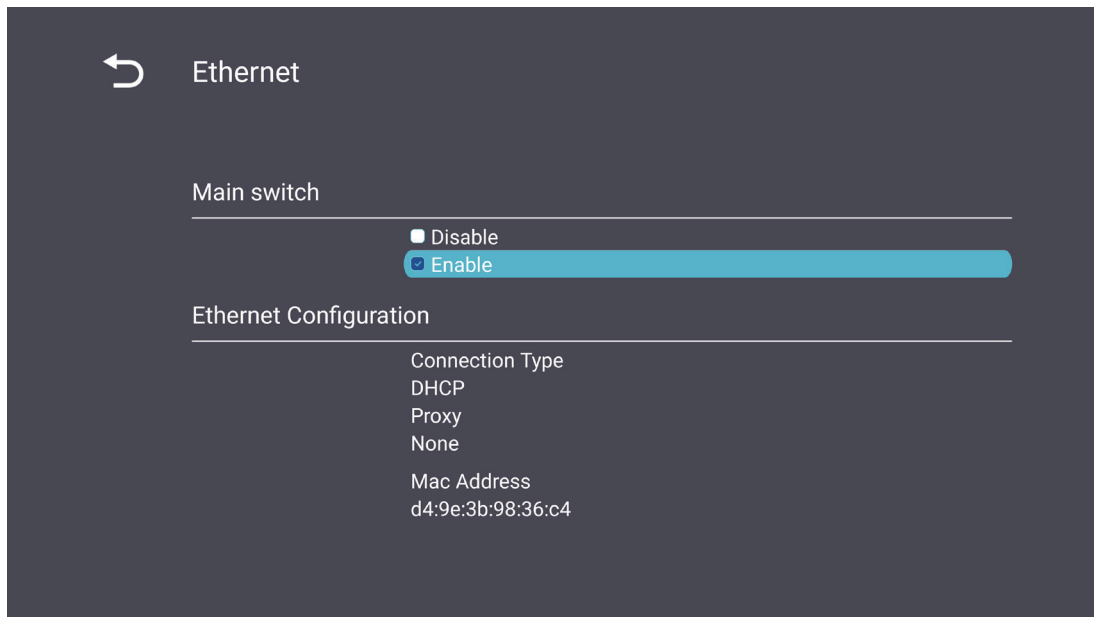


Network (ネットワーク)

イーサネット、Wi-Fi、ワイヤレス ホットスポット、Bluetooth の設定を構成します。

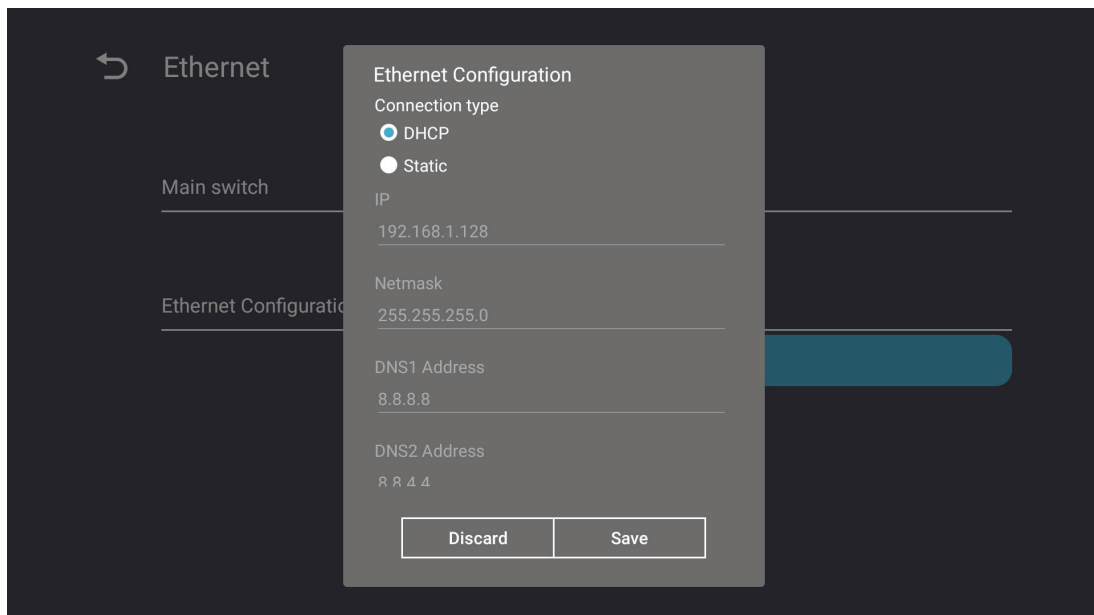
イーサネット

- イーサネットを有効/無効にします。



注意事項： イーサネットを有効にすると、接続タイプと MAC アドレスが利用できるようになります。

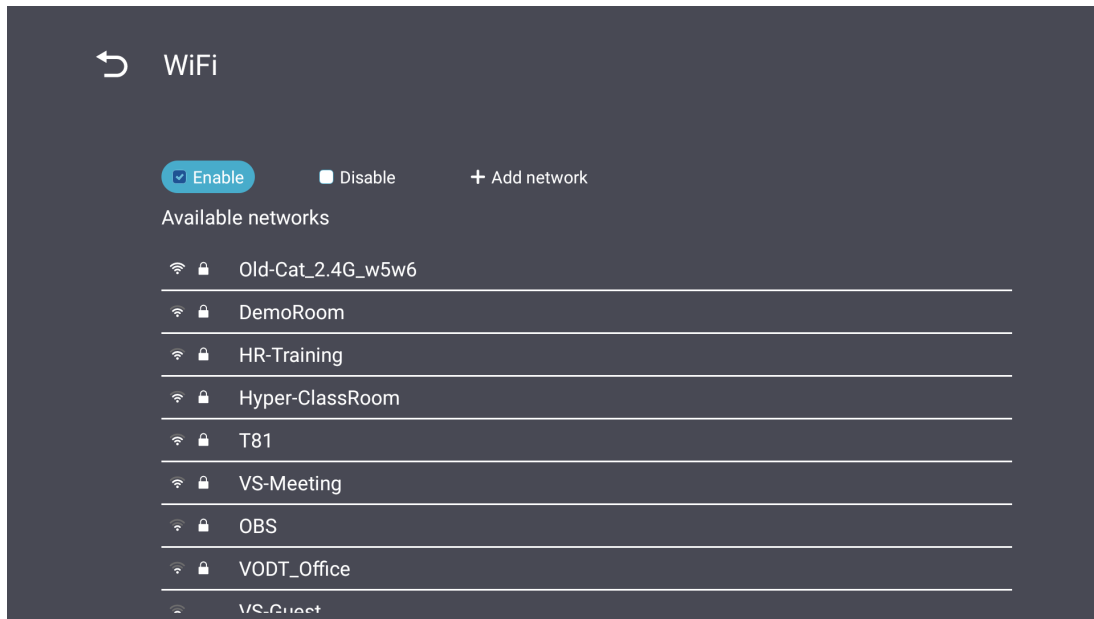
- 接続タイプを調整します。



接続タイプ	説明
DHCP	IP アドレス、ネットマスク、DNS アドレス、ゲートウェイを変更できません。
静的IP	IP アドレス、ネットマスク、DNS アドレス、ゲートウェイを入力できます。

Wi-Fi

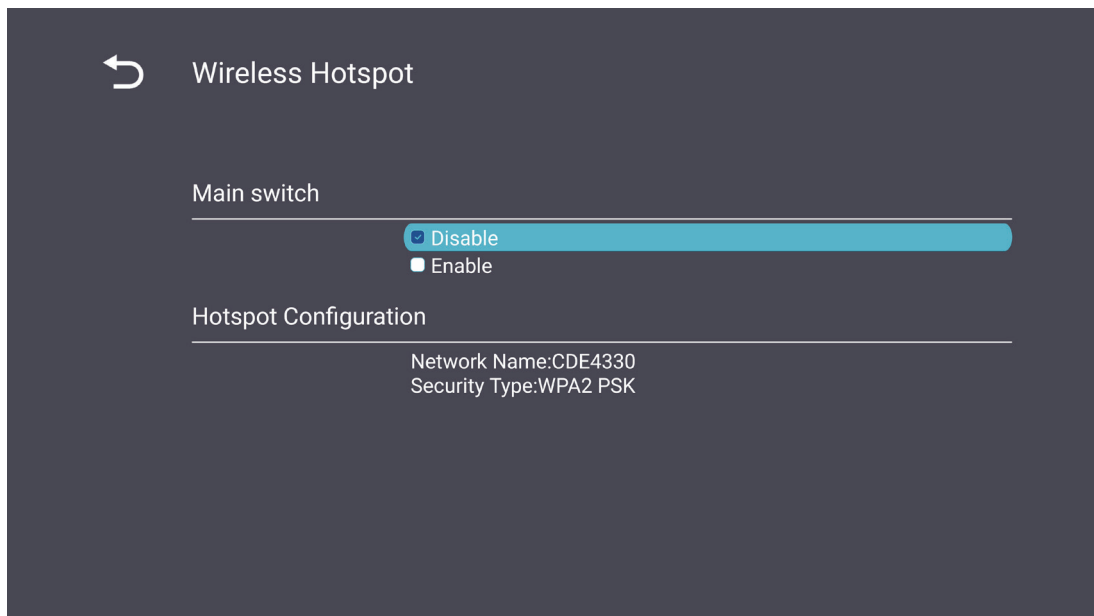
- Wi-Fi を有効/無効にします。
- Wi-Fi ネットワークを追加するか、利用可能なリストから選択します。



注意事項： Wi-Fi を有効にすると、利用可能なネットワークがリストされます。

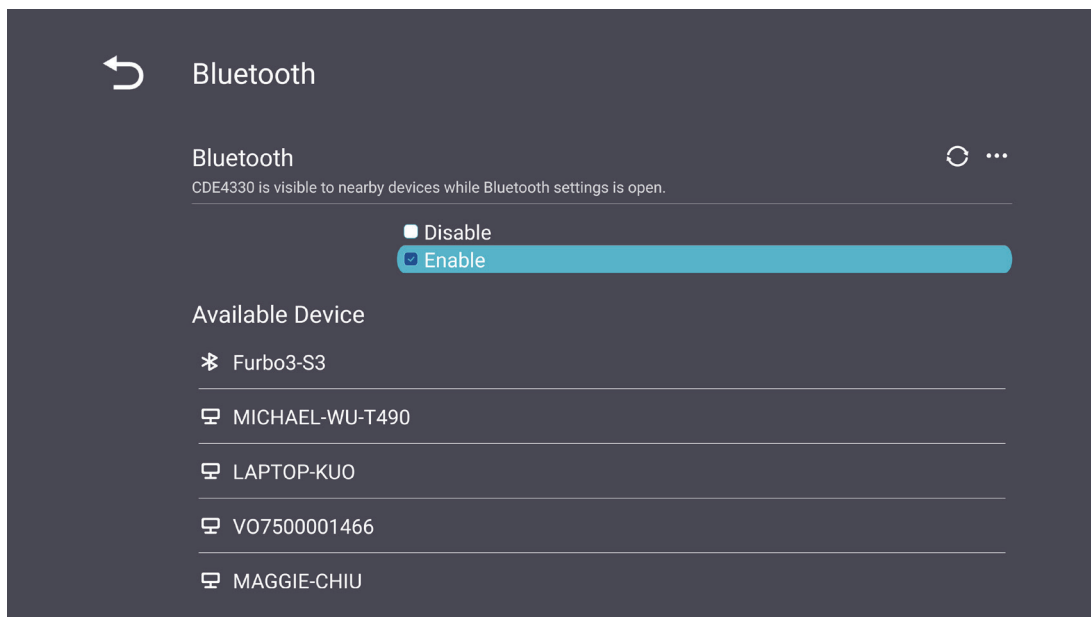
ワイヤレスホットスポット

- ワイヤレス ホットスポットを有効/無効にします。
- 有効にすると、デバイス間でインターネット接続を共有できます。



ブルートゥース

- Bluetoothを有効/無効にします。

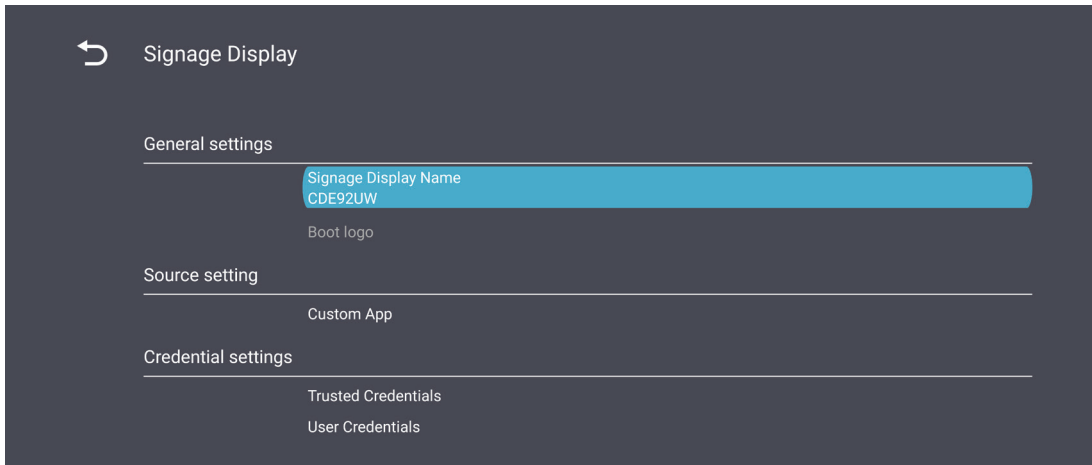


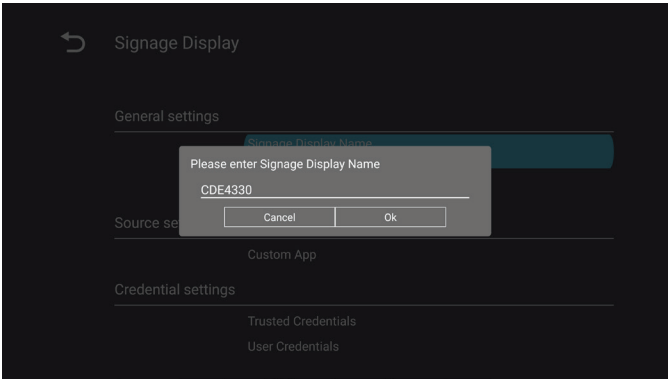
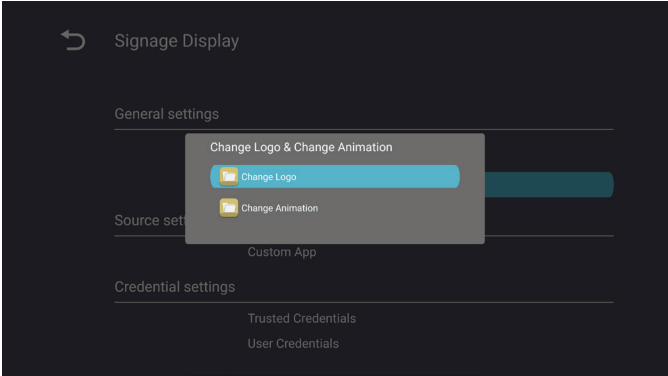
デバイス

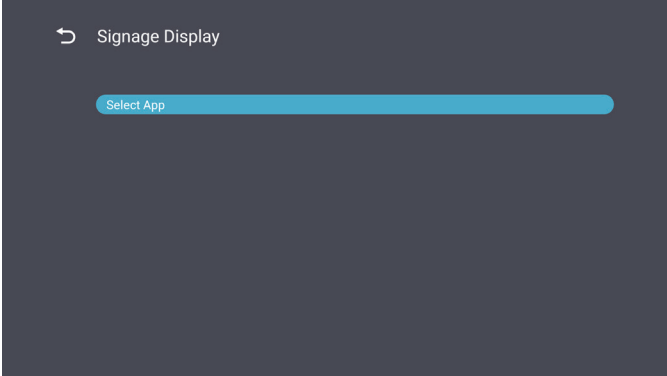
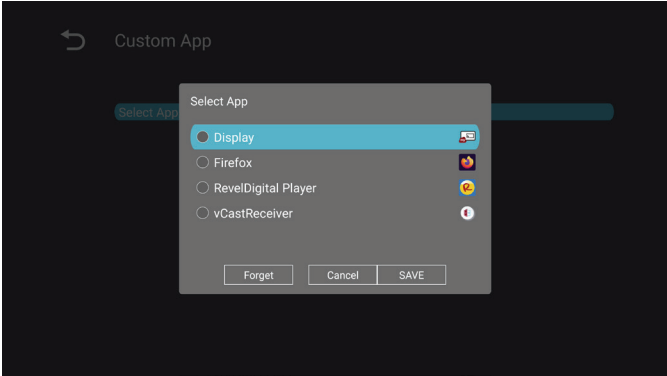
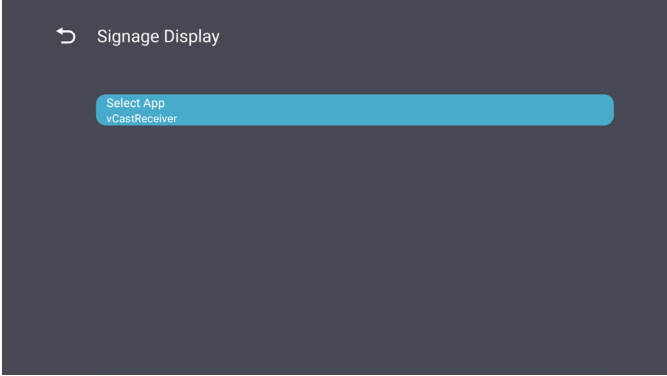
サイネージ ディスプレイ、システム ツール、ディスプレイ、アプリ、物理キーボードの設定を構成します。



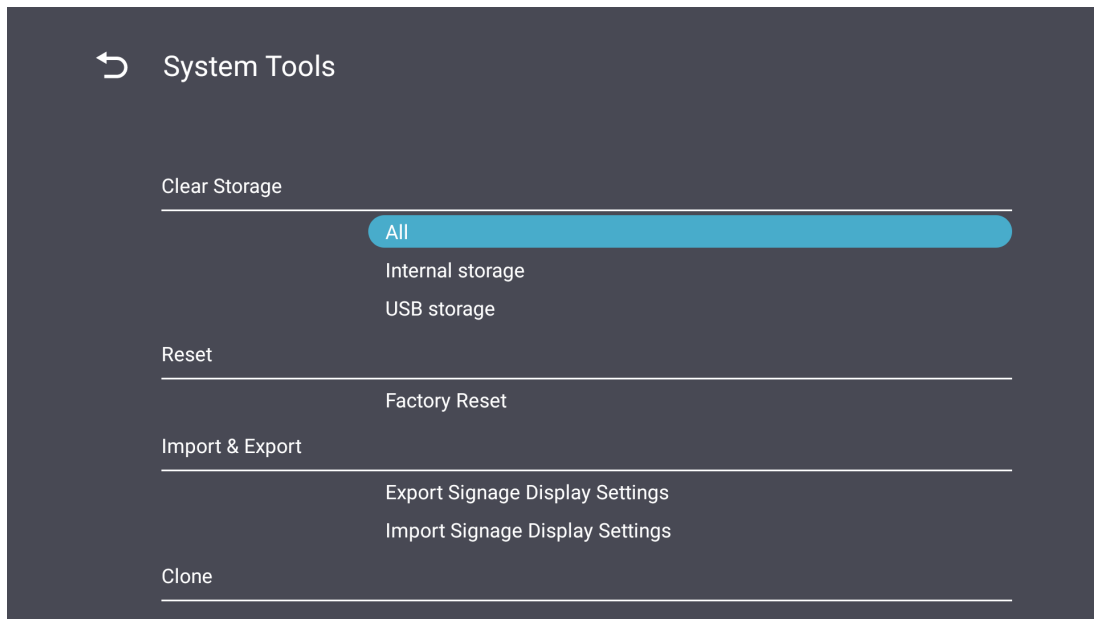
サイネージディスプレイ



アイテム	説明
一般設定	<p><u>サイネージ表示名</u></p> <p>ディスプレイの名前を設定します。最大36文字。</p> 
	<p><u>ブートロゴ</u></p> <ul style="list-style-type: none">•ブートロゴを有効/無効にします。•カスタム ブート ロゴまたはアニメーション ファイルを選択します。  <p>注意事項： カスタムのブート ロゴまたはアニメーション ファイルを選択できるようにするには、OSD メニューの 詳細 設定で「ロゴでのブート」が「ユーザー」に設定されていることを確認します。</p>

アイテム	説明
<p style="text-align: center;">ソース設定</p>	<p><u>カスタムアプリ</u></p> <p>カスタム入力ソース用のカスタム .apk アプリケーションをセットアップします。カスタムアプリが設定されている場合、入力ソースが「カスタム」に変更されると、ディスプレイにアプリが開きます。</p>   
<p style="text-align: center;">安全</p>	<p><u>外部ストレージ</u></p> <p>USB ストレージを有効/無効にします。 注意事項： 有効にした後、接続されている USB 外部ストレージ デバイスを再度挿入します。</p> <p><u>不明な情報源</u></p> <p>不明な .apk ファイルのインストールを許可するか、許可しないかを指定します。</p>

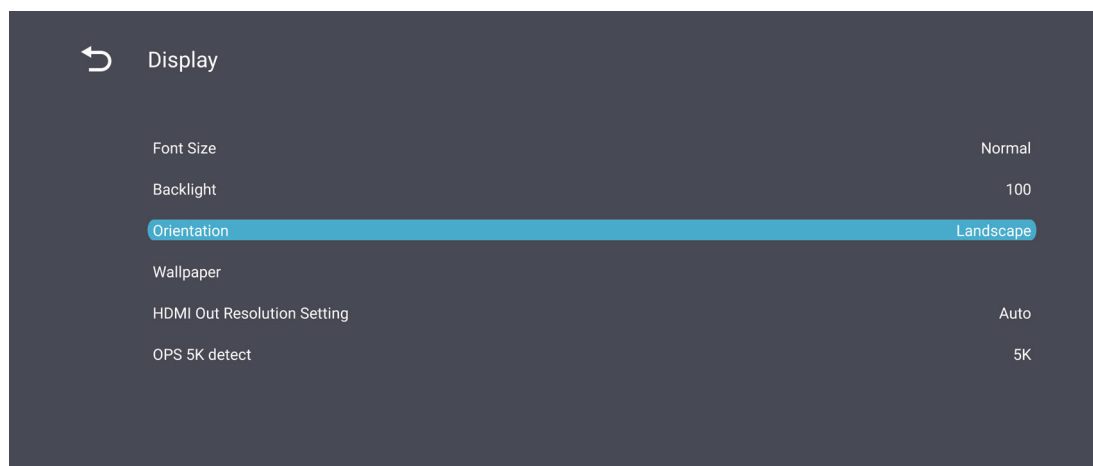
システムツール



アイテム	説明
<p>ストレージをクリア</p>	<p><u>全て</u> すべてのフォルダデータを消去します。</p> <p><u>内部ストレージ</u> 内部ストレージフォルダのデータのみを消去します。</p> <p><u>USBストレージ</u> USB ストレージ フォルダーのデータのみを消去します。</p>
<p>リセット</p>	<p><u>工場出荷時設定にリセット</u> 工場出荷時の設定に戻します。</p> <div data-bbox="646 1310 1316 1682" style="border: 1px solid black; padding: 10px; background-color: #333; color: white; margin: 10px 0;"> <p>↩ Factory Reset</p> <p>This will erase all data from your device's internal storage, including:</p> <ul style="list-style-type: none"> · System and app data and settings · Downloaded apps · Music · Photos · Video · Other user data <p>Erase all your personal information and downloaded apps? You can't reverse this action! The system will reboot later!</p> <p style="text-align: center; background-color: #00a0e3; color: white; padding: 2px 10px;">FACTORY RESET</p> </div>

アイテム	説明
<p style="text-align: center;">輸入と輸出</p>	<p><u>サイネージ表示設定をエクスポート</u> ディスプレイ設定を USB にエクスポートします。 注意事項：</p> <ul style="list-style-type: none"> 保存されたファイル名は、vs8386SettingFile.txt になります。 ファイルは「ViewSonic」というタイトルのフォルダに保存されます。存在しない場合は作成されます。 <p><u>サイネージ表示設定をインポート</u> USB からディスプレイ設定をインポートします。</p>
<p style="text-align: center;">クローン</p>	<div data-bbox="646 658 1316 1030" data-label="Image"> </div> <p>内部ストレージフォルダ「AutoPlayFiles」からメディア ファイルのコピーを作成します。</p> <p><u>ソース</u> メディア ファイルのコピー場所 (内部ストレージまたは USB) を選択します。</p> <p><u>ターゲット</u> コピーしたメディア ファイルのターゲットとして、内部ストレージまたは USB を選択します。</p>

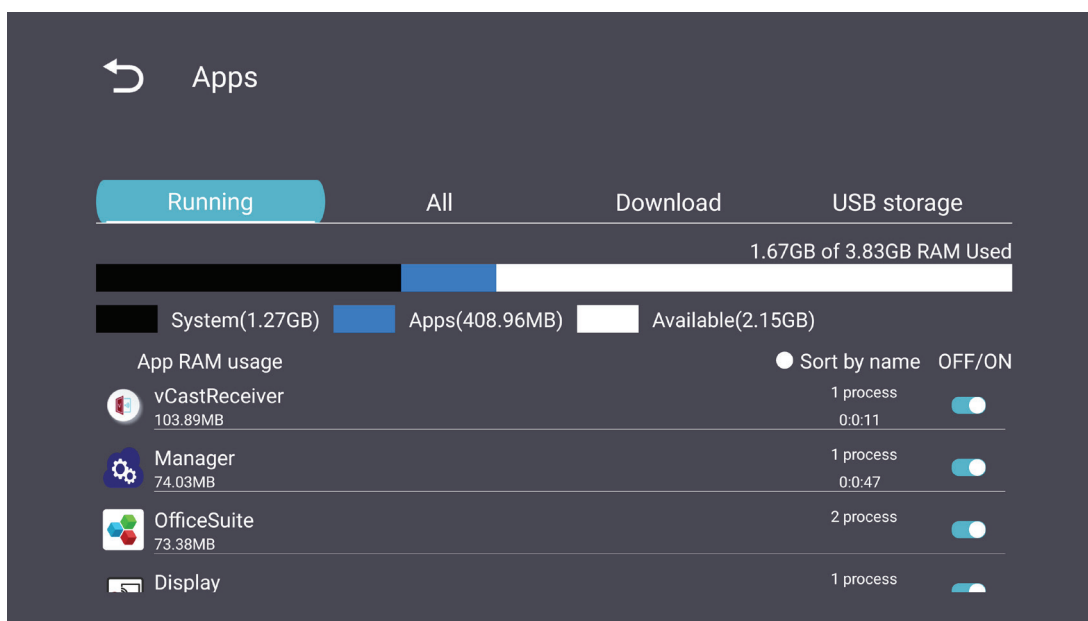
画面



アイテム	説明
フォントサイズ	ディスプレイのフォントサイズを調整します。
バックライト	ディスプレイの明るさを調整します。
オリエンテーション	横向きモードまたは縦向きモードを選択します。
壁紙	ディスプレイの背景画像を選択します。

APP (アプリ)

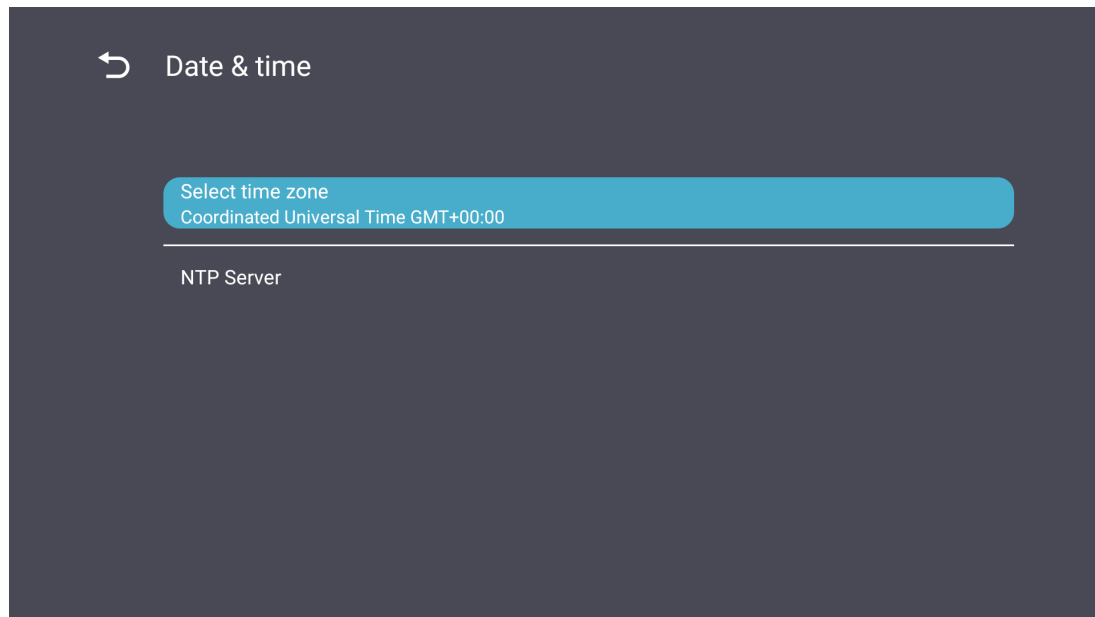
- 実行中またはインストール済みのアプリケーションを表示します。詳細とオプションについては、それらをタップしてください。
- 実行中のアプリケーションをタップすると、アプリケーションの詳細を表示したり、停止したり、レポートしたりすることができます。



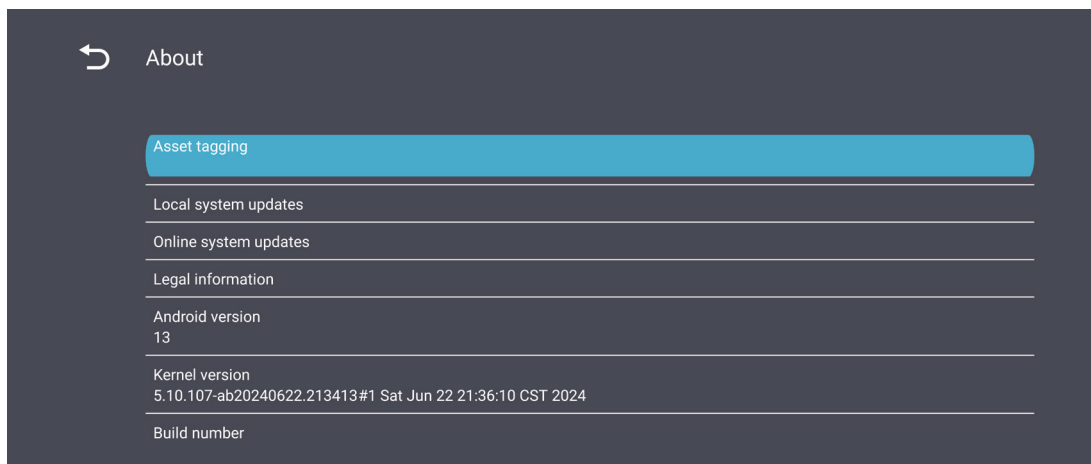
System (システム)

Date & Time (日時)

システムの時刻と形式を設定します。



について



アイテム	説明
オンラインシステムアップデート	ディスプレイがオフの場合、システムは自動的に新しいバージョンをチェックします。新しいバージョンが見つかった場合、システムは自動的に更新されます。アップデートが完了すると、システムはオフになります。
Android版	現在のAndroidバージョン情報。
カーネルバージョン	カーネルのバージョン情報。
ビルド番号	ビルド番号情報。

一般設定メニューツリー

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション	
Network	Ethernet	Enable/ Disable	
		Ethernet Configuration	Connection Type
			MAC Address
	Wi-Fi	Enable/ Disable	
		Add Wi-Fi	
	Wireless Hotspot	Enable/ Disable	
		Hotspot Configuration	
	Bluetooth	Enable/Disable	
		Available Devices	

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション	
Device	Signage Display	General Settings	Signage Display Name
			Boot Logo
		Source Setting	Custom App
		Credentials Settings	Trusted Credentials
			User Credentials
			Install from Storage
			Clear Credentials
		Security	External Storage
			Unknown Sources
			Privacy and Copyright Protection
	App Authority		
	System Tools	Clear Storage	All
			Internal Storage
			USB Storage
		Reset	Factory Reset
		Import & Export	Export Signage Display Settings
	Import Signage Display Settings		
	Clone	Clone Media Files	
	Display	Font Size	
		Backlight	
Orientation			
Wallpaper			
Apps			
Physical Keyboard			
System	Date & Time	Select Time Zone	
		NTP Server	
	About	Online System Updates	
		Legal Information	
		Android Version	
		Kernel Version	
		Build Number	

オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー

画像、画面、オーディオ、時刻、詳細、バージョン情報の設定にアクセスします。

リモコンを使用して OSD メニューを操作する

1. リモコンの **設定** を押しますボタン (☰) を押して OSD メニューを表示します。
2. 方向ボタン ▼/▲/◀/▶ を使用して、メニュー項目を選択し、値を調整します。
3. **戻る** を押す ボタン (←) をクリックすると、前のメニューに戻ります。
4. を押す **設定** ボタン (☰) をもう一度押して、OSD メニューを終了します。

オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューツリー

メイン メニュー	サブメニュー	
Picture	Brightness	(0~100)
	Contrast	(0~100)
	Sharpness	(0~100)
	Color	(0~100)
	Color Temperature	Warm (7500K)
		Normal (9300K)
		Cool (10000K)
		User
	Picture Mode	Normal
		Dynamic
		Soft
		User
	Flicker Free	Off
		On
Blue Light Filter	(0~100)	
Gamma Set	Native	
	2.2	
	2.4	
	DICOM	
Picture Reset	Cancel	
	Reset	
PIP	Sub Mode	Off
		PIP
		PBP
	PIP Size	
	PIP Position	
	PIP Source	
	PIP Audio	
PIP Reset		

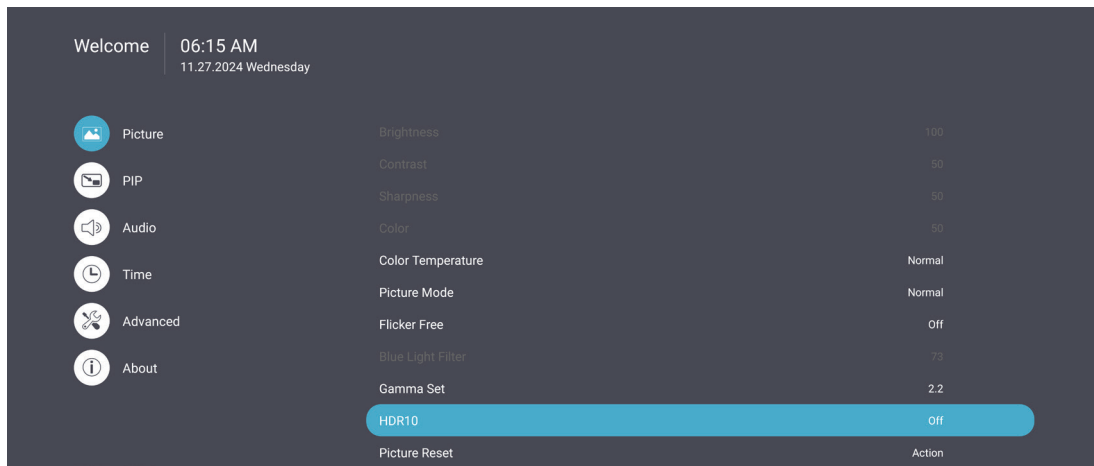
メインメニュー	サブメニュー	
Audio	Balance	(0~100)
	Treble	(0~100)
	Bass	(0~100)
	Volume	(0~100)
	Maximum Volume	(0~100)
	Minimum Volume	(0~100)
	Mute	Off
		On
	Volume Control	Speaker
		Audio Out
		Sync
	Audio Out Sync	Enable
		Disable
	Audio Out Volume (Line Out)	(0~100)
	Audio Reset	Cancel
Reset		

メインメニュー		サブメニュー		
Time	Off Timer	Off		
		1 hour~24 hours		
	Date and Time	Set Date		
		Set Time		
		Choose Time Zone		
		Use 24-hour Format		
	Schedule	Schedule List		
		Enable		
		Start Time		
		End Time		
		Input		
		HDMI 1		
		HDMI 2		
		AV		
		USB Auto Play		
		Custom		
		Day of the Week		
		Every Week		
		OSD Turn Off	Off	
	5 seconds~120 seconds			
	Display Information	Off		
		1 second~60 seconds		
Time Reset	Cancel			
	Reset			
Advanced	Saving	Panel Saving	Brightness	Off
				On
	Power Save	Mode 1		
		Mode 2		
		Mode 3		
	Power LED Light	Off		
		On		

メイン メニュー	サブメニュー		
Advanced	Boot	Boot On Source	Last Input
			HDMI 1
			HDMI 2
			AV
			USB Auto Play
			Custom
		Boot On Logo	Off
			On
			User
	Signal	Auto Signal Detection	Off
			On
		No Signal Standby	Off
			0 min
			5 min
			15 min
			30 min
	Port	HDMI with One Wire	Off
			On
		USB Cloning	Import
			Export
		USB Auto Play	Off
			On
	Others	Switch On State	Power Off
			Fored On
			Last Status
		WOL	Off
			On
		Monitor ID	Monitor ID: 1~98
Language			
Factory Reset		Cancel	
		Reset	
Advanced Option Reset		Cancel	
	Reset		

メイン メニュー	サブメニュー	
About	Heat Status	xx° C / xx° F
	Display Information	Model Name
		Serial No.
		Operation Hours
		SW Version

写真



アイテム	説明
輝度	画面イメージの背景の黒レベルを調整します。
対比	画像の最も明るい部分と最も暗い部分の差の度合いを調整し、画像内の白黒の量を変更します。
シャープネス	画質を調整します。
色	色の量を調整します。
色温度	色温度を調整します。
画像モード	定義済みの画像設定を選択します。
ちらつきなし	有効にすると、画面のちらつきが軽減または解消され、目の疲れを軽減します。
ブルーライトフィルター	高エネルギーのブルーライトを遮断するフィルターを調整し、より快適な視聴体験を実現します。
ガンマセット	モニターのグレースケールレベルの明るさレベルを手動で調整します。
HDR10	特定のシーンの全体的なコントラストを下げ、ハイライトとシャドウの詳細が見えるようにします。
画像のリセット	すべての画像メニュー設定をデフォルトにリセットします。

低ブルーライトフィルターとアイヘルス

ブルーライト低減は高エネルギーのブルーライトを遮断し、より快適な視聴体験を実現します。

休憩の計算

画面を長時間表示する場合は、定期的に視聴を中断することをお勧めします。1時間の連続視聴の後、少なくとも10分の短い休憩をお勧めします。

より短い、より頻繁な休憩を取ることは、頻度の少ない長い休憩よりも一般的に有益です。

集中疲労(20-20-20ルール)

常に画面を見ることでの眼精疲労のリスクを減らすには、少なくとも20分ごとに画面から目をそらし、少なくとも20フィート離れた遠くの物体を、少なくとも20秒間注視します。

遠くの物を見る

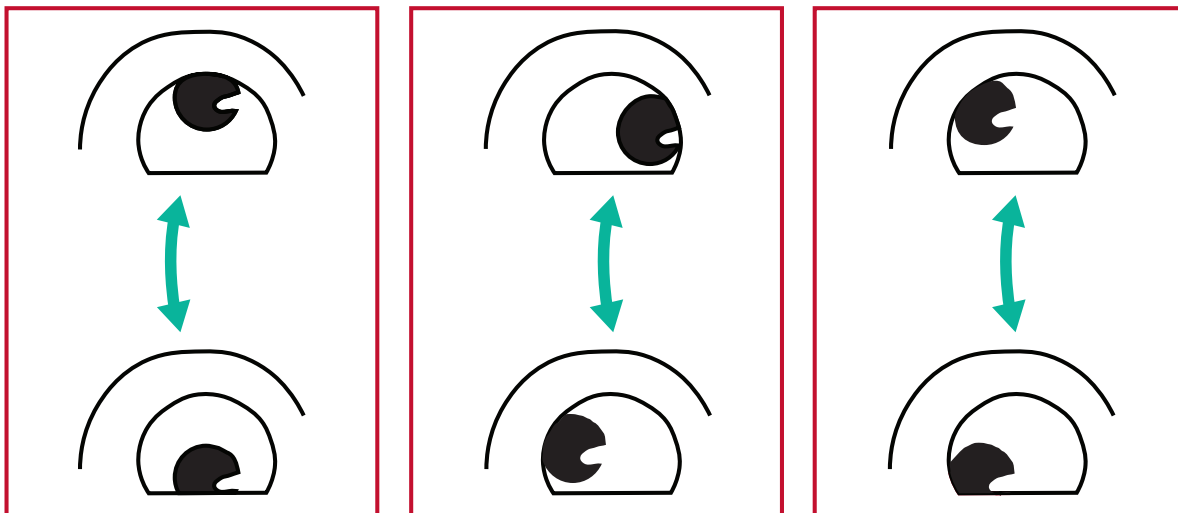
休憩を取りながら、ユーザーは10～15秒間離れた場所にある物体に焦点を合わせ、10～15秒間近くのを注視することで、目の疲れや乾燥をさらに軽減できます。これを最大10回繰り返します。このエクササイズは、長時間のコンピューター作業の後に目の焦点が合う能力が「ロックアップ」するリスクを軽減します。

目と首の運動

目の運動

目の運動は目の疲れを最小限に抑えるのに役立ちます。ゆっくりと目を左、右、上、下に回転させます。必要な回数だけ繰り返します。

目の運動



(1) 体と頭を直立させます。目を上に動かして天井を見てから、下に動かして床を見てください。

(2) 目を左にゆっくり動かして、両側のオブジェクトを見てください。

(3) 目を動かして、右上の方向、次に右下の方向のオブジェクトを確認します。上方向と下方向について繰り返します。

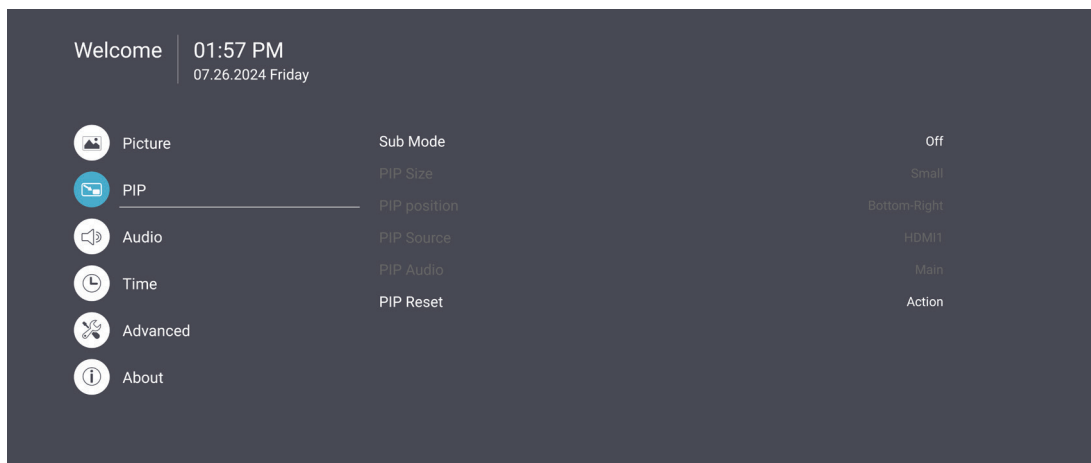
首の運動

首の運動も目の疲れを最小限に抑えるのに役立ちます。腕をリラックスして脇にぶら下げ、少し前に曲げて首を伸ばし、頭を右および左に向けます。必要な回数だけ繰り返します。

ちらつきなし

ディスプレイは DC 調整可能なバックライトを使用しており、0 ~ 3000 Hz の範囲内で目に見えるまたは目に見えないちらつきが発生しないため、目の疲労を軽減できます。

PIP



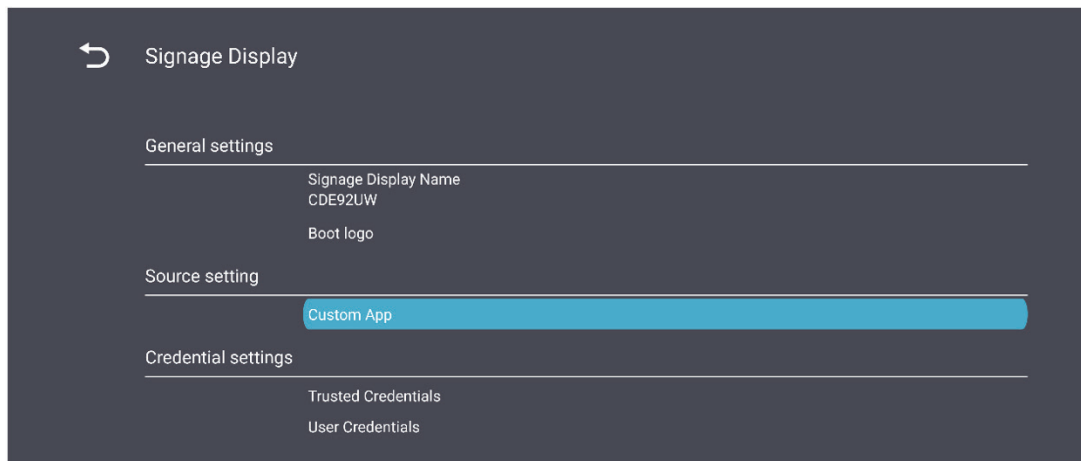
アイテム	説明
サブモード	PIP (ピクチャーインピクチャー) モードを選択します。次の中から選択してください:オフ、PIP、PBP。
PIPサイズ	PIP (ピクチャーインピクチャー) モードでサブピクチャーのサイズを選択します。次の中から選択してください:小、中、大。
PIPポジション	PIP (ピクチャーインピクチャー) モードでサブピクチャーの位置を選択します。次の中から選択してください:右下、左下、右上、左上。
PIPソース	サブピクチャーの入力信号を選択します。
PIPオーディオ	サブモードのオーディオソースを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • メイン - メイン画像からオーディオを選択 • サブ - サブピクチャからオーディオを選択します。
PIPリセット	PIP メニューのすべての設定を工場出荷時の設定値にリセットします。

アプリケーションでPBP(分割画面モード)を使用する

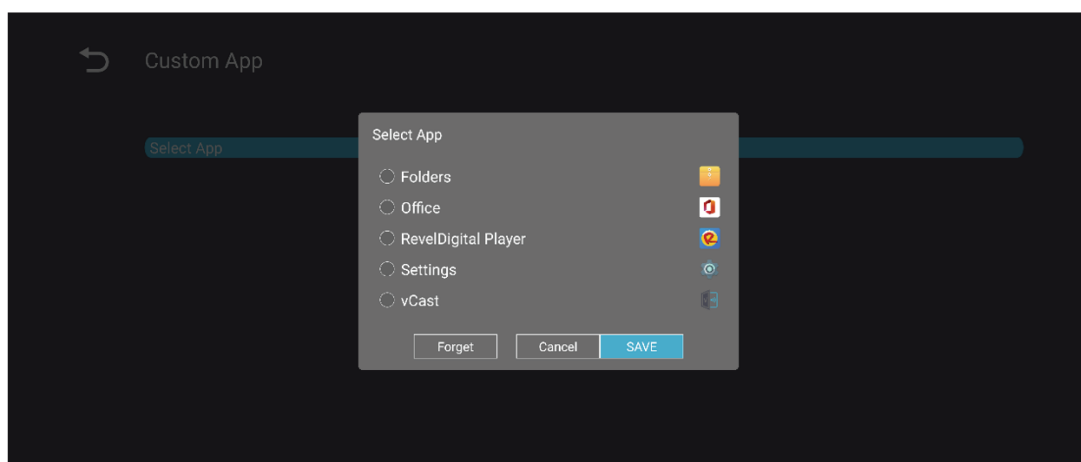
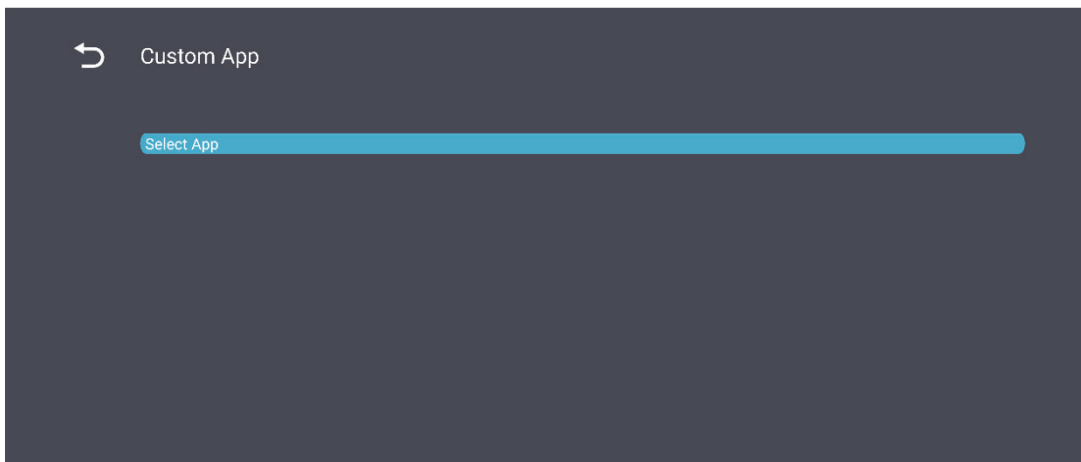
PBP(分割画面モード)を使用する前に、アプリケーションソースを設定する必要があります。

アプリケーションソースを設定するには:

1. 一般設定から次の場所へ移動します。**デバイス > サイネージ ディスプレイ > ソース設定 > カスタム アプリ**。

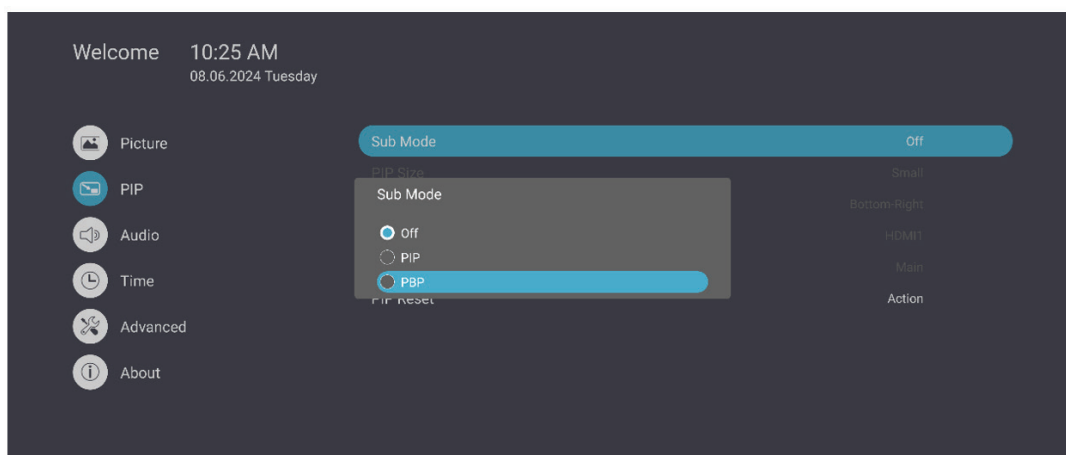


2. PBP を使用するアプリケーションを選択します。

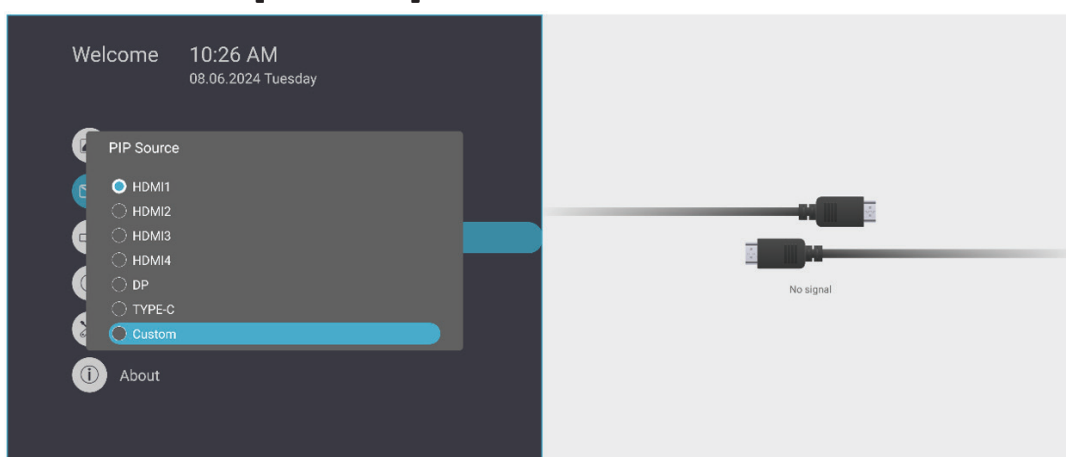


PBP (分割画面モード)を使用するには:

1. オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューから、次の場所に移動します。**PIP>サブモード>PBP** を選択します。

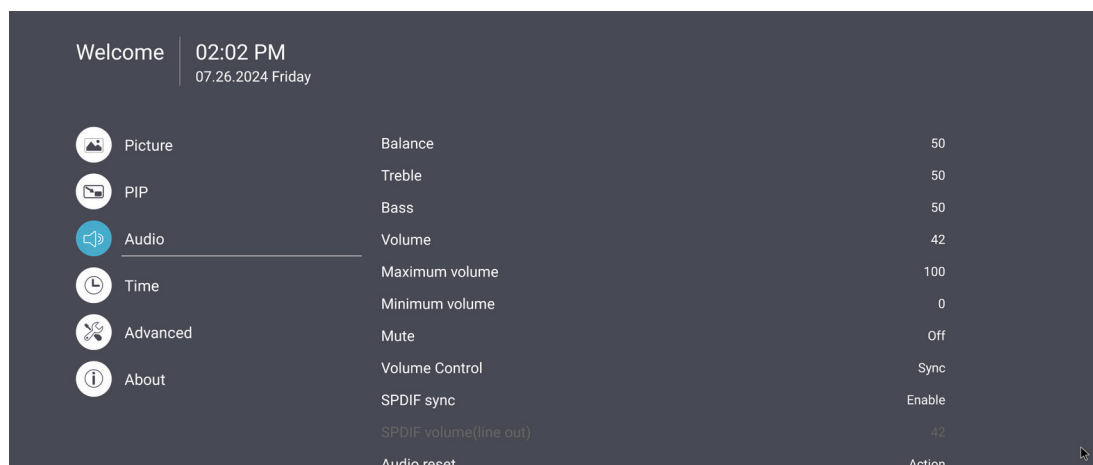


2. PIP ソースの場合は、**[カスタム]**を選択します。



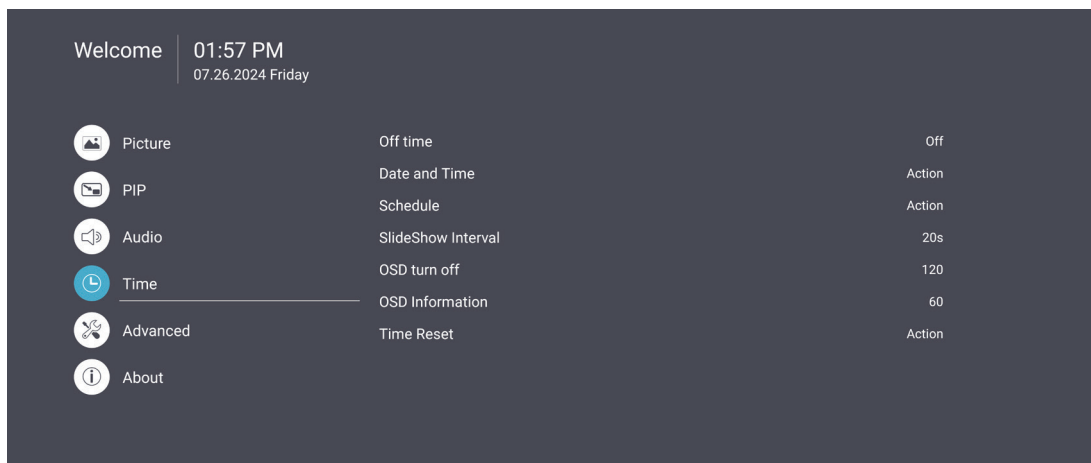
注意事項： アプリケーションウィンドウを切り替えるには、リモコンの緑/タブボタンを押します。

オーディオ



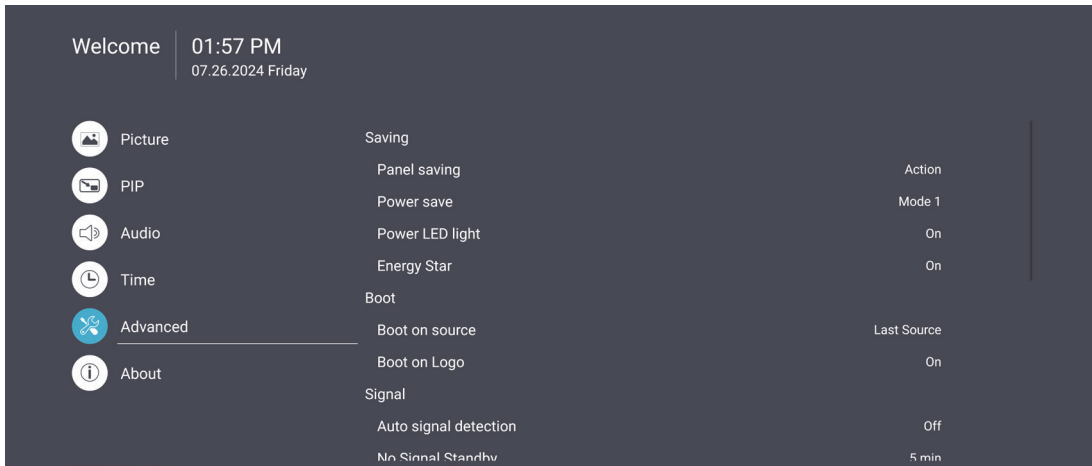
アイテム	説明
バランス	左右のスピーカーのバランスを調整します。
トレブル	高音レベル(より高い音)を上げたり下げたりします。
ベース	ベースレベル(低音)を上げたり下げたりします。
音量	ディスプレイの音量レベルを上げたり下げたりします。
最大音量	最大音量レベルを設定します。
最小ボリューム	最小音量レベルを設定します。
ミュート	音量をミュートします。
ボリュームコントロール	内蔵スピーカーまたはオーディオ出力ポートからオーディオソースを選択します。
オーディオ出力同期	オーディオ出力の音量をディスプレイのスピーカーと同期します。
オーディオ出力音量(ライン出力)	オーディオ出力の音量を上げたり下げたりします。
オーディオリセット	すべてのオーディオメニュー設定をデフォルトにリセットします。

時間



アイテム	説明
オフタイム	自動電源オフの時間を設定します。
日時	ディスプレイの日付と時刻を調整します。
スケジュール	ディスプレイがアクティブになる時間間隔を最大 7 つ設定します。
スライドショー間隔	USB 自動再生の写真スライドショー間隔を設定します。
OSDをオフにする	OSD メニューが画面に表示される時間を設定します。
OSD情報	ディスプレイの左上隅に OSD 情報が表示される時間を設定します。
時間のリセット	すべての時間メニュー設定をデフォルトにリセットします。

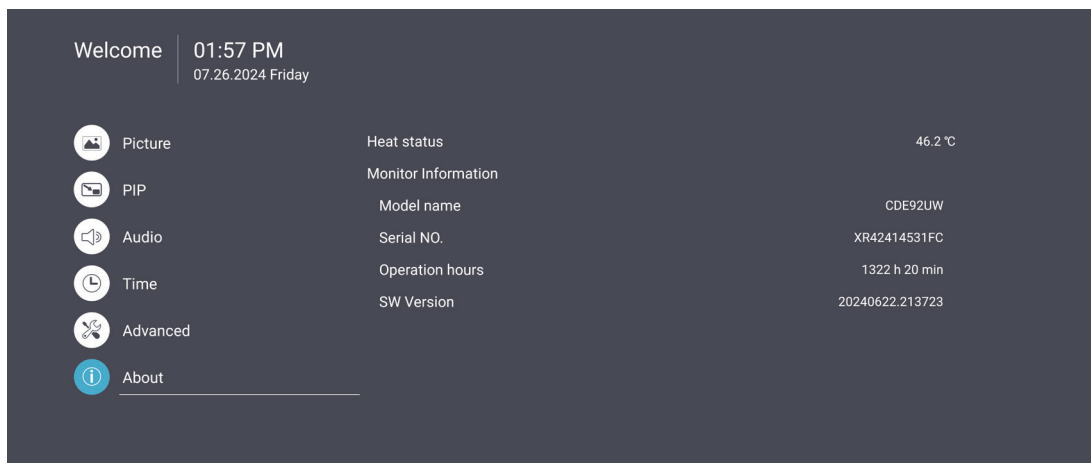
高度な



アイテム	説明
パネル保存	有効にすると、画像の焼き付きのリスクが軽減されます。
省電力	<p>電力消費を削減します。</p> <p><u>モード1</u> TCP はオフ、WOL はオン。</p> <p><u>モード2</u> TCP オフ、WOL オン、ビデオ信号再開による起動。</p> <p><u>モード3</u> TCP オン、WOL オフ、ビデオ信号再開による起動。</p> <p><u>モード4</u> TCP オン、WOL オフ、ビデオ信号再開によるウェイクアップはサポートされません。</p>
パワーLEDライト	電源 LED インジケータのオン/オフを切り替えます。
ソースを起動	起動後に入力ソースを選択します。
ブートオンロゴ	<p>ディスプレイがオンのときにロゴを有効/無効にします。</p> <p><u>オフ</u> ViewSonic ロゴもアニメーション ロゴも表示されません。</p> <p><u>の上</u> ViewSonic のロゴとアニメーションが表示されます。</p> <p><u>ユーザー</u> 一般設定でカスタム ロゴ オプションが設定されている場合は、カスタム ロゴが表示されます。カスタム ロゴが設定されていない場合は、ロゴは表示されません。詳細については、ページ 40。</p>
自動信号検出	ディスプレイが利用可能な入力ソースを自動的に検出して表示します。

アイテム	説明
信号なしスタンバイ	信号がない場合にスタンバイモードに入る時間を設定します。
ワンワイヤーHDMI	CEC (Consumer Electronics Control) を有効/無効にします。 CEC は HDMI 接続を介して電源のオン/オフ操作を同期します。つまり、ディスプレイのHDMI入力にCECに対応した機器を接続すると、ディスプレイの電源をオフにすると、接続された機器の電源も自動的にオフになります。接続した機器の電源を入れると、ディスプレイの電源も自動的にオンになります。
USB クローン	OSD メニューの設定を USB ストレージに保存します。
USB自動再生	ON に設定すると、ディスプレイは外部 USB ストレージからディスプレイの内部ストレージにメディア ファイルをコピーし、メディア ファイルを自動的に再生します。
スイッチオン状態	次回電源コードを電源コンセントに接続したときの表示状態を選択します。 <u>電源オフ</u> 電源コードが接続されているときはディスプレイはオフのままになります。 <u>強制的に</u> 電源コードを接続するとディスプレイがオンになります。 <u>最終ステータス</u> ディスプレイは以前の電源状態に戻ります。
WOL	Wake on LAN (WOL) 機能を有効/無効にします。
モニターID	RS-232 経由でディスプレイをリモート制御するための番号を割り当てます。 注意事項： 数値の範囲は次のとおりです。1～98、99は「すべてのディスプレイ」用に予約されています。
言語	OSD メニューの言語を選択します。
工場出荷時設定にリセット	すべての OSD メニュー設定をデフォルトにリセットします。
詳細リセット	すべての詳細メニュー設定をデフォルトにリセットします。

について

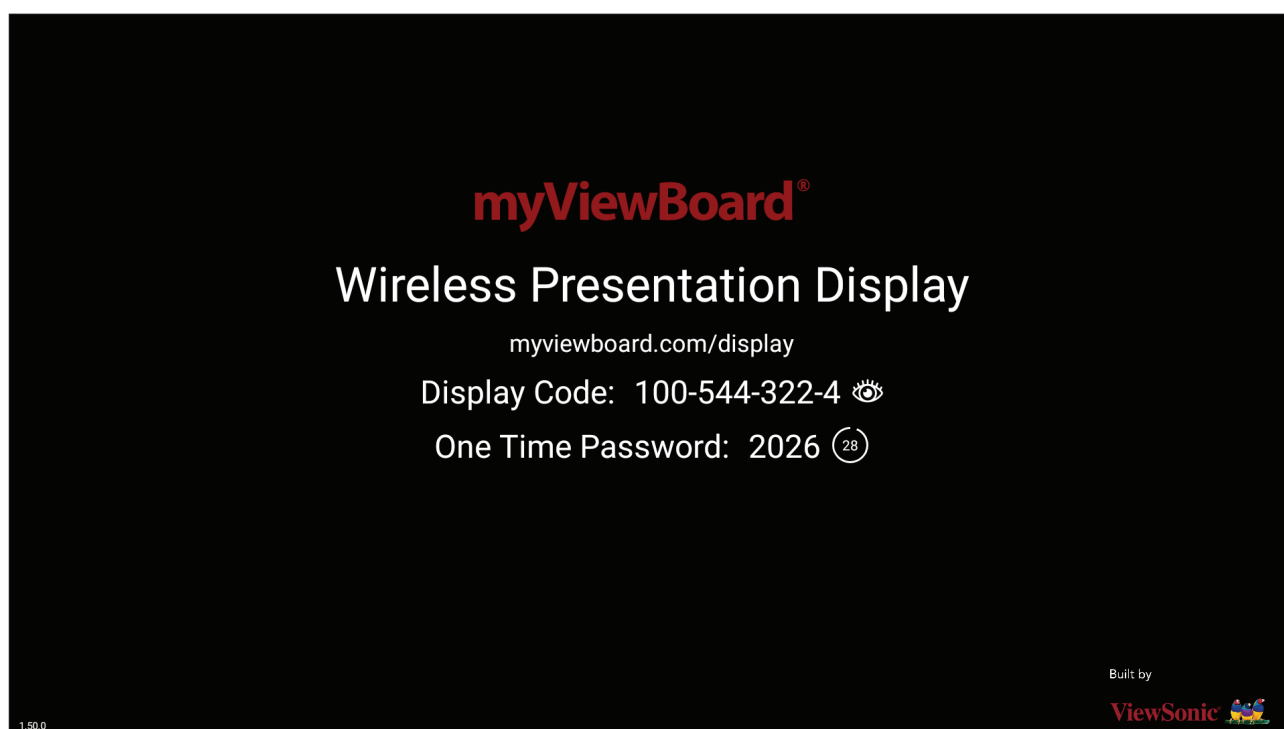


アイテム	説明
熱状態	ディスプレイの温度を確認してください。
モニター情報	ディスプレイに関する情報を参照してください:モデル名、シリアル番号、稼働時間、ソフトウェアバージョン。

組み込みアプリケーションと設定

myViewBoard Display

画面をより大きなディスプレイにワイヤレスでミラーリングします。



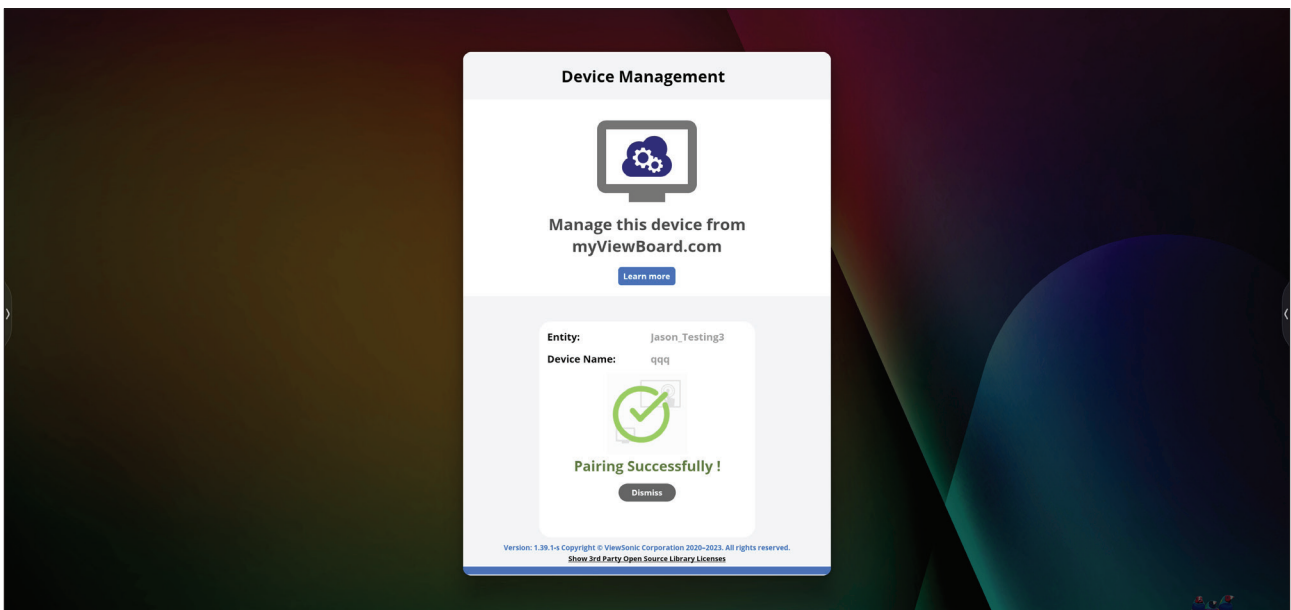
myViewBoard Display を使用して画面を ViewBoard に共有するには:

1. 画面を共有したい ViewBoard で myViewBoard Display を開きます。
2. 画面を共有したいデバイスで、<https://myviewboard.com/display> にアクセスします。
3. 共有したい ViewBoard の **Display Code (表示コード)** と **One Time Password (ワンタイムパスワード)** を入力します。

注意事項: パスワードは 30 秒ごとに更新されることに注意してください。

myViewBoard Manager

ViewSonic デバイスの複数のインストールをリモートで管理します。



デバイスがセットアップされ、myViewBoard Manager がインストールされると、デバイスをエンティティに追加し、Manager Web アプリケーションからリモートで管理できます。

注意事項： サインイン後に myviewboard.com からエンティティ管理者のみが利用できます。

デバイスの追加

管理するデバイスで：

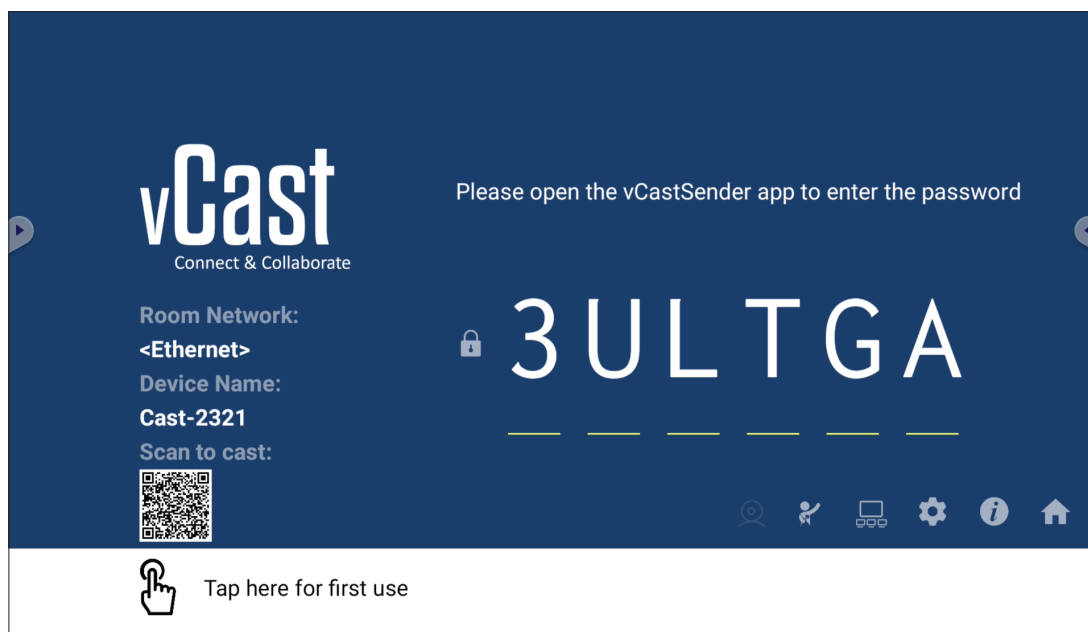
1. myViewBoard Manager をダウンロードしてインストールします。
2. myViewBoard Manager を開き、表示された 6 桁の PIN をメモします。

myviewboard.com の myViewBoard Manager Web アプリケーションで：

1. **Add Device (デバイスの追加)** をクリックします。
2. 先ほど取得した 6 桁の PIN を入力します。
3. デバイスに名前を付けます (該当する場合)。
4. **Add (追加)** をクリックします。

vCast

ViewBoard® Castソフトウェア (vCast、vCast Pro、vCastSender) と連携して、vCastアプリケーションを使用すると、ViewBoardは、vCastSenderアプリケーションを使用しているノートパソコン (Windows/Mac/Chrome) の画面、モバイルユーザーの画面 (iOS/Android)、写真、ビデオ、注釈、カメラを受信できるようになります。

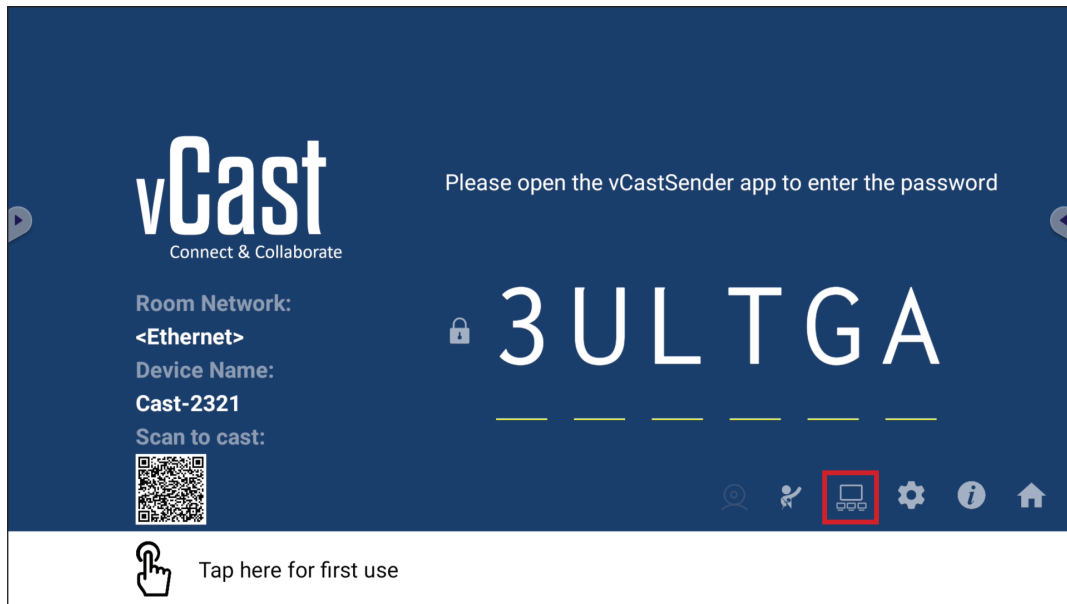


ネットワーク情報

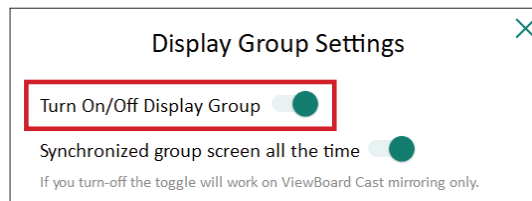
- ViewBoard® Castソフトウェア、ノートパソコン、モバイルデバイスは、画面上のPINコードを入力することで、同じサブネットとサブネット間の両方に接続できます。
- 接続されたデバイスは、同じサブネット接続の **Device List (デバイスリスト)** の下に表示されます。
- デバイスが **Device List (デバイスリスト)** の下に表示されない場合、画面上のPINコードを入力してください。
- **ポート:**
 - » TCP 56789、25123、8121、8000 (メッセージポートとクライアントデバイスのオーディオ転送の制御)
 - » TCP 8600 (BYOM)
 - » TCP 53000 (画面共有を要求)
 - » TCP 52020 (逆制御)
 - » TCP 52025 (ViewBoard Castボタンの逆制御)
 - » TCP 52030 (ステータス同期)
 - » TCP 52040 (進行役モード)
 - » UDP 48689、25123 (デバイスの検索とブロードキャスト、クライアントデバイスのオーディオ転送)
 - » UDP 5353 (マルチキャスト検索デバイスプロトコル)
- **アクティブ化用のポートとDNS:**
 - » ポート: 443
 - » DNS: <https://vcastactivate.viewsonic.com>
- **OTAサービス**
 - » サーバーポート: TCP 443
 - » サーバーFQDN名: <https://vcastupdate.viewsonic.com>

ディスプレイグループ設定

ディスプレイグループ設定を調整するには、画面の右下隅にあるディスプレイグループアイコン(🖥️)を選択します。

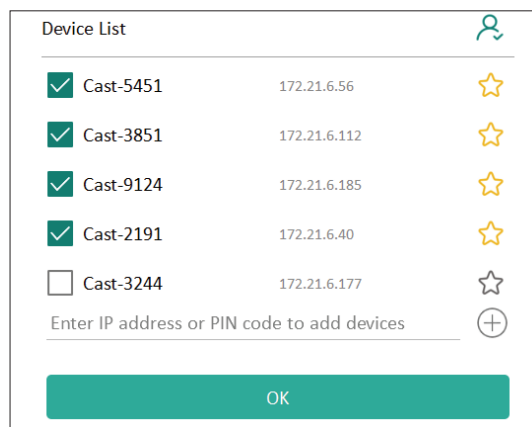


1. ディスプレイグループ機能を有効にするには、「ディスプレイグループのオン/オフ」をオンに切り替えます。



注意事項: 同じネットワーク内にプリインストールされている他の ViewBoard Cast デバイスが一覧表示されます。

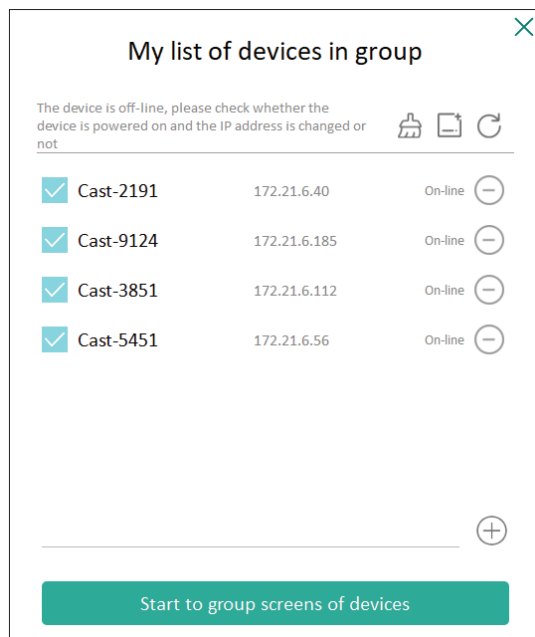
2. ディスプレイグループに参加するデバイスを選択し、OKを選択して設定を保存します。



注意事項:

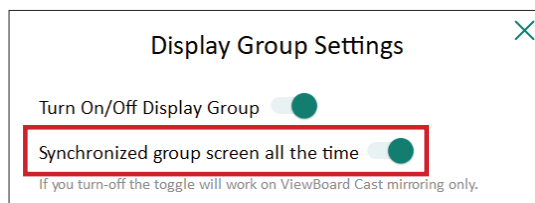
- グループ化するデバイスがリストにない場合は、それぞれのIPアドレスまたは接続PINコードを入力できます。
- ディスプレイグループの最大デバイス数は6台です。

3. 同じデバイスに頻繁に接続する場合は、デバイスの横にある星型アイコン (☆) を選択して、頻繁に接続するデバイスのリスト「グループ内のデバイスのリスト」に追加し、ディスプレイグループの設定と管理を容易にすることができます。



Synchronized Group Screen All the Time (グループ画面を常時同期)

「グループ画面を常時同期」機能をオンにすると、同期グループ画面が常時表示されます。オフにすると、vCastミラーリングでのみ機能します。



注意事項: 最初にグループ化するデバイスを選択し、中断を避けるために「グループ画面を常時同期」機能をオンに切り替えます。

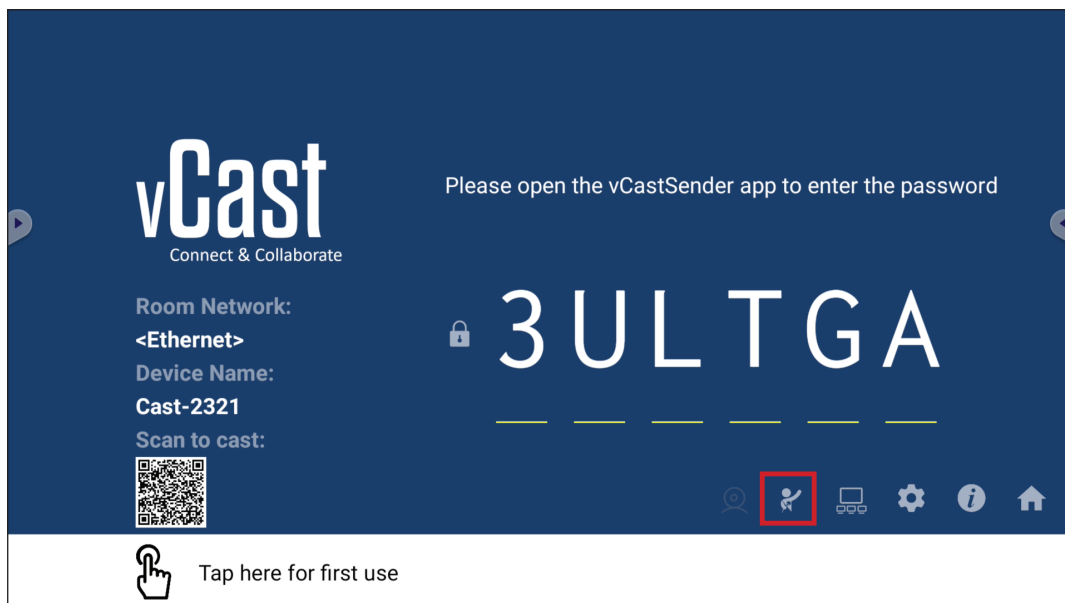
ディスプレイグループに画面を共有する(1対多のキャスト)

上記の設定を確認したら、画面をメインディスプレイに共有し、グループ化されたクライアントデバイスが画面に同期されます。



進行役モード

進行役モードを使用すると、進行役はViewBoardまたはディスプレイに接続されているデバイスを制御できます。進行役モードに入るには、画面の右下隅にある進行役モードアイコン(👤)を選択します。

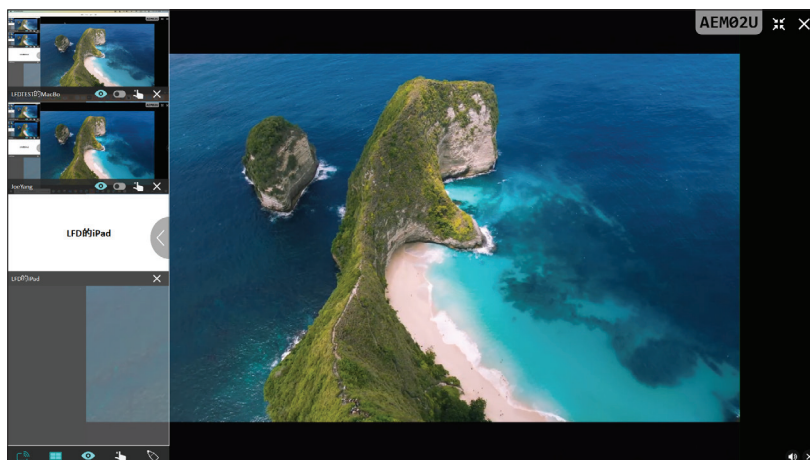


有効にすると、進行役は左側のフローティングウィンドウに接続されているすべての画面のリストを表示し、各参加者の画面をプレビューしてから、いずれかの参加者の画面を選択して、プレゼンテーション用にViewBoardまたはディスプレイのメイン画面にキャストすることができます。進行役は、各参加者の画面を制御したり、ViewBoardまたはディスプレイに注釈を付けたり、閉じるアイコン(x)を選択して不要な参加者を削除したりすることもできます。



ブロードキャスト

有効にすると、ViewBoardの画面が参加者の接続されたすべての画面に同時にブロードキャストされます。進行役がブロードキャスト機能を無効にするまで、参加者はプレゼンテーションの内容のみを表示できます。



複数画面共有

デフォルトでは、vCast は複数画面共有を許可するように設定されていますが、単一画面共有に設定することもできます。これを行うには、進行役は複数画面共有アイコンを選択して単一画面共有に切り替えることができます。

プレビュー画面

デフォルトでは、vCastは、ViewBoardで共有する前に進行役が参加者の画面の内容をプレビューできるように設定されています。プレビュー画面アイコンを選択すると、進行役は参加者の名前のみを表示するように切り替えることができます。

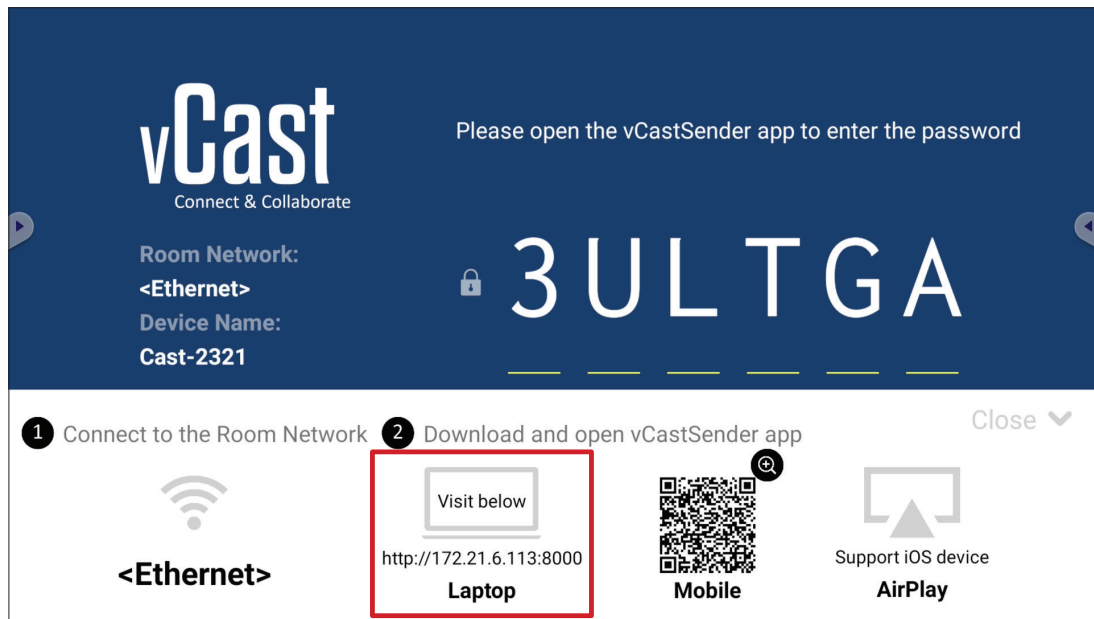
タッチ

デフォルトでは、参加者は接続後にタッチを使用してコラボレーションを行うことができます。進行役は、参加者のウィンドウのタッチアイコンを選択して、参加者のタッチ機能を有効/無効にすることができます。

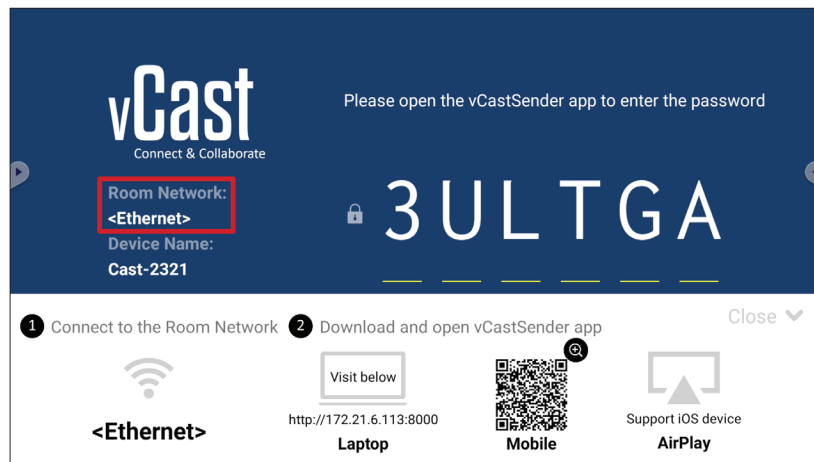
注意事項:

- 進行役モードはすべてのvCastSenderおよびAirPlayデバイスでサポートされていますが、モバイルデバイスでは「プレビュー」機能に制限されます。さらに、モバイルAndroidデバイスではサウンドをキャストできません。
- Windows/Mac/Chromeの画面をViewBoardまたはディスプレイにキャストする場合、画面キャストが繰り返されるのを避けるため、選択した全画面ユニットはデバイスにブロードキャストされません。
- アクティブな発表者は、各参加者の画面をタッチして、キャストデバイスをリモートで制御できます。
- 画面上の複数画面発表者の数は、Windows CPUプロセッサのパフォーマンスとルーターの仕様によって異なります。

Windows、MacBook、Chromeデバイスからのキャスト

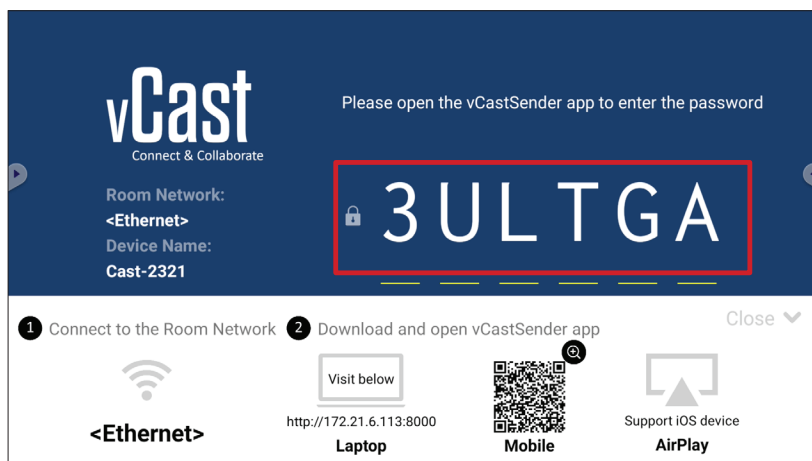


1. クライアントデバイス（ノートパソコンなど）が、ViewBoardと同じネットワークに接続されていることを確認します。
注意事項： ネットワーク名は **Room Network（ルームネットワーク）** の下にあります。

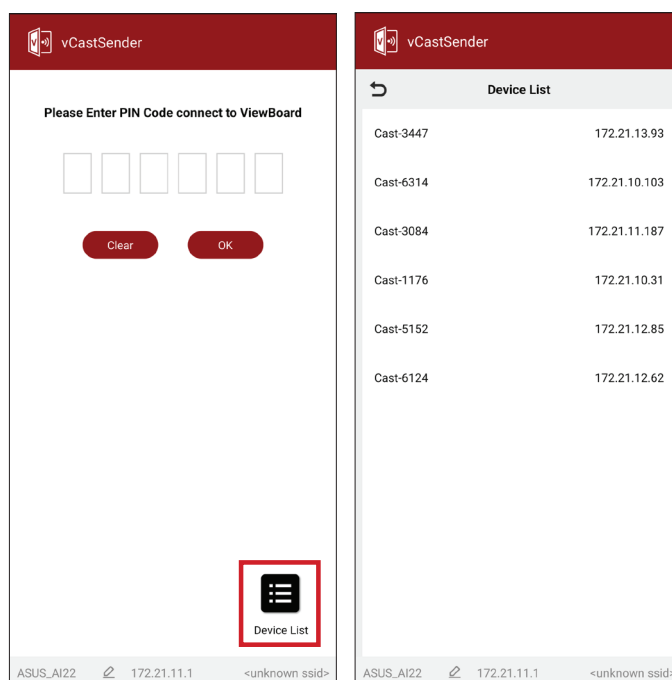


2. クライアントデバイスで、ViewBoardに表示されているアドレスにアクセスし、vCastSenderアプリケーションをダウンロードしてインストールします。
3. インストール後、vCastSenderアプリケーションを起動します。

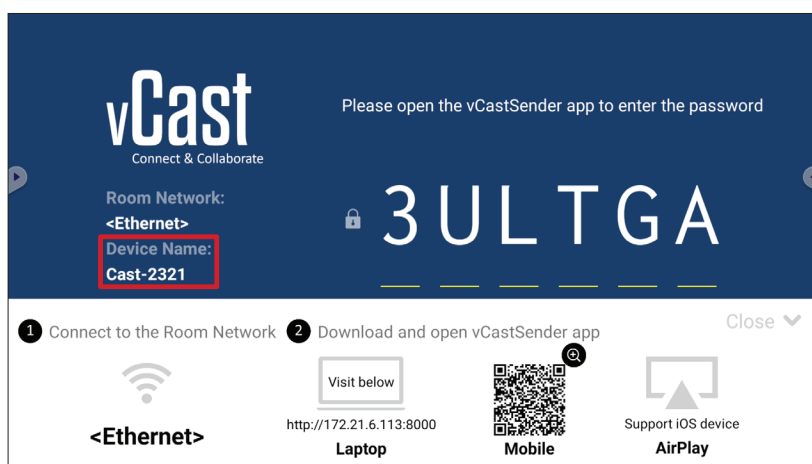
4. ViewBoardに接続するには、PINコードを入力してOKをクリックします。
注意事項： PIN code (PIN コード)は以下に強調表示されているとおりです。



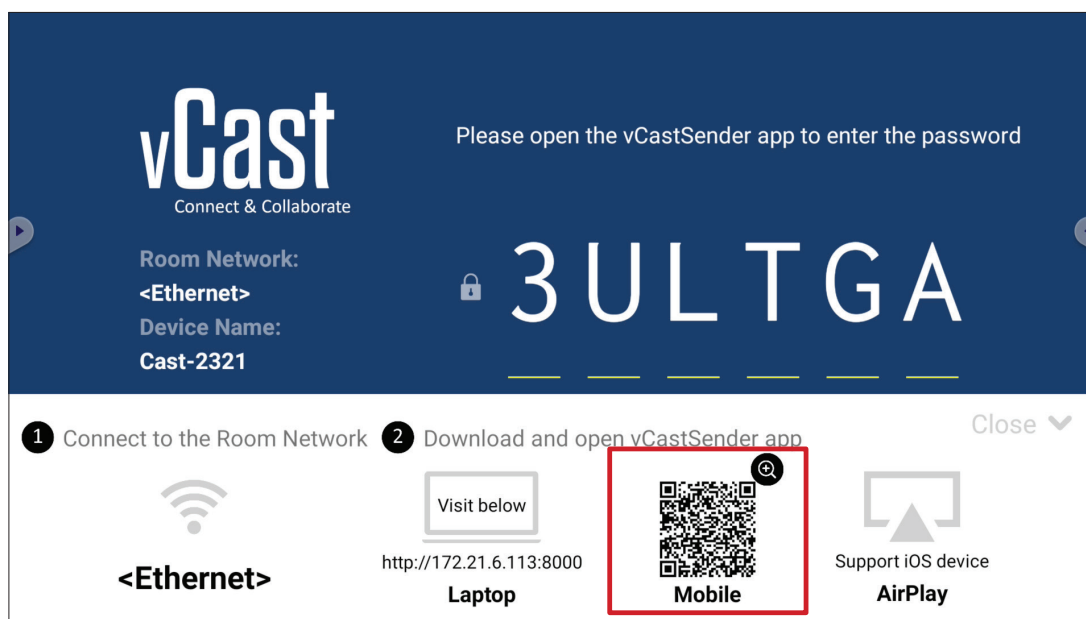
5. さらに、Device List (デバイスリスト)をクリックし、一覧表示されている Device Name (デバイス名)をクリックして、ViewBoardに接続することもできます。



- 注意事項：** Device Name (デバイス名)は以下に強調表示されているとおりです。

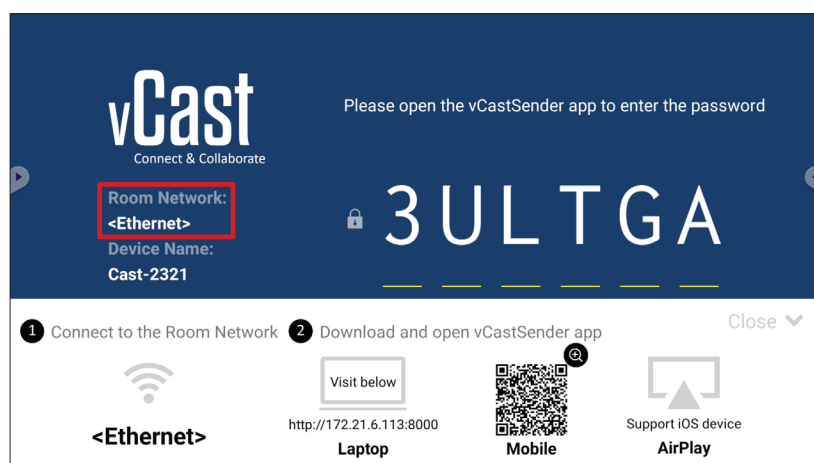


Androidデバイスからのキャスト

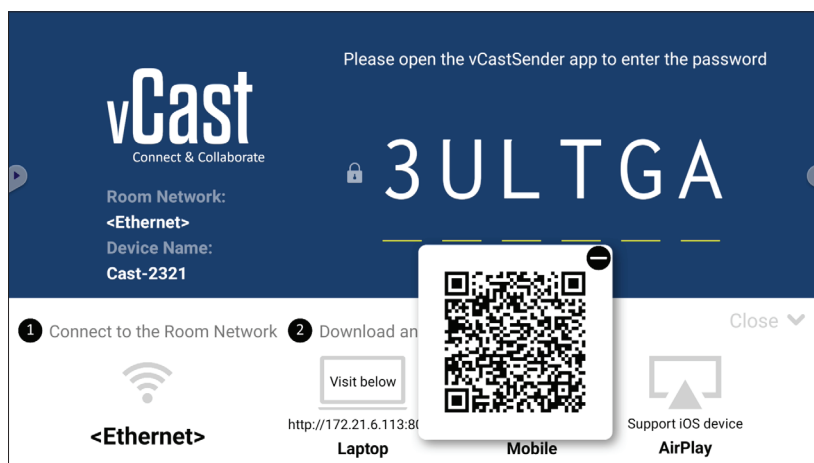


1. クライアントデバイス (Androidスマートフォンやタブレットなど) が、ViewBoardと同じネットワークに接続されていることを確認します。

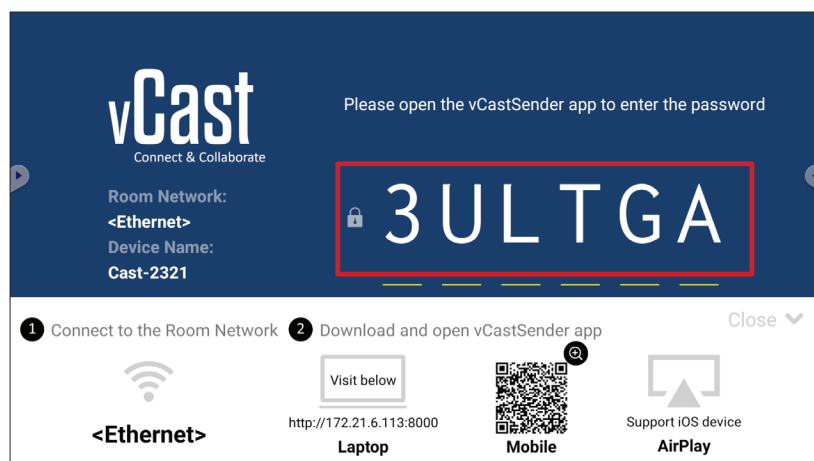
注意事項: ネットワーク名は **Room Network (ルームネットワーク)** の下にあります。



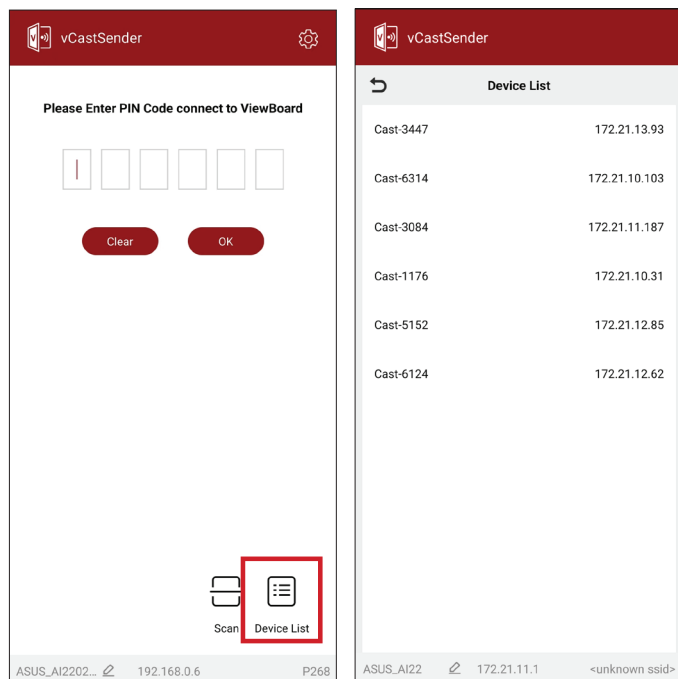
2. Androidクライアントデバイスで、ViewBoardに表示されているQRコードをスキャンしてvCastSenderアプリケーションを直接ダウンロードするか、Google Playストアからアプリケーションをダウンロードします。



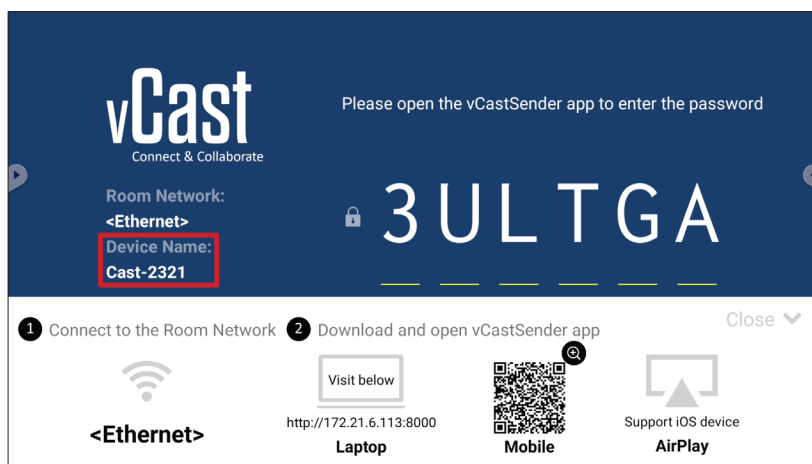
3. インストール後、vCastSenderアプリケーションを起動します。
4. ViewBoardに接続するには、PINコードを入力してOKを選択します。
注意事項： PIN code (PIN コード)は以下に強調表示されているとおりです。



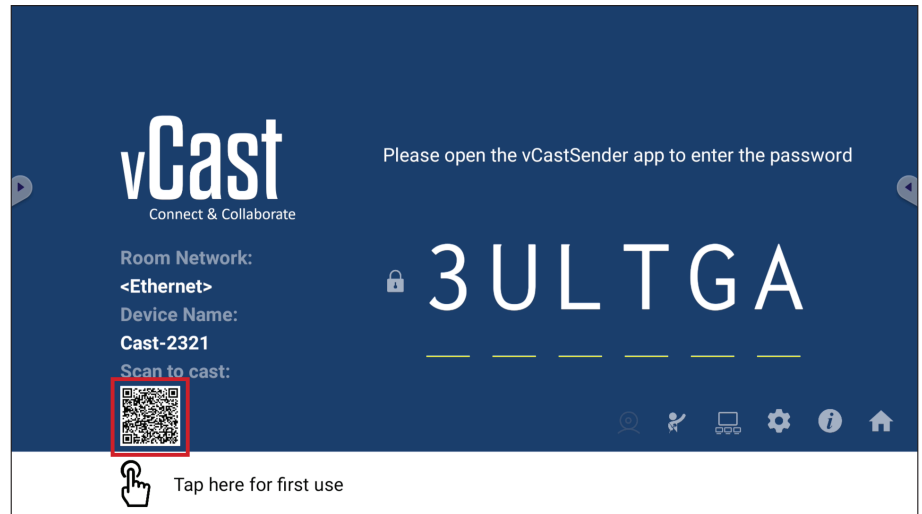
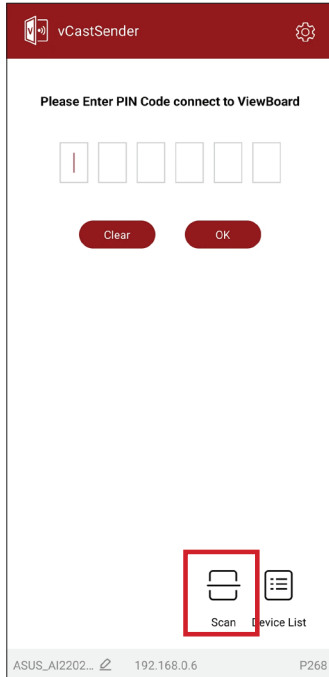
5. また、Device List (デバイスリスト) をクリックし、一覧表示されている Device Name (デバイス名) を選択して、ViewBoard に接続することもできます。



注意事項: Device Name (デバイス名) は以下に強調表示されているとおりです。

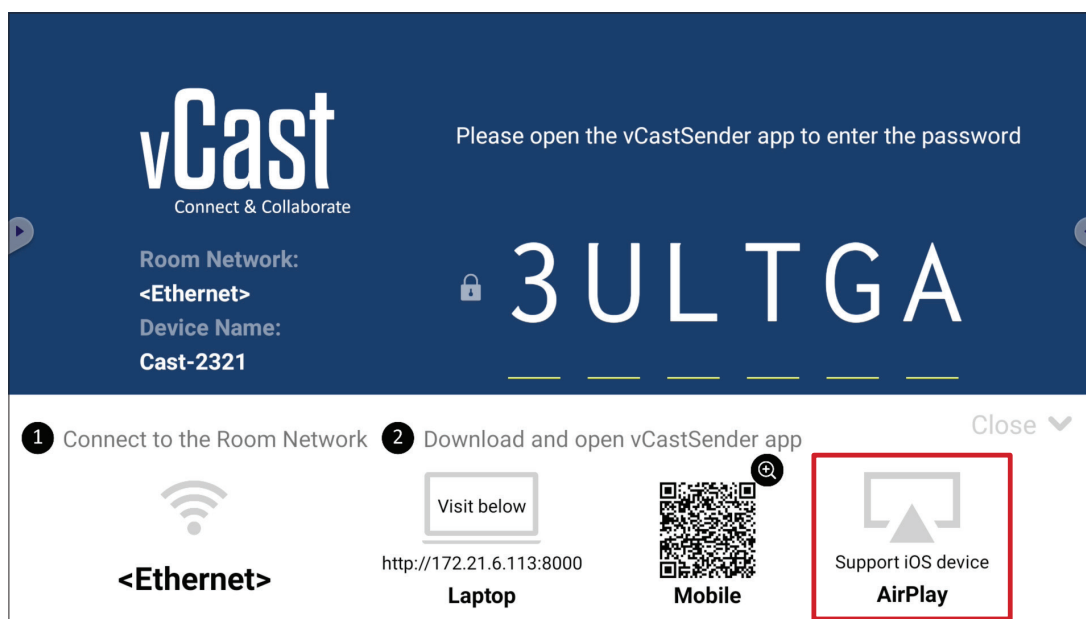


6. さらに、ViewBoardに接続したり、**Scan (スキャン)**を選択して画面上のQRコードをボックスに配置すると自動的に接続できます。



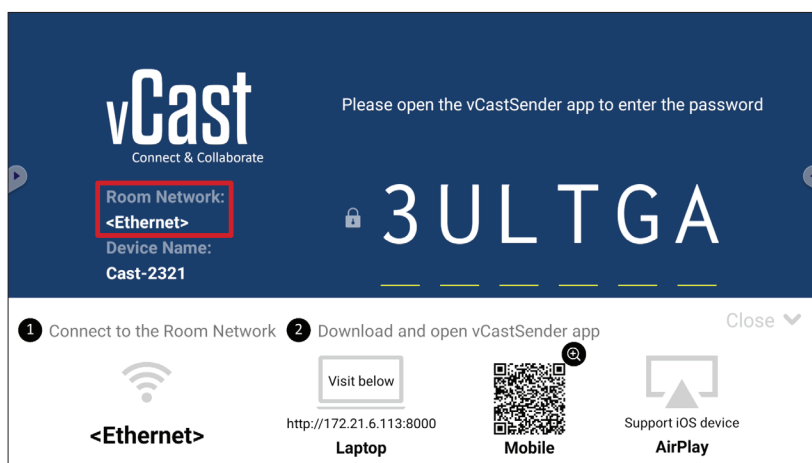
Apple iOSデバイスからのキャスト

Apple AirPlay®は、同じサブネット環境でのみ、画面ミラーリングとコンテンツストリーミングに関してvCastと互換性があります。AirPlayを使用してViewBoardにキャストする場合、接続用の「AirPlayパスワード」が画面上に生成されます。



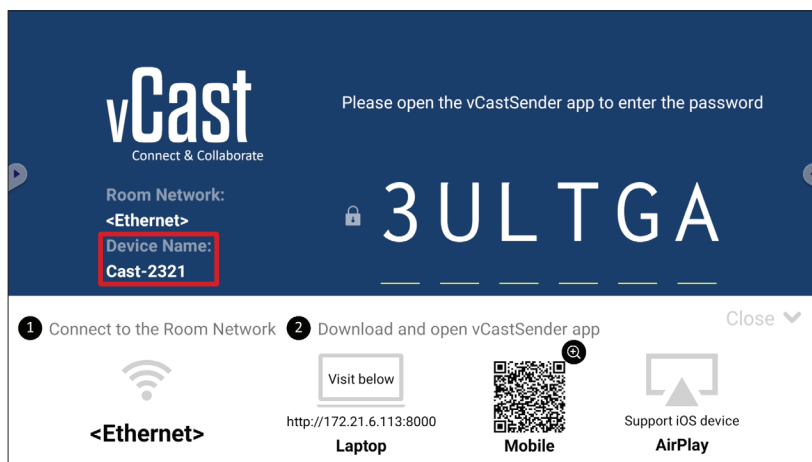
1. クライアントデバイス (iPhoneやiPadなど) が、ViewBoardと同じネットワークに接続されていることを確認します。

注意事項: ネットワーク名は **Room Network (ルームネットワーク)** の下にあります。

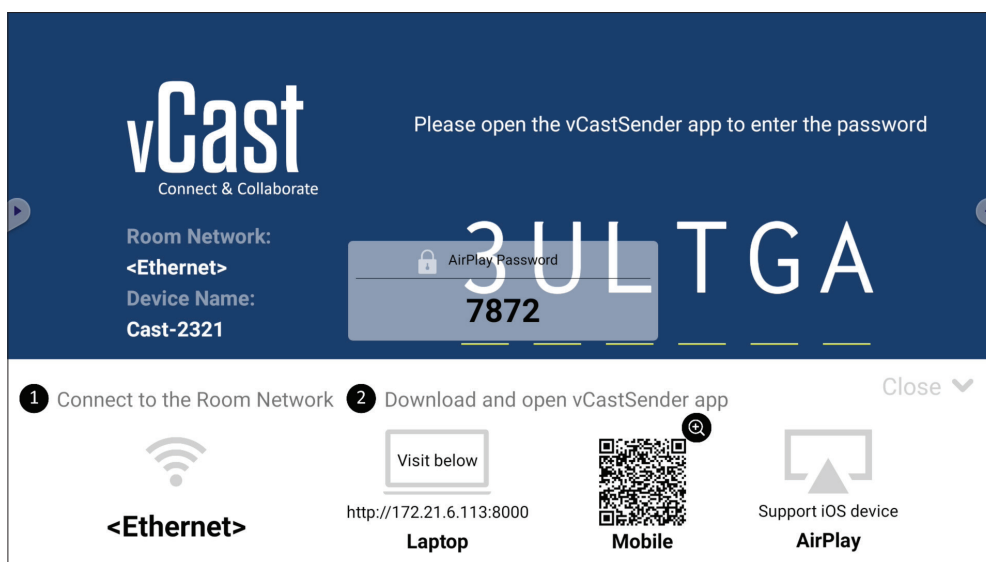


2. iOSクライアント デバイスで、AirPlayを直接開き、接続するViewBoardの **Device Name (デバイス名)** を選択します。

注意事項: Device Name (デバイス名) は以下に強調表示されているとおりです。

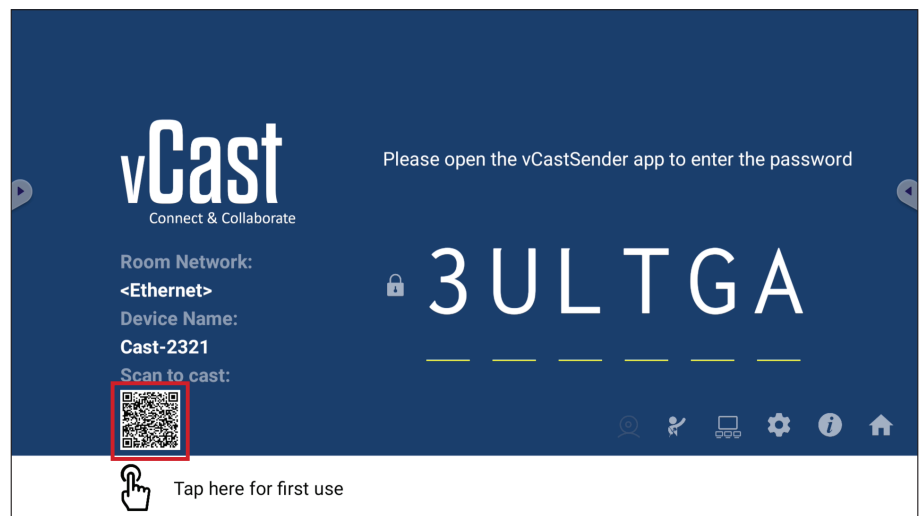
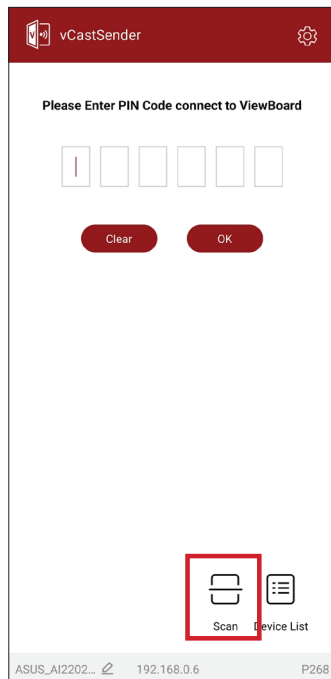


3. 接続するには、クライアントデバイスに生成された画面上の **AirPlay Password (AirPlayパスワード)** を入力します。



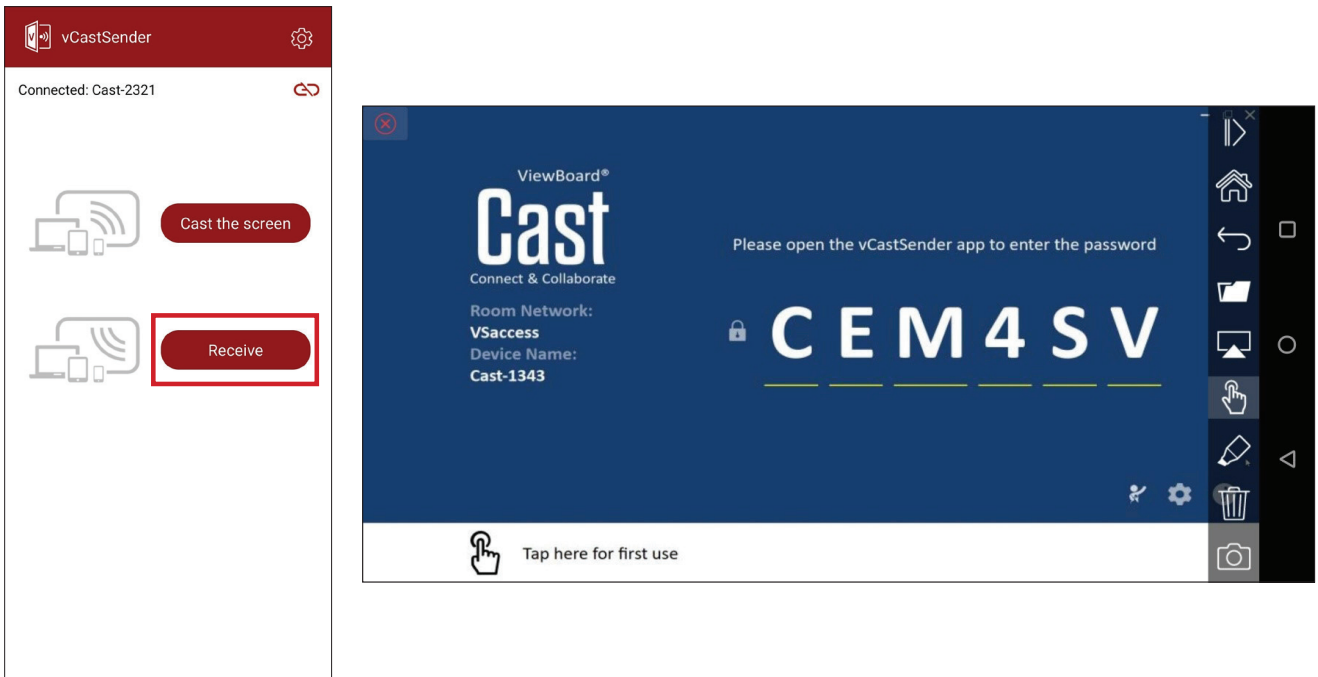
注意事項: クロスサブネット環境では、Apple App Store から vCastSender iOS アプリケーションをダウンロードして接続してください。







4. また、**Scan (スキャン)** を選択し、画面上のQRコードをボックスに入れて自動的に接続することで、ViewBoardに接続することもできます。



モバイルデバイスからViewBoardへの接続

接続したら、**Receive (受信)**を選択します。ViewBoardは、画面上のツールバーとともにモバイルデバイスに表示されます。ユーザーは注釈やファイル共有などを使用してViewBoardを操作できます。



項目	詳細
 切り替え	ツールバーを非表示または表示します。
 ホーム	ホームインターフェイスに戻ります。
 戻る	前の操作に戻ります。
 フォルダ	モバイルデバイスのファイルを表示または開きます。
 共有	モバイルデバイスの画面を、接続されたViewBoardまたはディスプレイにキャストします。
 タッチ	接続されたViewBoardまたはディスプレイをリモートで制御します。
 注釈	注釈を付け、ペンの色を調整します。
 クリア	画面上のすべてを消去します。
 カメラ	カメラ画像を接続されたViewBoardまたはディスプレイに送信します。

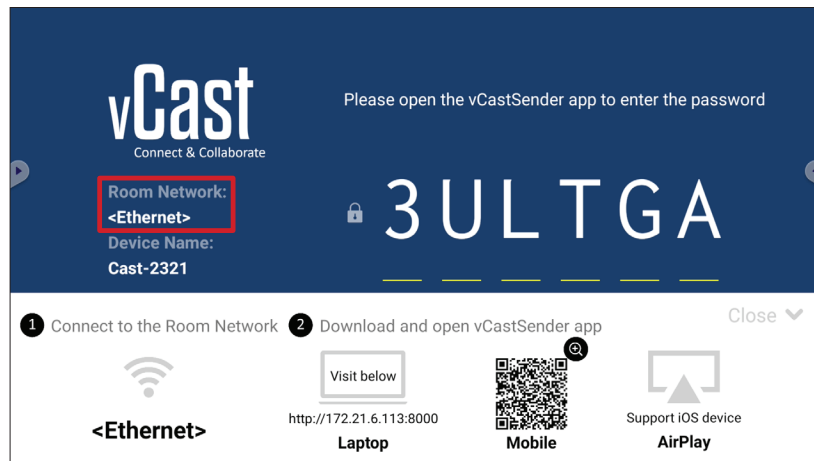
Chromecastでキャストする

vCastは、Chromecast機能が有効になっている場合、Chromeブラウザのキャストを介してネイティブのChromecast画面共有をサポートします。

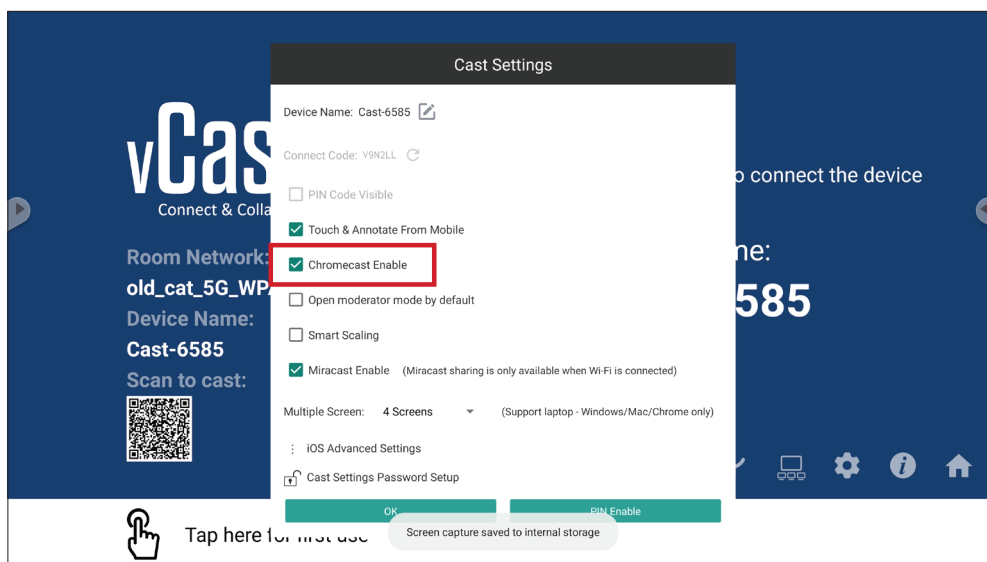
注意事項: Chromecastは「パスワード保護」および「複数画面キャスト」に対応していません。

1. クライアントデバイス(ノートパソコンなど)が、ViewBoardと同じネットワークに接続されていることを確認します。

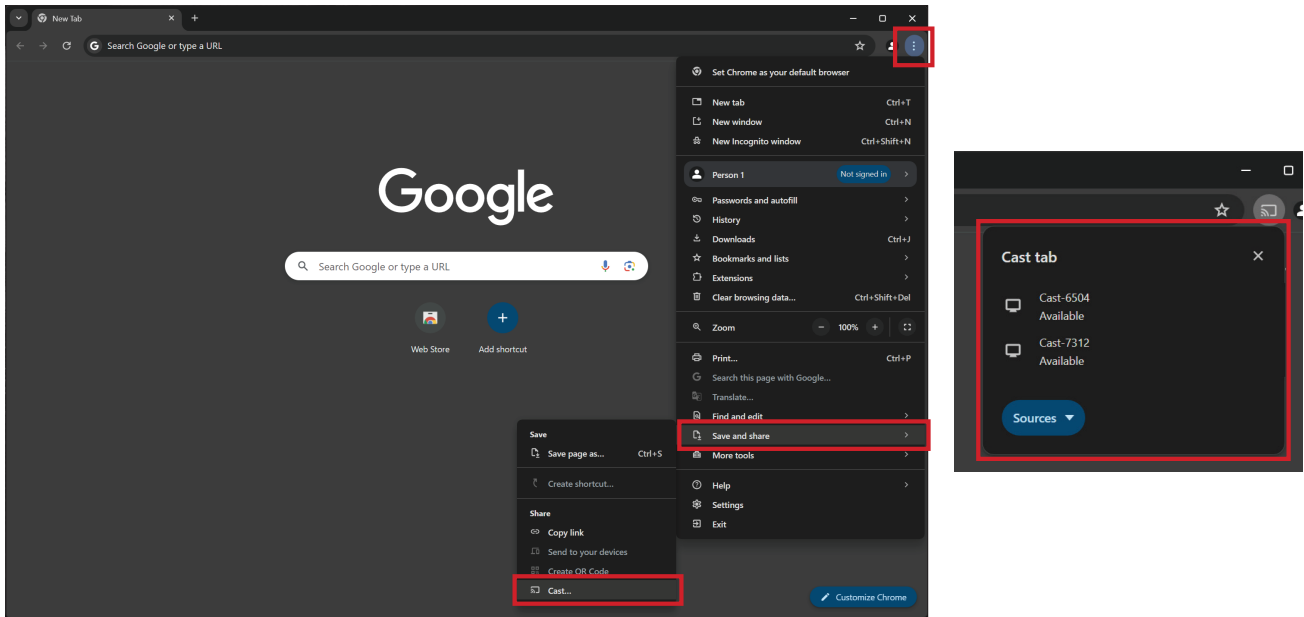
注意事項: ネットワーク名は **Room Network (ルームネットワーク)** の下にあります。



2. vCast設定で **Chromecast Enable (Chromecastの有効化)** チェックボックスが選択されていることを確認します。



3. Chromeブラウザで、次の場所に移動します：**Settings (設定) > Save and share (保存して共有) > Cast... (キャスト...)** > キャスト先の画面を選択します。



Miracastでキャストする

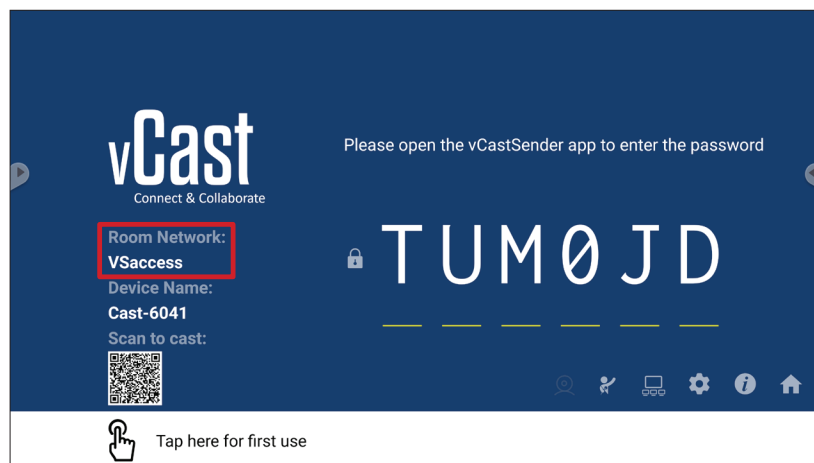
vCastはネイティブMiracastをサポートし、Miracast機能が有効になっている場合にWindowsおよびAndroidデバイスからViewBoardにコンテンツをキャストします。

注意事項:

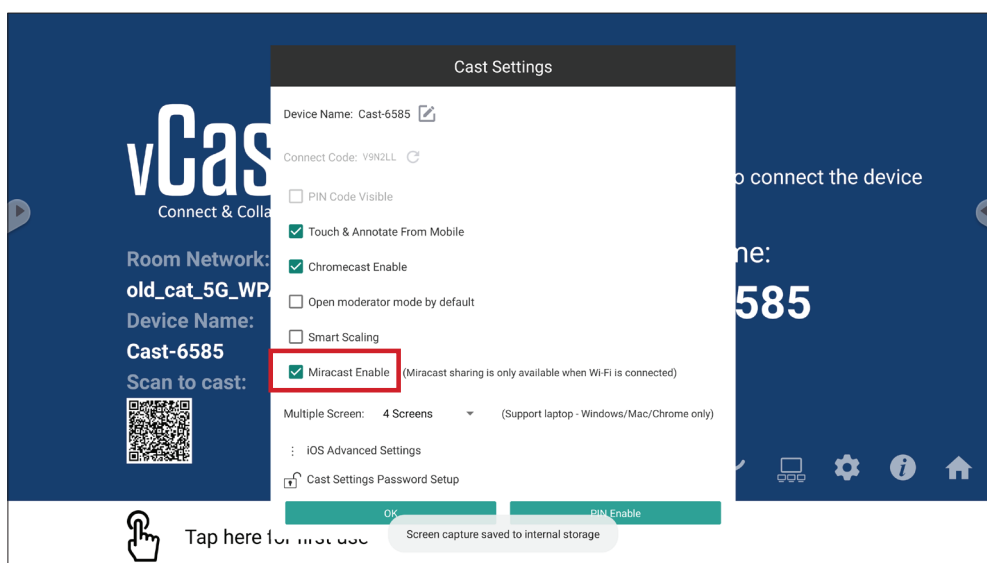
- Miracastは「パスワード保護」および「複数画面キャスト」に対応していません。
- Miracast共有はWi-Fi経由でのみ利用できます。
- Miracastは1時間アイドル状態が続くと自動的にオフになります。

1. クライアントデバイス(ノートパソコンなど)が、ViewBoardと同じネットワークに接続されていることを確認します。

注意事項: ネットワーク名は **Room Network (ルームネットワーク)** の下にあります。



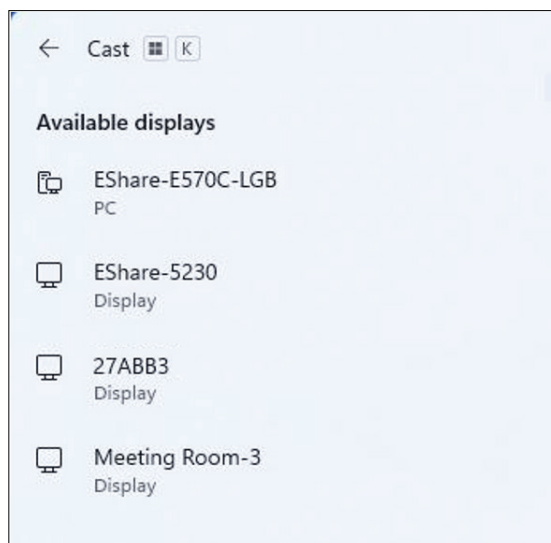
2. vCast設定で **Miracast Enable (Miracastの有効化)** チェックボックスが選択されていることを確認します。



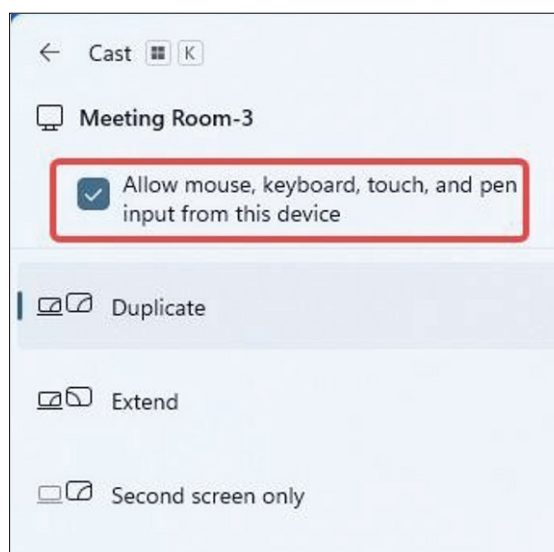
3. キャストするには以下の手順に従ってください:

Windowsデバイスの場合:

1. Windowsデバイスで、Win+Kを押して、キャスト先のディスプレイを選択します。



2. タッチフィードバック機能を有効にするには、「デバイスからのマウス、キーボード、タッチ、ペンの入力を許可する」チェックボックスを選択します。



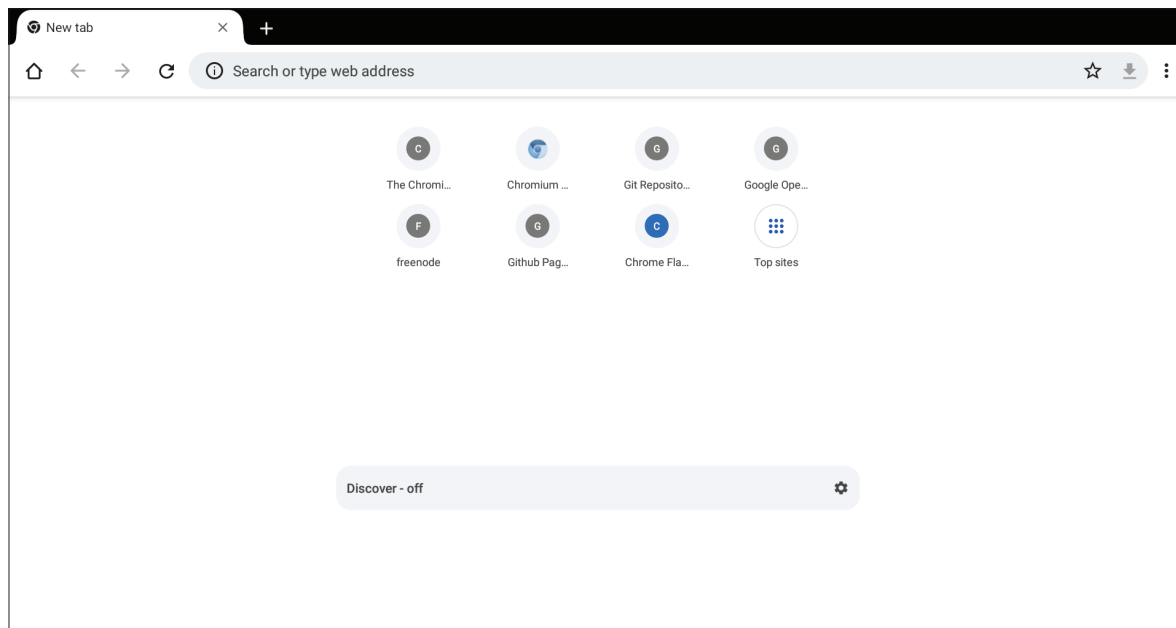
Androidデバイスの場合:

Androidデバイスで、キャスト/スマートビュー/ワイヤレス投影を直接選択し、キャスト先のディスプレイを選択します。

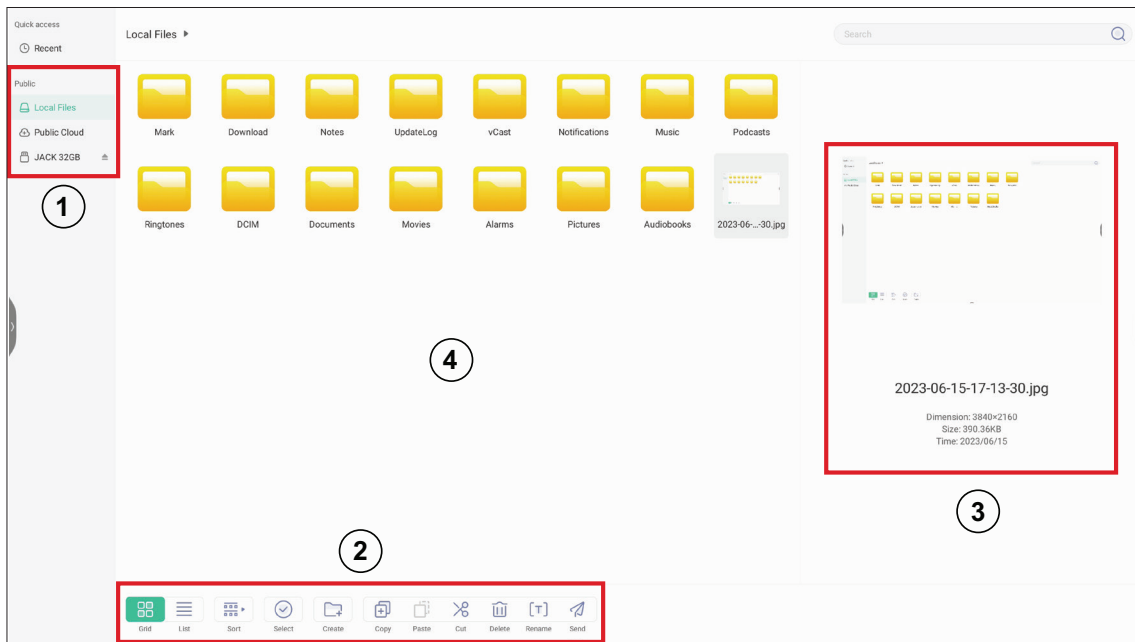
その他のデフォルトアプリケーション

Chromium

インターネットサーフィン用の Web ブラウザ。



フォルダ



1. ストレージデバイスの表示

適切なストレージデバイスを選択します。

2. アイコン

項目		詳細
	グリッド	ファイルをサムネイルビューで表示します
	ソード	ファイルを並べ替えます
	ソード	ファイルを並べ替えます
	選択	ファイルを選択します
	作成する	新しいフォルダを作成する
	コピー	ファイルをコピーします
	貼り付け	ファイルを貼り付けます
	切り取り	ファイルを切り取ります
	削除	ファイルを削除します
	名前を変更	ファイルの名前を変更します
	Send	Share a file

3. ファイル情報

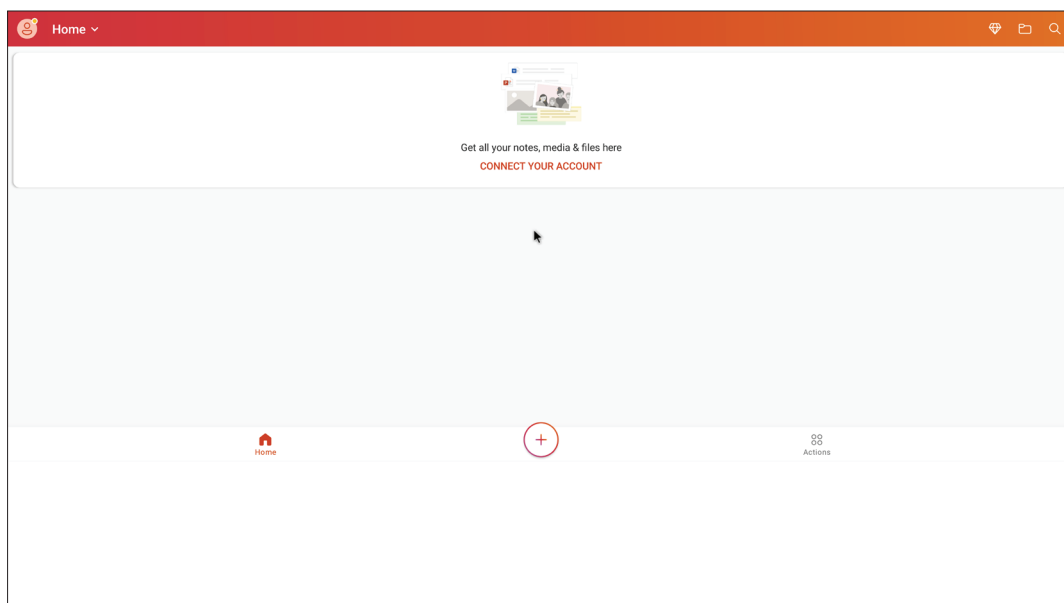
ファイルをプレビューし、ファイルの名前、サイズ、解像度、作成日を表示します。

4. メイン表示領域

対応するタイプのファイルを表示します。

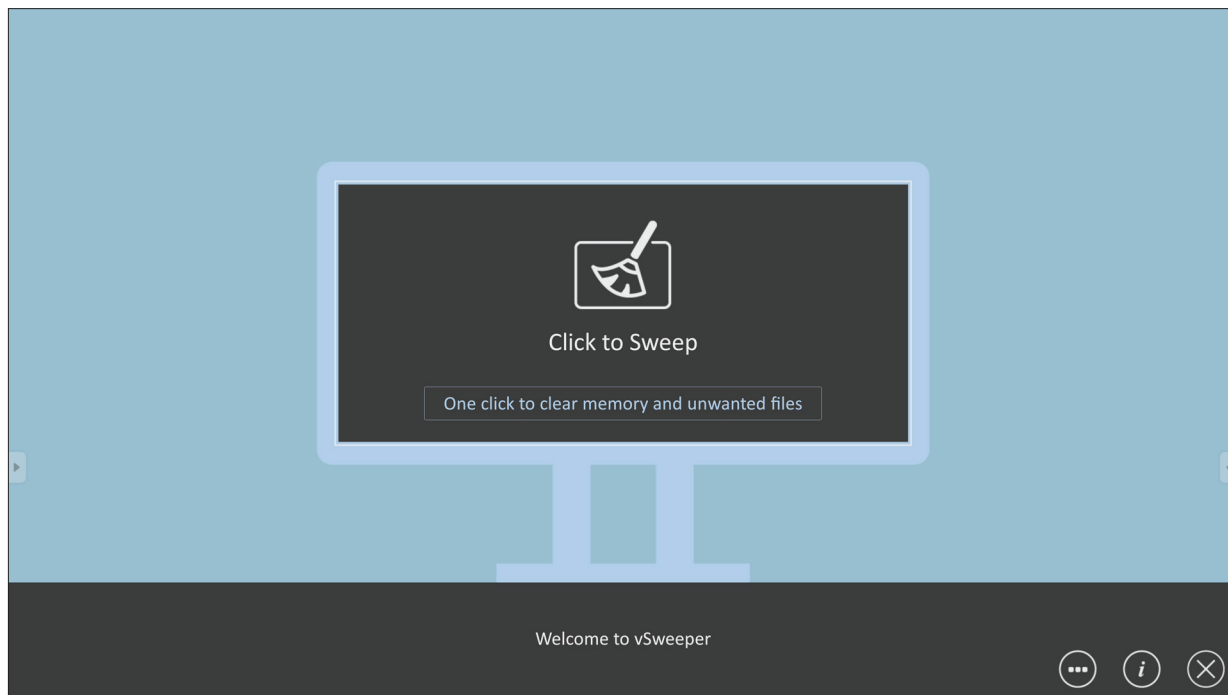
OfficeMobile

ドキュメント、スプレッドシート、プレゼンテーション、PDF を作成、編集、表示します。

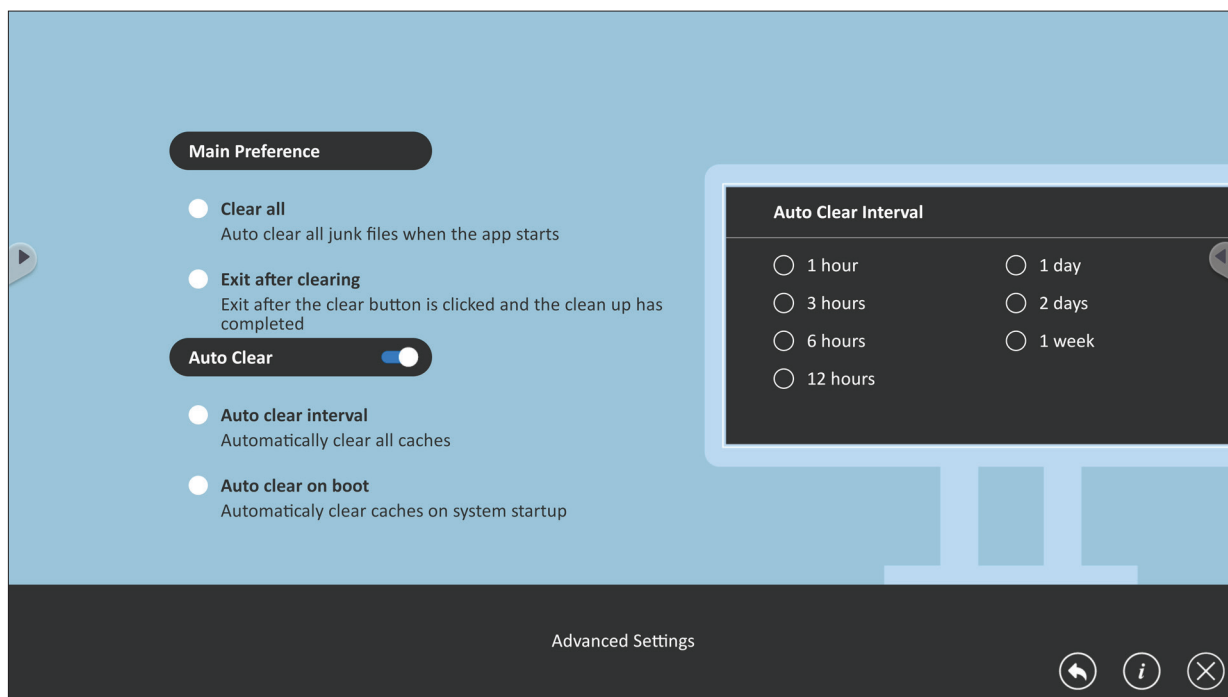


vSweeper

不要なデータと不要なファイルをクリアします。



詳細設定は、ユーザーのニーズに合わせてカスタマイズすることもできます。



RS-232 プロトコル

本書では、ViewSonic LFD と PC または RS-232 プロトコルを使用するその他の制御ユニットとの間の RS-232 インターフェイス通信のハードウェアインターフェイス仕様とソフトウェアプロトコルについて説明します。

プロトコルには 3 つのコマンドセクションがあります：

- Set- 関数
- Get- 関数
- リモコンパススルーモード

注意事項：下記では、「PC」は RS-232 プロトコルコマンドを送受信できるすべての制御装置を表します。

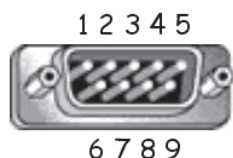
詳細

RS-232 ハードウェア仕様

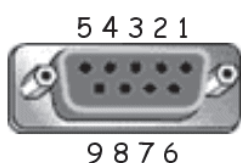
背面にある ViewSonic LFD 通信ポート：

1. コネクタのタイプ: DSUB 9 ピンオス型 (または 3.5 mm バレルコネクタ)
2. 接続にクロスオーバー (ヌルモデム) ケーブルを使用する
3. ピンの配置

メス型 DSUB 9 ピン



DSUB 9 ピン



ピン番号	信号	備考
1	NC	
2	RXD	ディスプレイへの入力
3	TXD	ディスプレイからの出力
4	NC	
5	GND	
6	NC	
7	NC	
8	NC	
9	NC	外部の特定の dongle *3.0 に対して +5V/2A の電源を供給する
メス型	GND	

3.5 mm バレルコネクタ
(限られたスペース用の代替)

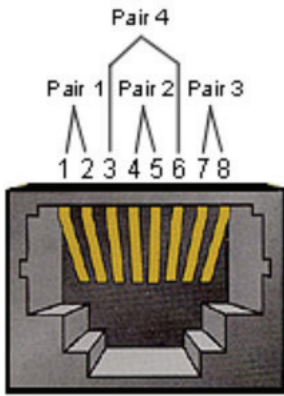


項目	信号	備考
先端	TXD	ディスプレイからの出力
リング	RXD	ディスプレイへの入力
スリーブ	GND	

LAN ハードウェア仕様

背面にある ViewSonic LFD 通信ポート：

1. コネクタのタイプ：8P8C RJ45
2. ピンの配置



ピン番号	信号	備考
1	TX+	ディスプレイからの出力
2	TX-	ディスプレイからの出力
3	RX+	ディスプレイへの入力
4	BI_D3+	1G ケースの場合
5	BI_D3-	1G ケースの場合
6	RX-	ディスプレイへの入力
7	BI_D4+	1G ケースの場合
8	BI_D4-	1G ケースの場合
メス型	GND	

RS232 通信設定

- ボーレート選択： 9600bps (固定)
- データビット： 8 ビット (固定)
- パリティ： なし (固定)
- ストップビット： 1 (固定)

LAN 通信設定

- タイプ： イーサネット
- プロトコル： TCP/IP
- ポート： 5000 (固定)
- WOL ポート： 9 (固定)、UDP 用 *3.2.0
- クロスサブネット： いいえ
- ログイン資格情報： いいえ

コマンドメッセージリファレンス

PC から、LED コマンドパケットに続いて「CR」が送信されます。PC からディスプレイに制御コマンドが送信される度に、ディスプレイは毎回以下のように応答します：

1. メッセージを正しく受信した場合、「+」(02Bh) に続けて「CR」(00Dh) と送信します。
2. メッセージを誤って受信した場合、「-」(02Dh) に続けて「CR」(00Dh) と送信します。

プロトコル

Set- 関数リスト

PC からディスプレイの特定の動作を制御できます。Set- 関数コマンドを使用すると、RS-232 ポートを通してリモートサイトのディスプレイの動作を制御できます。Set- 関数パケットフォーマットは 9 バイトです。

Set- 関数の説明:

- 長さ:** 「CR」を除くメッセージの総バイト数
- LFD ID** 各ディスプレイの ID (01 ~ 98、デフォルトは 01)。
ID「99」は、接続されているすべてのディスプレイに set コマンドを適用することを意味します。このような状況では、ID#1 ディスプレイのみが応答する必要があります。
LFD ID は、各ディスプレイの OSD メニューから設定できます。
- コマンドタイプ** コマンドタイプの説明
"s" (0x73h): コマンドを設定する
"+" (0x2Bh): 有効なコマンド応答
"- " (0x2Dh): 無効なコマンド応答
- コマンド:** 関数コマンドコード:1 バイトの ASCII コード。
- 値[1~3]:** 値を定義する 3 バイトの ASCII。
- CR** 0x0D

Set- 関数形式

送信:(コマンドタイプ =「s」)

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	コマンド	Value1	Value2	Value3	CR
バイト数	1 バイト	2 バイト	1 バイト	1 バイト	1 バイト	1 バイト	1 バイト	1 バイト
バイト順	1	2~3	4	5	6	7	8	9

応答:(コマンドタイプ =「+」または「-」)

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	CR
バイト数	1 バイト	2 バイト	1 バイト	1 バイト
バイト順	1	2~3	4	5

注意事項: PC がすべてのディスプレイ (ID = 99) にコマンドを適用した場合、1 番目のセットのみが ID = 1 の名称で応答する必要があります。

例 1:ディスプレイ (#02) の輝度を 76 に設定する場合、このコマンドは有効です
送信 (16 進形式)

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	コマンド	Value1	Value2	Value3	CR
Hex	0x38	0x30 0x32	0x73	0x24	0x30	0x37	0x36	0x0D

応答 (16 進形式)

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	CR
Hex	0x34	0x30 0x32	0x2B	0x0D

例 2:ディスプレイ (#02) の輝度を 75 に設定する場合、このコマンドは有効ではありません

送信 (16 進形式)

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	コマンド	Value1	Value2	Value3	CR
Hex	0x38	0x30 0x32	0x73	0x24	0x30	0x37	0x35	0x0D

応答 (16 進形式)

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	CR
Hex	0x34	0x30 0x32	0x2D	0x0D

Set 関数表:

A. 基本機能

Set関数	長さ	ID	コマンド		値の範囲	コメント
			Type (ASCII)	Code (ASCII) Code (Hex)		
Power ON *3.2.1/ OFF (standby)	8		s	!	21 000: STBY 001: ON	<p>1. The Power-on via LAN control may work only under specific modes. See display UG for details. *3.1.1</p> <p>2. "WOL by MAC address" maybe available as an alternative.*3.2.1</p>
Input Select	8		s	"	22 000: TV 001: AV 002: S-Video 003: YPbPr 004: HDMI1 014: HDMI2 024: HDMI3 034: HDMI4 005: DVI 006: VGA1 016: VGA2 026: VGA3 007: Slot-in PC (OPS/SDM)/HDBT 008: Internal memory 009: DP1 *3.2.4 023: DP2 019: Type-C 1 *3.3.2 039: Type-C 2 00A: Embedded/Main (Android)	<p>1. No need for USB</p> <p>2. For the case of two or more same sources, the 2nd digital is used to indicate the extension.</p> <p>3. The HEX of 00A is 30 30 41.</p> <p>4. 00Z is reserved for cycle mode *3.3.1</p> <p>5. Using 2nd digi to identify DP or Type C. 0 and even numbers stand for DP; odd numbers stand for Type C *3.3.2</p>
Brightness	8		s	\$	24 000 ~ 100 900: Bright down (-1) 901: Bright up (+1) *3.1.1	
Backlight *3.2.0	8		A	B	42 000 ~ 100	<p>1. For Android platform whose main mode is controlled by backlight and the other sources are controlled by brightness.</p> <p>2. Derived from Color calibration. *3.2.0</p>
Power lock	8		s	4	34 000: Unlock 001: Lock	*See note in details
Volume	8		s	5	35 000 ~ 100 900: Volume down(-1) 901:Volume up(+1)	
Mute	8		s	6	36 000: OFF 001: ON (mute)	
Button lock	8		s	8	38 000: Unlock 001: Lock	*See note in details
Menu lock	8		s	>	3E 000: Unlock 001: Lock	*See note in details

Set関数	長さ	ID	コマンド	コマンド	値の範囲	コメント	
Number *3.1.1	8		s	@	40	000~009	
Key Pad *3.1.1	8		s	A	41	000: UP 001: DOWN 002: LEFT 003: RIGHT 004: ENTER 005: INPUT 006: MENU/(EXIT) 007: EXIT	
Remote Control	8		s	B	42	000: Disable 001: Enable 002: Pass through	Disable: RCU will have no function Enabled: RCU controls normally Pass through: Display will bypass the RC code to connected device via the RS-232 port, but not react itself.
Restore default	8		s	~	7E	000	Recover to factory settings

注意事項：

1. ロックモードでの動作

ロックモード	動作
ボタンロック	<ol style="list-style-type: none">1. 「電源」ボタンを除く、フロントパネルと RCU のすべてのボタンをロックします2. すべての SET 関数は、Mute など RCU のホットキーに準じている場合でも、RS-232 を経由して動作する必要があります。
メニューロック	<ol style="list-style-type: none">1. フロントパネルと PCU の「MENU」キーをロックします2. 工場モードとホスピタリティモードは、MENU 組み合わせキーを使って、これらのモードに移行するモデルの場合、ブロックされないことが必要です。モデルにより制限がある場合、代替アプローチは個別に提示されます。
電源ロック	<ol style="list-style-type: none">1. フロントパネルと PCU の「POWER」キーをロックします。2. SET_POWER が RS-232 を経由して動作する必要があります。ただし、この場合、POWER ロックが解除されることを意味するものではありません。3. OSD 設定で再設定することにより、ロック解除できなくなります。4. 電源ロック時に自動的に AC 電源をオンにする5. 電源ロック時に、これを設定すると、PC 信号がない場合でも、省エネモードに移行しません、また 15 分間ビデオ信号がない場合でもオフになりません。
リモコンオフ	RCU キーをロックしますが、フロントパネルのボタンを動作し続けます。

2. SET 電源オンの代替としての MAC アドレスによるウェイクオン LAN (長さ = 126 バイト)

6バイト	6バイト (#1)	6バイト (#2)	...	6バイト (#16)	24バイト
0xFF FF ... FF	MAC アドレス	MAC アドレス	...	MAC アドレス	0x00 00 ... 00

B. オプション機能

Set関数	長さ	ID	コマンド		値の範囲 (Three ASCII bytes)	コメント
			Type (ASCII)	Code (ASCII) Code (Hex)		
Input Select: Cycle *3.3.1	8		s	" 22	00Z	Inputs in cycle loop depend on display itself
Contrast	8		s	# 23	000 ~ 100	
Sharpness	8		s	% 25	000 ~ 100	
Color	8		s	& 26	000 ~ 100	
Tint	8		s	' 27	000 ~ 100	
Backlight On_Off *3.2.3	8		s	(28	000: OFF 001: ON	Keep both "Backlight On_Off" and "Function On_Off" for backward compatibility *3.3.2
Color mode	8		s) 29	000: Normal 001: Warm 002: Cold 003: Personal	
Freeze On_Off	8		s	* 2A	000: OFF 001: ON	Keep both "Freeze On_Off" and "Function On_Off" for backward compatibility *3.3.2
Surround sound	8		s	- 2D	000: OFF 001: ON	
Bass	8		s	. 2E	000 ~ 100	
Treble	8		s	/ 2F	000 ~ 100	
Balance	8		s	0 30	000 ~ 100	050 is central
Picture Size	8		s	1 31	000: FULL (16:9) 001: NORMAL (4:3) 002: REAL (1:1) *3.1.0	
OSD language	8		s	2 32	000: English 001: French 002: Spanish	Could be extended for more supported languages by model
PIP-Mode	8		s	9 39	000: OFF 001: PIP(POP) 002: PBP	
PIP-Sound select	8		s	: 3A	000: Main 001: Sub	
PIP-Position	8		s	; 3B	000: Up 001: Down 002: Left 003: Right	

Set関数	長さ	ID	コマンド	コマンド	値の範囲	コメント	
PIP-Input	8		s	7	37 *2.9	000: TV 001: AV 002: S-Video 003: YPbPr 004: HDMI1 014: HDMI2 024: HDMI3 034: HDMI4 005: DVI 006: VGA1 016: VGA2 026: VGA3 007: Slot-in PC (OPS/SDM)/HDBT 008: Internal mem- ory 009: DP/Type-C *3.2.4 00A: Embedded/ Main (Android)	Value range is same as SET- Input select
Tiling-Mode	8		s	P	50	000: OFF 001: ON	(for video wall)
Tiling- Compensation	8		s	Q	51	000: OFF 001: ON	(for video wall) Bezel width compensation
Tiling-H by V Monitors	8		s	R	52	01x~09x: H 0x1~0x9: V	(for video wall) 1. 2nd digital for H monitors 2. 3rd digital for V monitors
Tiling-Position	8		s	S	53	001~025	(for Video wall) Copy the screen of Position# to identified display
Date: Year	8		s	V	56	Y17~Y99	Last 2 digits (20)17~(20)99
Date: Month	8		s	V	56	M01~M12	2 digits
Date: Day	8		s	V	56	D01~D31	2 digits
Time: Hour	8		s	W	57	H00~H23	24-hr format. 2 digits.
Time: Min	8		s	W	57	M00~M59	2 digits
Time: Sec	8		s	W	57	S00~S59	2 digits
Customized Hot Keys *3.2.6	8		s	X	58	001~999 001: Open MVB Whiteboard *3.3.3 002: Open MVB Display *3.3.3 003: Open MVB Manager *3.3.3 004: Open vCast *3.3.3 005: Open Signage Launcher *3.3.3 006: Open RevelDigital Player *3.3.3 007: Open XiO Connected *3.3.3	

Set関数	長さ	ID	コマンド	コマンド	値の範囲	コメント
Function On_Off *3.3.2	8		s	=	3D	001: Backlight OFF 101: Backlight ON 002: Freeze OFF 102: Freeze ON 003: Touch OFF 103: Touch ON

注意事項：

1. 水平モニター、垂直モニター、位置のタイル定義

水平モニター						
垂直モニター	1	2	3	4	5	位置
	6	7	8	9	10	
	11	12	13	14	15	
	16	17	18	19	20	
	21	22	23	24	25	

2. 日付設定の例

日付：2017-3/15

送信： 0x 38 30 31 73 56 59 31 37 0D ("Y17")

送信： 0x 38 30 31 73 56 4D 30 33 0D ("M03")

送信： 0x 38 30 31 73 56 44 31 35 0D ("D15")

3. 時刻設定の例

時刻：16:27:59

送信： 0x 38 30 31 73 57 48 31 36 0D ("H16")

送信： 0x 38 30 31 73 57 4D 32 37 0D ("M27")

送信： 0x 38 30 31 73 57 53 35 39 0D ("S59")

Get- 関数リスト

PC から LFD に特定の情報を問い合わせることができます。Get- 関数パケット形式は 9 バイトで構成されており、Set- 関数パケットの構造と似ています。「値」バイトは常に = 000 です。

Gt- 関数の説明:

- 長さ:** 「CR」を除くメッセージの総バイト数。
- TV/DS ID** 各TV/DSのID (01~98、デフォルトは01)。
- コマンドタイプ** コマンドタイプの説明
 “g” (0x67h) : コマンドを取得する
 “r” (0x72h) : 有効なコマンド応答
 “-” (0x2Dh) : 無効なコマンド応答
- コマンド:** 関数コマンドコード:1バイトのASCIIコード。
- 値[1~3]:** 値を定義する3バイトのASCII。
- CR** 0x0D

Get- 関数形式

送信: (コマンドタイプ = 「g」)

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	コマンド	Value1	Value2	Value3	CR
バイト数	1バイト	2バイト	1バイト	1バイト	1バイト	1バイト	1バイト	1バイト
バイト順	1	2~3	4	5	6	7	8	9

応答: (コマンドタイプ = 「r」または「-」)

コマンドが有効な場合はコマンドタイプ = 「r」

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	コマンド	Value1	Value2	Value3	CR
バイト数	1バイト	2バイト	1バイト	1バイト	1バイト	1バイト	1バイト	1バイト
バイト順	1	2~3	4	5	6	7	8	9

コマンドが有効でない場合はコマンドタイプ = 「-」

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	CR
バイト数	1バイト	2バイト	1バイト	1バイト
バイト順	1	2~3	4	5

例 1:TV-05 の輝度を取得する場合。このコマンドは有効です。輝度の値は 67 です。

送信 (16 進形式)

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	コマンド	Value1	Value2	Value3	CR
Hex	0x38	0x30 0x35	0x67	0x62	0x30	0x30	0x30	0x0D

応答 (16 進形式)

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	コマンド	Value1	Value2	Value3	CR
Hex	0x38	0x30 0x35	0x72	0x62	0x30	0x36	0x37	0x0D

例 2:ディスプレイ (#05) からカラーを取得します。しかし、カラーコマンドは、このモデルによってサポートされていません。

送信 (16 進形式)

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	コマンド	Value1	Value2	Value3	CR
Hex	0x38	0x30 0x35	0x67	0x26	0x30	0x30	0x30	0x0D

応答 (16 進形式)

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	CR
Hex	0x34	0x30 0x35	0x2D	0x0D

Get 関数表:

A. 基本機能

Get関数	長さ	ID	コマンド		応答範囲 (Three ASCII bytes)	コメント
			Type (ASCII)	Code (ASCII) Code (Hex)		
Get-Brightness	8		g	b 62	000 ~ 100	
Get-Backlight *3.2.0	8		a	B 42	000 ~ 100	1. For Android platform whose main mode is controlled by backlight and the other sources are controlled by brightness. 2. Derived from Color calibration. *3.2.0
Get-Volume	8		g	f 66	000 ~ 100	
Get-Mute	8		g	g 67	000: OFF 001: ON (muted)	
Get-Input select	8		g	j 6A	000~ 100~	1. 1st digit for signal detection: 0 means "no signal"; 1 means "signal detected" 2. 2nd & 3rd digit: See Set-function table
Get-Power status: ON/ STBY	8		g	l 6C	001: ON 000: STBY	
Get-Remote control	S		g	n 6E	000: Disable 001: Enable 002: Pass through	Get RCU mode status
Get-Power lock	8		g	o 6F	000: Unlock 001: Lock	
Get-Button lock	8		g	p 70	000: Unlock 001: Lock	
Get-Menu lock	8		g	l 6C	000: Unlock 001: Lock	
Get-ACK	8		g	z 7A	000	This command is used to test the communication link
Get-Thermal	8		g	0 30	000~100: 0~+100 deg C -01~-99: -1~-99 deg C	
Get-Operation hour *3.2.0	8		g	1 31	000	1. Accumulated hours in 6-digit integer (000,001~ 999,999) *3.2.0 2. Can not be reset when FW update and Factory initiation *3.2.2 3. Reply in new 32-byte format *3.2.0
Get-Device name	8		g	4 34	000	Reply in new 32-byte format *3.2.0

Get関数	長さ	ID	コマンド	コマンド	応答範囲	コメント	
Get-MAC address	8		g	5	35	000	(for the models with LAN) Reply in new 32-byte format *3.2.0
Get-IP address *3.2.0	8		g	6	36	000	(for the models with LAN) Reply in new 32-byte format *3.2.0
Get-Serial number *3.2.0	8		g	7	37	000	Reply in new 32-byte format *3.2.0
Get-FW version *3.2.0	8		g	8	38	000	Reply in new 32-byte format *3.2.0

注意事項：

1. 動作時間取得の例

想定上の累積動作時間は 123,456 時間です

送信： 0x 38 30 31 67 31 30 30 30 0D (動作時間の取得)

応答： 0x 32 30 31 72 31 31 32 33 34 35 36 00 00 … 00 00 0D

2. デバイス名取得の例

想定上のデバイス名は CDE-5500 です

送信： 0x 38 30 31 67 34 30 30 30 0D (デバイス名の取得)

応答： 0x 32 30 31 72 34 43 44 45 2D 35 35 30 30 00 00 … 00 00 0D

想定上のデバイス名は「NMP-302#1」です

送信： 0x 38 30 31 67 34 30 30 30 0D (デバイス名の取得)

応答： 0x 32 30 31 72 34 4E 4D 50 2D 33 30 32 23 31 00 00 … 00 00 0D

3. MAC アドレス取得の例

想定上の MAC アドレスは 00:11:22:aa:bb:cc です

送信： 0x 38 30 31 67 35 30 30 30 0D (MAC アドレスの取得)

応答： 0x 32 30 31 72 35 30 30 31 31 32 32 61 61 62 62 63 63 00 00 … 00 00 0D

4. IP アドレス取得の例

想定上の IP アドレスは 192.168.100.2 です

送信： 0x 38 30 31 67 36 30 30 30 0D (IP アドレスの取得)

応答： 0x 32 30 31 72 36 31 39 32 2E 31 36 38 2E 31 30 30 2E 32 00 00 … 00 00 0D

5. シリアル番号取得の例

想定上のシリアル番号は ABC180212345 です

送信： 0x 38 30 31 67 37 30 30 30 0D (シリアル番号の取得)

応答： 0x 32 30 31 72 37 41 42 43 31 38 30 32 31 32 33 34 35 00 00 … 00 00 0D

6. FW バージョン取得の例

想定上の FW バージョンは 3.02.001 です

送信： 0x 38 30 31 67 38 30 30 30 0D (FW バージョンの取得)

応答： 0x 32 30 31 72 38 33 2E 30 32 2E 30 30 31 00 00 … 00 00 0D

B. オプション機能

Get関数	長さ	ID	コマンド		応答範囲	コメント
			Type (ASCII)	Code (ASCII) / Code (Hex)		
Get-Contrast	8		g	a / 61	000 ~ 100	
Get-Sharpness	8		g	c / 63	000 ~ 100	
Get-Color	8		g	d / 64	000 ~ 100	
Get-Tint	8		g	e / 65	000 ~ 100	
Get-Backlight On_ Off *3.2.3	8		g	h / 68	000: OFF 001: ON	Keep both "Backlight On_Off" and "Function On_Off" for backward compatibility *3.3.2
Get Freeze On_Off *3.2.5	8		g	i / 69	000: OFF 001: ON	Keep both "Freeze On_Off" and "Function On_Off" for backward compatibility *3.3.2
Get-PIP mode	8		g	t / 74	000: OFF 001: PIP (POP) 002: PBP	
Get-PIP input	8		g	u / 75	000 ~	See Set-input select
Get-Tiling Mode	8		g	v / 76	000: OFF 001: ON	(for Video wall)
Get-Tiling Compensation	8		g	w / 77	000: OFF 001: ON	(for Video wall) Bezel width compensation
Get-Tiling H by V monitors	8		g	x / 78	01x~09x: H monitors 0x1~0x9: V monitors	(for Video wall) 1. 2nd digital for H monitors 2. 3rd digital for V monitors
Get-Tiling position	8		g	y / 79	000: OFF 001~025	(for Video wall) Copy the screen of Position# to identified display
Get-Date: Year	8		g	2 / 32	Y00~Y00	Last 2 digits (20)17~(20)99
Get-Date: Month	8		g	2 / 32	M00~M00	2 digits
Get-Date: Day	8		g	2 / 32	D00~M00	2 digits
Get-Time: Hour	8		g	3 / 33	H00~H00	24-hr format. 2 digits
Get-Time: Min	8		g	3 / 33	M00~M00	2 digits
Get-Time: Sec	8		g	3 / 33	S00~S00	2 digits
Get-Smart hub *3.3.0	8		g	:	3A 000: all 00A: Amb_Temp 00B: Amb_Humidity 00C: Amb_Light 00D: Amb_PIR detection	1. Reply in new 32- byte format. Each sub-item length is fixed 6 bytes. *3.3.0 2. Allow get data separately or once for all. *3.3.0
Get-Function On_ Off *3.3.2	8		G	=	3D 001: Backlight OFF 101: Backlight ON 002: Freeze OFF 102: Freeze ON 003: Touch OFF 103: Touch ON	

注意事項：

1. 日付取得の例

ディスプレイ #01 の想定上の現在日付は次の通りです。

日付：2017-3/15

送信： 0x 38 30 31 67 32 59 30 30 0D (日付:年の取得)

応答： 0x 38 30 31 72 32 59 31 37 0D ("Y17")

送信： 0x 38 30 31 67 32 4D 30 30 0D (日付:月の取得)

応答： 0x 38 30 31 72 32 4D 30 33 0D ("M03")

送信： 0x 38 30 31 67 32 44 30 30 0D (日付:日の取得)

応答： 0x 38 30 31 72 32 44 31 35 0D ("D15")

2. 時刻取得の例

ディスプレイ #01 の想定上の現在時刻は次の通りです。

時刻：16:27:59

送信： 0x 38 30 31 67 33 48 30 30 0D (時刻:時間の取得)

応答： 0x 38 30 31 72 33 48 31 36 0D ("H16")

送信： 0x 38 30 31 67 33 4D 30 30 0D (時刻:分の取得)

応答： 0x 38 30 31 72 33 4D 32 37 0D ("M27")

送信： 0x 38 30 31 67 33 53 30 30 0D (時刻:秒の取得)

応答： 0x 38 30 31 72 33 53 35 39 0D ("S59")

3. スマートハブの例を取得する

Amb_Temp が -5 °C、Amb_Humidity が 30%、Amb_Light が 80、Amb_PIR 検出が 1 であると仮定します。

送信： 0x 38 30 31 67 3A 30 30 30 0D (すべてのスマートハブ情報を取得)

応答： 0x 32 30 31 72 3A 41 2D 30 35 2E 30 42 30 33 30 2E 30 43 30 30 30 38
30 44 30 30 30 30 31 00 00 00 0D (A-05.0B030.0C00080D00001)

送信： 0x 38 30 31 67 3A 30 30 41 0D (Amb_Temp のみを取得)

応答： 0x 32 30 31 72 3A 41 2D 30 35 2E 30 00 00 …00 00 0D (A-05.0)

C. 自動応答 ^{*3.2.1}

リモコンユニット、フロントキー、タッチスクリーンなどの利用可能な方法を通して、次のデータ / ステータスが変更された場合、ディスプレイは、ホストに照会することなく、更新されたデータ / ステータスを自動的に送信します。

- 電源オン / オフ
- Input Select (入力選択)
- Brightness (輝度)
- バックライト
- Volume (音量)
- Mute On/Off (ミュートオン / オフ)

リモコンパススルーモード

PC がディスプレイをリモコンパススルーモードに設定した場合、ディスプレイはリモコンユニット (RCU) ボタンの起動に応答し、7 バイトの packets (後に「CR」が続く) を送信します。

このモードでは、リモコンはディスプレイ機能に影響を与えません。例: 「Volume +」はディスプレイの音量を変更せず、代わりに、RS-232 ポートを通して PC に「Volume +」コードを送信するのみとなります。

IR パススルー機能形式

応答: (コマンドタイプ = 「p」)

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	RCU コード1 (MSB)	RCU コード2 (LSB)	CR
バイト数	1 バイト	2 バイト	1 バイト	1 バイト	1 バイト	1 バイト
バイト順	1	2~3	4	5	6	7

例 1: ディスプレイ (#5) に「VOL+」キーが押された場合のリモコンパススルー送信 (16 進形式)

名称	長さ	ID	コマンドタイプ	RCU コード1 (MSB)	RCU コード2 (LSB)	CR
Hex	0x36	0x30 0x35	0x70	0x31	0x30	0x0D

ボタン	コード(16進)	基本 ^{*3.1.1}	オプション ^{*3.1.1}
1	01	V	
2	02	V	
3	03	V	
4	04	V	
5	05	V	
6	06	V	
7	07	V	
8	08	V	
9	09	V	
0	0A	V	
-	0B		V
RECALL (LAST)	0C		V
INFO (DISPLAY)	0D		V
	0E		
ASPECT (ZOOM, SIZE)	0F		V
VOLUME UP (+)	10	V	
VOLUME DOWN (-)	11	V	
MUTE	12	V	
CHANNEL/PAGE UP (+)/ BRIGHTNESS+	13		V
CHANNEL/PAGE DOWN (-)/ BRIGHTNESS-	14		V
POWER	15	V	
SOURCES (INPUTS)	16	V	
	17		
	18		
SLEEP	19		V
MENU	1A	V	
UP	1B	V	
DOWN	1C	V	
LEFT (-)	1D	V	
RIGHT (+)	1E	V	
OK (ENTER, SET)	1F	V	
EXIT	20	V	
	21		
	22		
	23		
	24		

ボタン	コード(16進)	基本 ^{*3.1.1}	オプション ^{*3.1.1}
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	2A		
	2B		
RED ■ (F1)	2C		V
GREEN ■ (F2)	2D		V
YELLOW ■ (F3)	2E		V
BLUE ■ (F4)	2F		V

注意事項：

1. このIRパススルーコードはRCUキーコードとは異なります。
2. IRパススルーモード時の、電源キー用の特殊な制御シーケンス。
 - 2-1. ディスプレイがオフになっている時に、IR電源コードを受信した場合: ディスプレイの電源が自動的に入り、その後RS-232を通して電源コードをホストに転送します。
 - 2-2. ディスプレイがオンになっている時に、IR電源コードを受信した場合: ディスプレイはRS-232を通して電源コードをホストに転送し、その後自動的にオフになります。
 - 2-3. SET-POWER LOCKがオンになっている場合、ディスプレイは電源キーを押す動作に反応しません。
3. キーを長押しすると、音量アップと音量ダウンのコードが繰り返し出力されます。

付録

USB メディアサポートフォーマット

写真

画像	写真	解決
JPEG	Base-line	1920 x 1080
	Progressive	1024 x 768
PNG	non-interlace	1920 x 1080
	Interlace	1920 x 1080
BMP		15360 x 8640

ビデオ

容器	コーデック	解決	ビットレート
MKV(.mkv) WebM(.webm)	VP9	4096 x 2176 @60 FPS	100 Mbps
MP4(.mp4, .mov) 3GPP(.3gpp, .3gp) MEPG transport stream (.ts, .trp, .tp) MKV(.mkv) WebM(.webm) FLV(.flv) AVI(lavi) H265(.265)	HEVC/H.265	4096 x 2176 @60 FPS	100 Mbps
MP4(.mp4, .mov) 3GPP(.3gpp, .3gp) MEPG transport stream (.ts, .trp, .tp) MPEG program stream (.DAT, .VOB, .MPG, .MPEG) MKV(.mkv) WebM(.webm) AVI(lavi) ASF(.asf) WMV(.wmv) OGM(.ogm)	MPEG1/2	1920 x 1080 @120 FPS	40 Mbps

容器	コーデック	解決	ビットレート
MP4(.mp4, .mov) 3GPP(.3gpp, .3gp) MEPG transport stream (.ts, .trp, .tp) MPEG program stream (.DAT, .VOB, .MPG, .MPEG) MKV(.mkv) WebM(.webm) FLV(.flv) AVI(lavi) ASF(.asf) WMV(.wmv) OGM(.ogm)	MPEG4	1920 x 1080 @120 FPS	40 Mbps
ASF(.asf) AVI(.avi) DivX(.divx) MKV(.mkv) MP4(.mp4, .mov) OGM(.ogm) WebM(.webm) WMV(.wmv)	DivX 3.11 Divx 4.12 DivX 5.x DivX 6, XviD	1920 x 1080 @120 FPS	40 Mbps
AVI(.avi) FLV(.flv)	Sorenson H.263	1920 x 1080 @120 FPS	40 Mbps
3GPP(.3gpp, .3gp) ASF(.asf) AVI(lavi) FLV(.flv) MP4(.mp4, mov) WMV(.wmv)	H.263	1920 x 1080 @120 FPS	40 Mbps

容器	コーデック	解決	ビットレート
3GPP(.3gpp, .3gp) ASF(.asf) AVI(lavi) FLV(.flv) H.264(.264) MKV(.mkv) MP4(.mp4, .mov) MEPG transport stream (.ts, .trp, .tp) MPEG program stream (.DAT, .VOB, .MPG, .MPEG) OGM(.ogm) WebM(.webm) WMV(.wmv)	H.264	4096 x 2160 @60 FPS	135 Mbps
AVS(.avs) MEPG transport stream (.ts, .trp, .tp)	AVS	1920 x 1080 @60 FPS	50 Mbps
AVS(.avs) MEPG transport stream (.ts, .trp, .tp)	AVS+	1920 x 1080 @60 FPS	50 Mbps
AVS(.avs2) MEPG transport stream (.ts, .trp, .tp)	AVS2	4096 x 2160 @60 FPS	100 Mbps
3GPP(.3gpp, .3gp) ASF(.asf) AVI(.avi) MKV(.mkv) MP4(.mp4, .mov) OGM(.ogm) WebM(.webm) WMV(.wmv)	WMV3	1920 x 1080 @120 FPS	40 Mbps

容器	コーデック	解決	ビットレート
3GPP(.3gpp, .3gp) ASF(.asf) AVI(.avi) MKV(.mkv) MP4(.mp4, .mov) MEPG transport stream (.ts, .trp, .tp) WebM(.webm) WMV(.wmv) VC1(.vc1)	VC1	2048 x 1024 @120 FPS	40 Mbps
3GPP(.3gpp, 3gp) AVI(.avi) FLV(.flv) MKV(.mkv) MP4(.mp4, .mov) OGM(.gom) WebM(.webm)	Motion JPEG	1920 x 1080 @30 FPS	40 Mbps
3GPP(.3gpp, .3gp) AVI(.avi) FLV(.flv) MKV(.mkv) MP4(.mp4, .mov) OGM(.gom) WebM(.webm)	VP8	1920 x 1080 @60 FPS	50 Mbps
MKV(.mkv) RM(.rm, .rmvb) WebM(.webm)	RV30/RV40	1920 x 1080 @60 FPS	40 Mbps
3GPP(.3gpp, .3gp) MKV(.mkv) MP4(.mp4, .mov) WebM(.webm)	AV1	4096 x 2176 @60 FPS	100 Mbps

オーディオ

容器	コーデック	サンプルレート	チャンネル	ビットレート
3GPP(.3gpp, .3gp) ASF(.asf) AVI(.avi) DivX(.divx) FLV(.flv) MKV(.mkv, .mka) MP3(.mp3) MP4(.mp4) MEPG transport stream (.ts, .trp, .tp) MPEG program stream(.DAT, .VOB, .MPG, .MPEG) OGM(.ogm) WAV(.wav) WebM(.webm) WMV(.wmv)	MPEG1/2 Layer1	16 kHz~48 kHz	Up to 2	32 kbps~448 kbps
	MPEG1/2 Layer2	16 kHz~48 kHz	Up to 2	8 kbps~384 kbps
	MPEG1/2/2.5 Layer3	8 kHz~ 48 kHz	Up to 2	8 kbps~320 kbps
3GPP(.3gpp, .3gp) ASF(.asf) AVI(.avi) AC3(.ac3) DivX(.divx) MKV(.mkv, .mka) MP4(.mp4) MEPG transport stream (.ts, .trp, .tp) MPEG program stream (.DAT, .VOB, .MPG, .MPEG) OGM(.ogm) WebM(.webm) WMV(.wmv)	AC3(DD)	32 kHz, 44.1 kHz, 48 kHz	Up to 5.1	32 kbps~640 kbps

容器	コーデック	サンプルレート	チャンネル	ビットレート
3GPP(.3gpp, .3gp) ASF(.asf) AVI(.avi) DivX(.divx) EAC3(.ec3) MKV(.mkv, .mka) MP4(.mp4) MEPG transport stream (.ts, .trp, .tp) MPEG program stream (.DAT, .VOB, .MPG, .MPEG)	EAC3(DDP)	32 kHz, 44.1 kHz, 48 kHz	Up to 5.1	32 kbps~6 Mbps
OGM(.ogm) WebM(.webm) WMV(.wmv)	EAC3(DDP)	32 kHz, 44.1 kHz, 48 kHz	Up to 5.1	32 kbps~6 Mbps
3GPP(.3gpp, .3gp) AAC(.aac) ASF(.asf) AVI(.avi) DivX(.divx) FLV(.flv) MKV(.mkv, .mka) MP4(.mp4) MEPG transport stream (.ts, .trp, .tp) MPEG program steam (.DAT, .VOB, .MPG, .MPEG) OGM(.ogm) RM(.rm, .rmvb, .ra) WAV(.wav) WebM(.webm) WMV(.wmv)	AAC-LC, HEAAC	8 kHz~ 48 kHz	Up to 5.1	AAC-LC: 12 kbps~576 kbps V1: 6 kbps~288 kbps V2: 3 kbps~144 kbps

容器	コーデック	サンプルレート	チャンネル	ビットレート
3GPP(.3gpp, .3gp) ASF(.asf) AVI(.avi) MKV(.mkv, .mka) MP4(.mp4, .mov) WebM(.webm) WMV(.wma, .wmv)	WMA	8 kHz~48 kHz	Up to 2	128 kbps~320 kbps
3GPP(.3gpp, .3gp) ASF(.asf) AVI(.avi) MP4(.mp4, .mov) WMV(.wma, .wmv)	WMA 10 Pro M0	8 kHz~48 kHz	Up to 2	< 192 kbps
	WMA 10 Pro M1	8 kHz~48 kHz	Up to 5.1	< 384 kbps
	WMA 10 Pro M2	8 kHz~96 kHz	Up to 5.1	< 768 kbps
3GPP(.3gpp, .3gp) ASF(.asf) AVI(.avi) MKV(.mkv, .mka) MP4(.mp4, .mov) Ogg(.ogg) WebM(.webm) WMV(.wma, .wmv)	VORBIS *Support stereo decoding only	Up to 48 kHz	Up to 2	

容器	コーデック	サンプルレート	チャンネル	ビットレート
3GPP(.3gpp, .3gp) AVI(.avi) DTS(.dts) MKV(.mkv, .mka) MP4(.mp4, .mov) MEPG transport stream (.ts, .trp, .tp) MPEG program stream (.DAT, .VOB, .MPG, .MPEG) OGM(.ogm) WAV(.wav) WebM(.webm)	DTS	Up to 48 kHz	Up to 5.1	< 1.5 Mbps (Pure DTS core)
3GPP(.3gpp, .3gp) MP4(.mp4, .mov) MEPG transport stream (.ts, .trp, .tp)	DTS LBR	12 kHz, 22 kHz, 24 kHz, 44.1 kHz, 48 kHz	Up to 5.1	Up to 2 Mbps
3GPP(.3gpp, .3gp) MP4(.mp4, .mov) MEPG transport stream (.ts, .trp, .tp, .mts, .m2ts)	DTS XLL	Up to 96 kHz	Up to 6	Up to 6.123 Mbps
3GPP(.3gpp, .3gp) MP4(.mp4, .mov) MEPG transport stream (.ts, .trp, .tp, .mts, .m2ts)	DTS Master Audio	Up to 48 kHz	Up to 6	Up to 24.537 Mbps

容器	コーデック	サンプルレート	チャンネル	ビットレート
3GPP(.3gpp, .3gp) ASF(.asf) AVI(.avi) FLV(.flv) MKV(.mkv, .mka) MP4(.mp4, .mov, .m4a) MEPG transport stream (.ts, .trp, .tp) MPEG program stream (.DAT, .VOB, .MPG, .MPEG) OGM(.ogm) WAV(.wav) WebM(.webm) WMV(.wmv)	LPCM	8 kHz~48 kHz	Mono, Stereo 5.1	64 kbps~1.5 Mbps
AVI(.avi) MKV(.mkv, .mka) OGM(.ogm) WAV(.wav) WebM(.webm)	IMA-ADPCM MS)ADPCM	8 kHz~48 kHz	Up to 2	32 kbps~384 kbps
AVI(.avi) FLV(.flv) MKV(.mkv, .mka) WAV(.wav) WebM(.webm)	G711 A /mu-law	8 kHz	1	64 kbps
RM(.rm, .rmvb, .ra)	LBR(cook)	8 kHz, 11.025 kHz, 22.05 kHz, 44.1 kHz	Up to 5.1	6 kbps~128 kbps
FLAC(.flac) MKV(.mkv, .mka) WebM(.webm)	FLAC	8 kHz~96 kHz	Up to 7.1	< 1.6 Mbps
MKV(.mkv, .mka) WebM(.webm)	OPUS	8 kHz~48 kHz	Up to 6	6 kbps~510 kbps

容器	コーデック	サンプルレート	チャンネル	ビットレート
3GPP(.3gpp, .3gp) AC4(.ac4) MP4(.mp4, .mov, .m4a) MEPG transport stream (.ts, .trp, .tp)	AC4	44.1 kHz, 48 kHz	Up to 5.1 (MS12 v1.x) Up to 7.1 (MS12 v2.x)	Up to 1521 kbps per presentation
3GPP(.3gpp, .3gp) MP4(.mp4, .mov, .m4a)	Fraunhofer MPEG-H TV Audio System	32 kHz, 44.1 kHz, 48 kHz	Up to 16 core channels Up to 5.1 channels output	1.2 Mbps
3GPP(.3gpp, .3gp) MP4(.mp4, .mov, .m4a)	AMR-NB	8 kHz	1	4.75~12.2 kbps
3GPP(.3gpp, .3gp) MP4(.mp4, .mov, .m4a)	AMR-WB	16 kHz	1	6.6~23.85 kbps

字幕

内部

ファイル拡張子	容器	コーデック
dat, mpg, mpeg, vob	MPG, MPEG	DVD Subtitle
ts, trp, tp	TS	DVB Subtitle
mp4	MP4	DVD Subtitle UTF-8 Plain Text
mkv	MKV	ASS SSA UTF-8 Plain Text VobSub DVD Subtitle
divx, avi	AVI(1.0, 2.0) DMFO, 1, 2	XSUB XSUB+

外部の

ファイル拡張子	容器	コーデック
.srt	SubRip	
.ssa/.ass	SubStation Alpha	
.smi	SAMI	
.sub	SubViewer MicroDVD DVDSubtitleSystem SubIdx(VobSub)	SubViewer 1.0 & 2.0 Only
.txt	TMPlayer	

タイミング表

HDMI PC

解決	リフレッシュレート
640 x 480	60 Hz
	72 Hz
800 x 600	75 Hz
	72 Hz
	75 Hz
1024 x 768	60 Hz
	70 Hz
	75 Hz
1280 x 1024	60 Hz
1360 x 768	60 Hz
1920 x 1080	60 Hz

HDMI

ビデオ	解決	リフレッシュレート
480i	720 x 480	60 Hz
480p	720 x 480	60 Hz
576i	720 x 576	50 Hz
576p	720 x 576	50 Hz
720p	1280 x 720	50 Hz
		60 Hz
1080i	1920 x 1080	50 Hz
		60 Hz
1080p	1920 x 1080	50 Hz
		60 Hz
4K	3840 x 2160	29.97 Hz/R444
	3840 x 2160	30 Hz/R444
	3840 x 2160	25 Hz/R444
	3840 x 2160	23.98 Hz/R444
	3840 x 2160	24 Hz/R444
	4096 x 2160	24 Hz/R444
	3840 x 2160	50 Hz/R444
	3840 x 2160	59 Hz/R444
	3840 x 2160	60 Hz/R444
	4096 x 2160	50 Hz/R444
	4096 x 2160	59 Hz/R444
	4096 x 2160	60 Hz/R444

Type C

ビデオ	解決	リフレッシュレート
480p (4:3)	640 x 480	60 Hz
	640 x 480	60 Hz
	720 x 480	60 Hz
	1440 x 480	60 Hz
480p (16:9)	720 x 480	60 Hz
	1440 x 480	60 Hz
	1440 x 480	60 Hz
576p (4:3)	720 x 576	50 Hz
576p (16:9)	720 x 576	50 Hz
	1440 x 576	50 Hz
720p (16:9)	1280 x 720	50 Hz
	1280 x 720	60 Hz
	1280 x 720	60 Hz
1080p (16:9)	1920 x 1080	24 Hz
	1920 x 1080	24 Hz
	1920 x 1080	25 Hz
	1920 x 1080	30 Hz
	1920 x 1080	30 Hz
	1920 x 1080	50 Hz
	1920 x 1080	60 Hz
	1920 x 1080	60 Hz
4K	3840 x 2160	24 Hz
	3840 x 2160	25 Hz
	3840 x 2160	30 Hz
	3840 x 2160	50 Hz
	3840 x 2160	60 Hz

ディスプレイモード

VGA モード

解像度	リフレッシュレート (@)
640 x 480	60Hz, 72Hz, 75Hz
720 x 400	85Hz
800 x 600	56Hz, 60Hz, 72Hz, 75Hz
832 x 624	75Hz
1024 x 768	60Hz, 70Hz, 75Hz
1280 x 1024	60Hz, 75Hz
1600 x 1200	60Hz
1920 x 1080	60Hz
1920 x 1200	60Hz

HDMI/DisplayPort/ タイプ C モード

解像度	リフレッシュレート (@)
640 x 480	60Hz, 72Hz, 75Hz
720 x 400	85Hz
800 x 600	56Hz, 60Hz, 72Hz, 75Hz
832 x 624	75Hz
1024 x 768	60Hz, 70Hz, 75Hz
1280 x 1024	60Hz, 75Hz
1600 x 1200	60Hz
1920 x 1080	60Hz
1920 x 1200	60Hz
3840 x 2160	25, 30, 50, 60Hz

トラブルシューティング

本章では、ViewBoard を使用するにあたり、発生する可能性がある問題と対処方法を記載します。

問題	解決策
リモコンが機能しない	<ol style="list-style-type: none">1. ディスプレイのリモコン受信機を妨害している物がないかどうかを確認してください。2. リモコンの電池が正しく取り付けられていることを確認してください。3. 電池を交換する必要があるかどうかを確認してください。
ユニットが予期せずオフになります	<ol style="list-style-type: none">1. スリープモードが有効になっているかどうかを確認してください。2. お住まいの地域で停電が発生していないかどうかを確認してください。3. ディスプレイをオンにして、信号および制御システムに問題があるかどうかを確認してください。

PC モード

問題	解決策
PC 信号がありません	<ol style="list-style-type: none">1. ディスプレイの設定を確認してください。2. ディスプレイの解像度を確認してください。3. OSD メニューを使用して、水平および垂直 (同期) 設定を調整してください。4. OPS 解像度を確認します。OPS を確認してください正しい解像度に設定されています。
背景に縞模様が表示されます	<ol style="list-style-type: none">1. 自動調整を選択してください。2. 色と位相を調整してください。
間違った色が表示されます	<ol style="list-style-type: none">1. VGA 接続を確認してください。2. 彩度、明るさおよびコントラストの設定を調整してください。
サポートされない形式です	<ol style="list-style-type: none">1. 自動調整を選択してください。2. クロックと位相の設定を調整してください。

タッチ機能

問題	解決策
タッチ機能が動作しません	<ol style="list-style-type: none">1. ドライバーが正しくインストールされていることを確認してください。2. ドライバーを再インストールしてください。3. 設定を確認し調整してください。4. タッチペンが適切に動作しているかどうかを確認してください。

ビデオが正常に動作しません

問題	解決策
映像 / 音声が出力されません	<ol style="list-style-type: none">1. 電源ステータスを確認してください。2. シングルケーブルを確認してください。3. 内蔵 PC が正しくインストールされていることを確認してください。
画像が不明瞭であるか、切り取られています	<ol style="list-style-type: none">1. 信号ケーブルを確認してください。2. 他の電子機器が信号を遮断していないか同課を確認してください。
映像が正しく表示されません	<ol style="list-style-type: none">1. メニューで彩度、明るさおよびコントラストの設定を調整してください。2. 信号ケーブルを確認してください。

オーディオ正常に動作しません

問題	解決策
音声が出力されません	<ol style="list-style-type: none">1. 消音 / 消音解除ボタンを押してください。2. 音量を調整してください。3. オーディオケーブルを確認してください。

問題	解決策
1 台のスピーカーのみから出力されます	<ol style="list-style-type: none"> 1. メニューでサウンドバランスを調整してください。 2. コンピュータのサウンド操作パネルの設定を確認してください。 3. オーディオケーブルを確認してください。 <p>注意事項： SPDIF とイヤホンは、ViewBoard Player、HDMI、タイプ C、および DisplayPort(DP) チャンネルでのみ機能します。</p>

メンテナンス

お手入れの際の注意

- デバイスのお手入れを行う際は、必ず電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いておいてください。
- 絶対に画面やケースに直接液体をスプレーしたり、かけたりしないでください。
- 暗い色のデバイスは、擦り傷があると、明るい色のデバイスよりもはっきりと跡が残る可能性があるため、デバイスの取り扱いには注意してください。
- システムを長期間継続して使用しないでください。

画面のお手入れ

- 清潔で柔らかい不織布で拭いてください。ホコリやゴミを取り除くことができます。
- 落ちにくい汚れの場合は、ノンアンモニア、ノンアルコールの洗剤を少量画面につけ、清潔で柔らかい不織布で拭いてください。

ケースのお手入れ

- ホコリやゴミのついている場合は、柔らかい乾いた布で拭いてください。
- 落ちにくい汚れの場合は、ノンアンモニア、ノンアルコールの洗剤を少量ケースにつけ、清潔で柔らかい不織布で拭いてください。

免責事項

- ViewSonic® は、ディスプレイ画面またはケースにアンモニアまたはアルコールベースのクリーナーを使用することはお勧めしません。いくつかの化学洗浄剤は、デバイスの画面および / またはケースを損傷することが報告されています。
- ViewSonic® は、アンモニアやアルコールベースの洗剤の使用に起因する損傷の一切の責任を負いません。

注意事項： ガラスとパネルの間に結露が発生した場合は、湿気がなくなるまでディスプレイをオンにしてください。

規制およびサービス情報

コンプライアンス情報

本セクションでは、関連するすべての要件と規制に関する声明を扱います。確認された対応用途は、本体上の銘板ラベルおよび関連マーキングを参照してください。

FCC コンプライアンス声明

本装置は、FCC 規則パート 15 に準拠しています。操作は次の 2 つの条件に従うものとします：(1) 本装置は有害な干渉を引き起こさない場合があります。(2) 本装置は、望ましくない動作の原因となる干渉を含め、受信した干渉を受け入れなければなりません。本装置は、FCC 規則パート 15 に従って試験され、クラス B デジタル装置の制限に準拠していることが判明しています。

これらの制限は、住宅における設置で有害な干渉から適切な保護を提供するように設計されています。本装置は、無線周波エネルギーを生成、使用しており、放射する可能性があり、指示に従って設置および使用されない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置環境で干渉が発生しないという保証はありません。本装置がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を引き起こした場合（装置の電源を入れ直して判断できます）、次のいずれかの方法で干渉を是正するようにしてください。

- 受信アンテナの向きまたは位置を変えてください。
- 本装置と受信機の間隔を広げてください。
- 受信機が接続されているコンセントとは別のコンセントに本装置を接続してください。
- 販売店または経験豊富なラジオ / テレビ技術者に相談してください。

警告： コンプライアンス担当者が明示的に承認していない変更または修正を行うと、本装置の操作権限が失われる可能性があることに注意してください。

カナダ産業省の声明

CAN ICES (B) / NMB (B)

欧州諸国の CE 適合

 本装置は、EMC 指令 2014/30/EU および低電圧指令 2014/35/EU に準拠しています。

次の情報は、EU 加盟国のみ適用されます：

右側のマークは、廃電気電子機器指令 2012/19/EU (WEEE) に準拠しています。このマークは、本装置を未分類の地方自治体の廃棄物として処分せず、現地の法律に従って回収および回収システムを使用する必要がありますを示しています。



RoHS2 コンプライアンス宣言

本製品は、欧州議会および理事会指令 2011/65/EU (電気・電子機器における特定の有害物質の使用制限に関する指令 (RoHS2 指令)) に準拠して設計・製造されており、欧州技術適合委員会 (TAC) が発行する以下の最大濃度値に適合しているとみなされます：

物質	提案された最大濃度	実際の濃度
鉛 (Pb)	0.1%	< 0.1%
水銀 (Hg)	0.1%	< 0.1%
カドミウム (Cd)	0.01%	< 0.01%
六価クロム (Cr6 ⁺)	0.1%	< 0.1%
ポリ臭化ビフェニル (PBB)	0.1%	< 0.1%
ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ビス (2- エチルヘキシル) (DEHP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ブチルベンジル (BBP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ジブチル (DBP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ジイソブチル (DIBP)	0.1%	< 0.1%

上記のような製品の特定のコンポーネントは、下記の RoHS2 指令の附属書 III の下で免除されています：

- 重量 0.4 % までの鉛を含むアルミニウムの合金元素としての鉛。
- 鉛を重量 4 % まで含有する銅合金。
- 高融点温度はんだ中の鉛 (すなわち、鉛を重量 85% 以上含む鉛ベースの合金)。
- コンデンサに誘電体セラミック以外のガラスまたはセラミックの鉛を含む電気および電子部品 (例えば、圧電素子、またはガラスまたはセラミックマトリックス化合物中)。

ENERGY STAR® に関する声明

ENERGYSTAR® は、米国環境保護庁の自主的なプログラムです、企業や個人が優れたエネルギー効率を通じて、お金を節約し、気候を保護できるようにすることを目指しています。温室効果ガスの排出を防ぐために、米国環境保護庁によって設定された厳格なエネルギー効率基準または要件を満たすことにより、製品に ENERGYSTAR® が与えられます。

ViewSonic は、ENERGYSTAR® パートナーとして、ENERGYSTAR® ガイドラインを満たし、すべての認定モデルに ENERGYSTAR® ロゴを付けることを決定しています。次のロゴは、すべての ENERGYSTAR® 認定モデルに表示されます。



注意事項： 電源管理機能により、製品を使用していないときのエネルギー消費量が大幅に削減されます。電源管理により、デバイスは、定義された非アクティブ期間の後に、自動的に低電力の「スリープ」モードに移行します。また、電源管理機能により、ホストコンピュータから切断されてから5分後にスリープモードまたはオフモードになります。エネルギー設定を変更すると、エネルギー消費量が増えることに注意してください。

インドの有害物質規制

有害物質規制に関する声明(インド)。本製品は、「インド E 廃棄ルール 2011」に準拠しており、鉛、水銀、六価クロム、ポリ臭素化ビフェニルまたはポリ臭素化ジフェニルエーテルに対する濃度が 0.1 重量 %、カドミウムに対する濃度が 0.01 重量 % を超えることが禁止されています。ただし、規則の附属書 2 に定められた免除を除きます。

製品ライフサイクル終了時の製品の廃棄

ViewSonic® は環境を尊重し、環境に配慮した緑化に取り組んでいます。よりスマートな、よりグリーンなコンピューティングに参加していただきありがとうございます。詳細については、ViewSonic® の Web サイトをご覧ください。

米国およびカナダ:

<https://www.viewsonic.com/us/go-green-with-viewsonic>

欧州:

<https://www.viewsonic.com/eu/environmental-social-governance/recycle>

台湾:

<https://recycle.moenv.gov.tw/>

ユーザーの方は、本製品で安全性/事故問題に関する問題が発生した場合は、弊社にお問い合わせください:

ViewSonic Europe Limited



Haaksbergweg 75
1101 BR Amsterdam
Netherlands



+31 (0) 650608655



EPREL@viewsoniceurope.com



<https://www.viewsonic.com/eu/>

著作権情報

Copyright© ViewSonic Corporation, 2025. All rights reserved. 著作権所有。

Macintosh 及び Power Macintosh はアップル社Apple Inc.の登録商標です。

Microsoft、Windows 及び Windows ロゴは米国及び他諸国のマイクロソフト社の登録商標です。

ViewSonic®、3羽の鳥のロゴはViewSonic® Corporationの登録商標です。

VESA は Video Electronics Standards Association の登録商標です。DPMS、DisplayPort 及び DDC は VESA の商標です。

ENERGY STAR® は米国環境保護庁(EPA) の登録商標です。

ENERGY STAR® パートナーとして、ViewSonic® Corporationは本製品がエネルギー効率のための ENERGY STAR® ガイドラインに準拠することを決定しています。

免責条項: ViewSonic® Corporationは、本書における技術的または編集上の誤りについてその責を負いません。また、本資料の提供または本製品の動作或いは使用に起因する二次的または間接的損害についてもその責を負いません。

製品の継続的な品質向上のために、ViewSonic® Corporationは製品の仕様を予告なしに変更することができます。本文書の内容は予告なしに変更されることがあります。

本書のいかなる部分も、ViewSonic® Corporationから事前に書面による許可を得ることなく、いかなる方法によっても無断で複写、複製、転送することを禁じます。

カスタマーサポート

技術サポート、または製品サービスについては下記ウェブサイトをご覧ください。

注意事項： 製品のシリアル番号が必要です。

国 / 地域	ウェブサイト	国 / 地域	ウェブサイト
アジア太平洋およびアフリカ			
Australia	www.viewsonic.com/au/	Bangladesh	www.viewsonic.com/bd/
中国 (China)	www.viewsonic.com.cn	香港 (繁體中文)	www.viewsonic.com/hk/
Hong Kong (English)	www.viewsonic.com/hk-en/	India	www.viewsonic.com/in/
Indonesia	www.viewsonic.com/id/	Israel	www.viewsonic.com/il/
日本 (Japan)	www.viewsonic.com/jp/	Korea	www.viewsonic.com/kr/
Malaysia	www.viewsonic.com/my/	Middle East	www.viewsonic.com/me/
Myanmar	www.viewsonic.com/mm/	Nepal	www.viewsonic.com/np/
New Zealand	www.viewsonic.com/nz/	Pakistan	www.viewsonic.com/pk/
Philippines	www.viewsonic.com/ph/	Singapore	www.viewsonic.com/sg/
臺灣 (Taiwan)	www.viewsonic.com/tw/	ประเทศไทย	www.viewsonic.com/th/
Việt Nam	www.viewsonic.com/vn/	South Africa & Mauritius	www.viewsonic.com/za/
アメリカ			
United States	www.viewsonic.com/us	Canada	www.viewsonic.com/us
Latin America	www.viewsonic.com/la		
欧州			
Europe	www.viewsonic.com/eu/	France	www.viewsonic.com/fr/
Deutschland	www.viewsonic.com/de/	Қ а з а қ с т а н	www.viewsonic.com/kz/
Р о с с и я	www.viewsonic.com/ru/	España	www.viewsonic.com/es/
Türkiye	www.viewsonic.com/tr/	У к р а ї н а	www.viewsonic.com/ua/
United Kingdom	www.viewsonic.com/uk/		

限定保証

ViewSonic® スマートホワイトボード

保証内容:

ViewSonic® は、保証期間中、製品に材料や製造上の欠陥がないことを保証します。保証期間中に製品の材料または製造上の欠陥が判明した場合、ViewSonic® は、唯一の救済策として、修理または類似の製品に交換します。交換用の製品または部品には、再生または改装された部品またはコンポーネントが含まれる場合があります。修理または交換用の部品またはコンポーネントは、お客様の元の限定保証に残っている期間について保証され、保証期間は延長されません。ViewSonic® は、製品に付属しているか、お客様がインストールしたサードパーティソフトウェア、認可されていないハードウェア部品またはコンポーネント（プロジェクタランプなど）をインストールした場合でも、いかなるサードパーティソフトウェアも保証しません。（「保証対象外」のセクションを参照してください）。

保証対象者:

この保証は、最初の消費者購入者にのみ有効です。

保証対象外:

- シリアル番号が破損、変更、または削除された製品。
- 以下に起因する損傷、劣化、または誤動作：
 - » 事故、誤用、怠慢、火災、洪水、雷、または自然災害、不正な製品の変更、または製品に付属の説明書の不順守。
 - » ViewSonic® の認可を受けていない者による修理または修理の試み。
 - » プログラム、データ、またはリムーバブル記憶媒体の損傷または紛失。
 - » 通常の損耗。
 - » 製品の取り外しまたは取り付け。
- 修理または交換中に発生するソフトウェアまたはデータの損失。
- 出荷による製品の損傷。
- 電力の変動や停電など、製品外部の原因。
- ViewSonic の仕様を満たしていない消耗品または部品の使用。
- ユーザーガイドに記載されているように、所有者が定期的な製品保守を実行しないこと。
- 製品の欠陥に関係しないその他の原因。
- 静止している（移動しない）画像が長時間表示されることによる損傷（画像の焼き付きとも呼ばれます）。

- ソフトウェア - 製品に含まれている、または顧客によってインストールされているサードパーティソフトウェア。
- ハードウェア / 付属品 / 部品 / コンポーネント - 許可されていないハードウェア、付属品、消耗部品またはコンポーネント（プロジェクタランプなど）の設置。
- 製品のユーザーガイドに記載されている不適切な清掃によるディスプレイ表面のコーティングの損傷または濫用による損傷。
- 製品の壁面取り付けを含む取り外し、設置、およびセットアップサービス料金。

サービスを受ける方法：

- 保証サービスを受ける方法については、ViewSonic® カスタマサポートにお問い合わせください（「カスタマーサービス」のページを参照してください）。製品のシリアル番号を提供してください。
- 保証サービスを受けるために、以下を提供してください：(a) 元の日付付き売上伝票、(b) 名前、(c) 住所、(d) 問題の説明、(e) 製品のシリアル番号。
- 元のコンテナに保管された製品を認可された ViewSonic® サービスセンターまたは ViewSonic® に持ち込むか、料金前払いで出荷してください。
- 最寄りの ViewSonic® サービスセンターの追加情報または名称については、ViewSonic® にお問い合わせください。

黙示の保証の制限：

商品性および特定の目的への適合性を含め、ここに記載されている内容を超える明示または黙示の保証はありません。

損害の除外:

ViewSonic の責任は、製品の修理または交換の費用に限られます。ViewSonic® は、以下の責任を負わないものとします:

- 不具合に起因する損害、製品の使用の喪失、時間の損失、利益の損失、事業機会の喪失、のれんの喪失、取引関係への干渉、または、その他の商業的損失（たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも）。
- 偶発的、派生的、またはそれ以外のその他の損害。
- 他の当事者による顧客に対するクレーム。
- ViewSonic® の認可を受けていない者による修理または修理の試み。

州法の効果:

本保証は、お客様に特定の法的権利を付与するものであり、また州ごとに異なるその他の権利を有する場合があります。一部の州では、黙示の保証の制限を認めない、または、付随的または間接的な損害の除外を認めないため、上記の制限および除外が適用されない場合があります。

米国およびカナダ外の販売:

米国およびカナダ以外で販売される ViewSonic® 製品の保証情報とサービスについては、ViewSonic® またはお近くの ViewSonic® 販売店にお問い合わせください。

中国本土（香港、マカオ、台湾除く）における本製品の保証期間は、保守保証保証書の条件に従います。

欧州およびロシアのユーザーの場合、提供される保証の詳細は、次の URL を参照してください: <http://www.viewsonic.com/eu/> の「サポート / 保証情報」。



ViewSonic®